

平成 30 年度

ヒヤリ・ハット調査

「帰省先などの自宅とは異なる住まいでの乳幼児の危険」

調査報告書

平成 31 年 4 月

東京都生活文化局

目次

| | |
|--|----|
| I. 調査概要 | 3 |
| 1. 調査の目的 | 3 |
| 2. 調査対象及び調査手法 | 3 |
| (1) 調査対象者 | 3 |
| (2) 回答者数 | 3 |
| (3) 調査実施方法 | 3 |
| (4) 調査期間 | 3 |
| (5) 調査項目 | 3 |
| 3. 集計・分析にあたって | 4 |
| 4. 回答のカテゴリ分類について | 4 |
| (1) 全体 | 4 |
| (2) 事例カテゴリ | 4 |
| (3) 製品カテゴリ | 4 |
| II. 調査結果 | 5 |
| 1. 回答者の基本情報 | 5 |
| (1) 居住地 | 5 |
| (2) 性別 | 5 |
| (3) 年代 | 6 |
| (4) 子供の人数 | 6 |
| (5) 子供の性別・年齢 | 7 |
| 2. 帰省先などの自宅とは異なる住まいでの危害及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向） | 8 |
| (1) 帰省先などの自宅とは異なる住まいでの危害及びヒヤリ・ハット経験 | 8 |
| 3. リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 16 |
| (1) リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要） | 16 |
| (2) 「テーブル・テーブルクロス」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 19 |
| (3) 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 21 |
| (4) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 23 |
| (5) 詳細事例 | 25 |
| (6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか | 30 |
| 4. 台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験 | 31 |
| (1) 台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験（概要） | 31 |
| (2) 「調理用具」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 34 |
| (3) 「コンロ回り」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 36 |
| (4) 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 38 |
| (5) 詳細事例 | 40 |
| (6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか | 43 |
| 5. お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験 | 44 |
| (1) お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験（概要） | 44 |
| (2) 「浴槽」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 47 |
| (3) 「洗い場」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 49 |
| (4) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 51 |
| (5) 詳細事例 | 53 |
| (6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか | 55 |
| 6. 寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 56 |
| (1) 寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要） | 56 |
| (2) 「ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 59 |

| | |
|---|-----------|
| (3) 「布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 61 |
| (4) 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 63 |
| (5) 詳細事例 | 65 |
| (6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか | 66 |
| 7. 玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 67 |
| (1) 玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要） | 67 |
| (2) 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 70 |
| (3) 「玄関」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 72 |
| (4) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 74 |
| (5) 詳細事例 | 76 |
| (6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか | 78 |
| 8. ベランダ・庭・駐車場での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 79 |
| (1) ベランダ・庭・駐車場での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要） | 79 |
| (2) 「自動車」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 82 |
| (3) 「庭」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 84 |
| (4) 「ベランダ・ウッドデッキ」での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 86 |
| (5) 詳細事例 | 88 |
| (6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか | 90 |
| 9. その他の場所での乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験 | 91 |
| (1) その他の場所での危害及びヒヤリ・ハット経験 | 91 |
| (2) 詳細事例 | 91 |
| 10. 帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等について乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫 | 92 |
| (1) 帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等について乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫（概要） | 92 |
| (2) 詳細事例 | 93 |
| III. まとめ | 96 |
| IV. アンケート調査票 | 97 |

I. 調査概要

1. 調査の目的

この調査は、乳幼児（0歳から就学前の6歳）における「帰省先などの自宅とは異なる住まい」に関する製品等での乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット事例等を収集することを目的に実施した。

2. 調査対象及び調査手法

(1) 調査対象者

東京都、埼玉県、千葉県及び神奈川県に在住の6ヶ月以上～就学前の乳幼児と同居する20歳以上の保護者で、次の2つの条件を満たす当該乳幼児と別居する祖父母宅などの親族の住まい（以下、「帰省先などの自宅とは異なる住まい」という。）があること。

ア 就学前の乳幼児が居住していない住まい

イ 過去5年以内に一年でも、当該乳幼児が年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（6回以上訪問した年がある場合を除く）

※調査は主に東京都在住者を対象として実施し、不足する部分について、埼玉県、千葉県及び神奈川県在住者にて補完した。

(2) 回答者数

3,000人

(3) 調査実施方法

インターネットアンケート

(4) 調査期間

平成31年1月25日～1月31日

(5) 調査項目

ア 帰省先などの自宅とは異なる住まいにおける①から⑦までの場所での次の項目

- ・危害及びヒヤリ・ハット経験（※）の有無
- ・危害及びヒヤリ・ハット経験の程度
- ・危害及びヒヤリ・ハット経験の詳細（製品、具体的な内容、性別・年齢）
- ・どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか（任意回答）

<場所>

- ①リビング・居間
- ②台所・ダイニング
- ③お風呂・脱衣所・洗面所・トイレ
- ④寝室・ベッド・寝具等
- ⑤玄関・階段・廊下
- ⑥ベランダ・庭・駐車場（集合住宅の共用部を含む）
- ⑦その他（上記①～⑥以外）の場所

イ 帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等について、乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫（任意回答）

※本報告書において「危害」とは、けが、やけど等の外傷及び誤飲、窒息による体調不良を示す。「ヒヤリ・ハット」とは、上記のような危害には至らなかったが、けがや体調不良を引き起こしそうになったことを示す。

3. 集計・分析にあたって

- ・回答比率（％）は、小数点以下第二位を四捨五入して算出した。そのため、回答比率を合計しても100%にならない場合がある。ただし、小数点以下第二位を四捨五入すると「0」となってしまう要素がある場合、小数点以下第三位を四捨五入して算出している。
- ・複数回答（MA）設問の場合、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- ・グラフに表記されている「N=*」「n=*」（*は数字）は、対象の母数を表している。
- ・グラフや表の中での選択肢の文章が長い場合は、簡略化して表現しているため、アンケート調査票上の文言と一致していない場合がある。（アンケート調査票上の文言については、「IV. アンケート調査票」を参照。）
- ・“危害経験がある”という表現は、乳幼児が帰省先などの自宅とは異なる住まいにおいて、「けがをして入院した」、「けがをして病院へ行った」、「けがをしたが病院へは行かなかった」との回答を示すものであり、“ヒヤリ・ハット経験がある”は、乳幼児が帰省先などの自宅とは異なる住まいにおいて「けがをしそうになった」との回答を示す。
- ・事例及び製品のカテゴリについては、出現数の高いカテゴリについて扱い、以降のカテゴリは、まとめて「その他」として扱う。
- ・2（5）に記載した①から⑦までの各場所における回答は、複数の子供にそれぞれ危害及びヒヤリ・ハット経験がある場合、最も印象的だった事例一つについての回答となっている。

4. 回答のカテゴリ分類について

（1）全体

回答をカテゴリに分類する際は、原則として回答者の自己申告を採用した。

（2）事例カテゴリ

「転落」、「転倒」等の後に他の危害等にあっている場合、「転落」、「転倒」として分類した。ただし、回答者が後の危害等に主眼をおいていると考えられる場合には、後の危害等にて分類した。

（3）製品カテゴリ

ア 原則として、乳幼児が危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を採用した。

イ 複数の製品を組み合わせで使用していた場合は、原則として直接の原因になった製品を採用した。

ウ 「ぶつけた」等の事例については、乳幼児がぶつかった製品を採用した。

エ 冷暖房機器、調理用具、調理家電、生活家電には以下の製品が含まれる。

- ・「冷暖房機器」…ストーブ、ヒーター、暖炉、扇風機等
- ・「調理用具」…包丁、ナイフ、キッチンばさみ、鍋、フライパン等
- ・「調理家電」…電気ケトル、電気ポット、炊飯器、ホットプレート、トースター等
- ・「生活家電」…アイロン、掃除機、電話機、加湿器等

II. 調査結果

1. 回答者の基本情報

(1) 居住地

居住地は「東京都」が 55.0%、次いで、「神奈川県」が 19.3%、「埼玉県」が 14.0%、「千葉県」が 11.6%となっている。

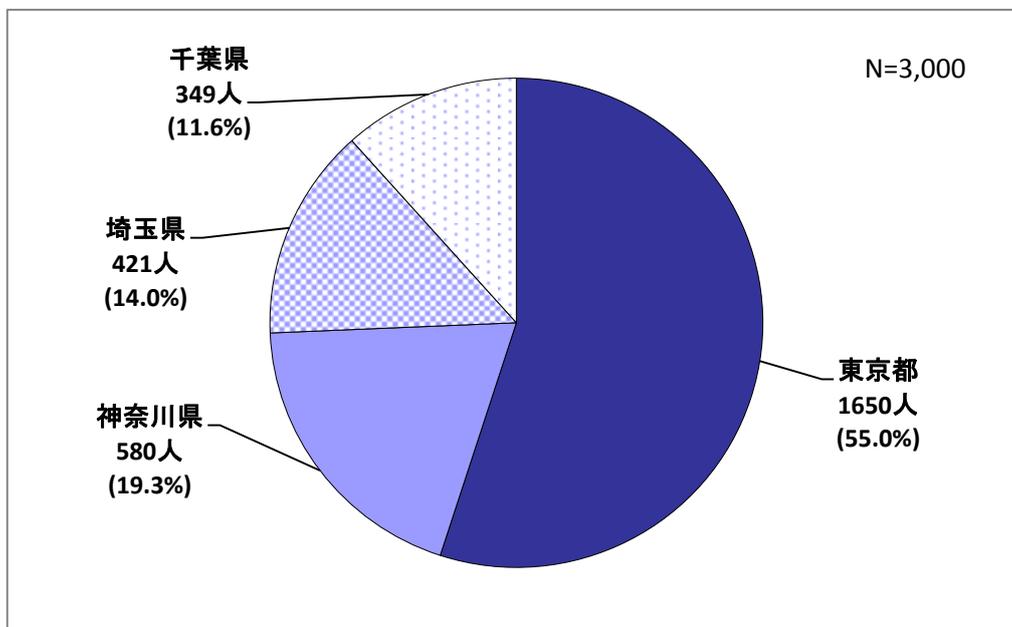


図 1_1. 居住地

(2) 性別

性別は、「男性」42.1%、「女性」57.9%となっている。

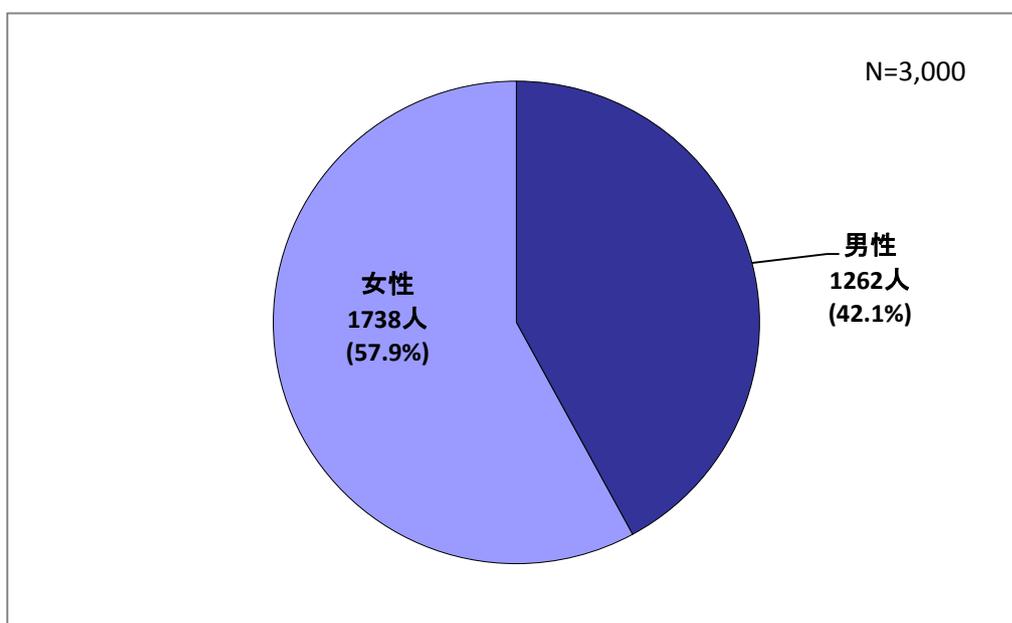


図 1_2. 性別

(3) 年代

年代は「20代」6.8%、「30代」53.1%、「40代」37.2%、「50代以上」2.9%となっている。

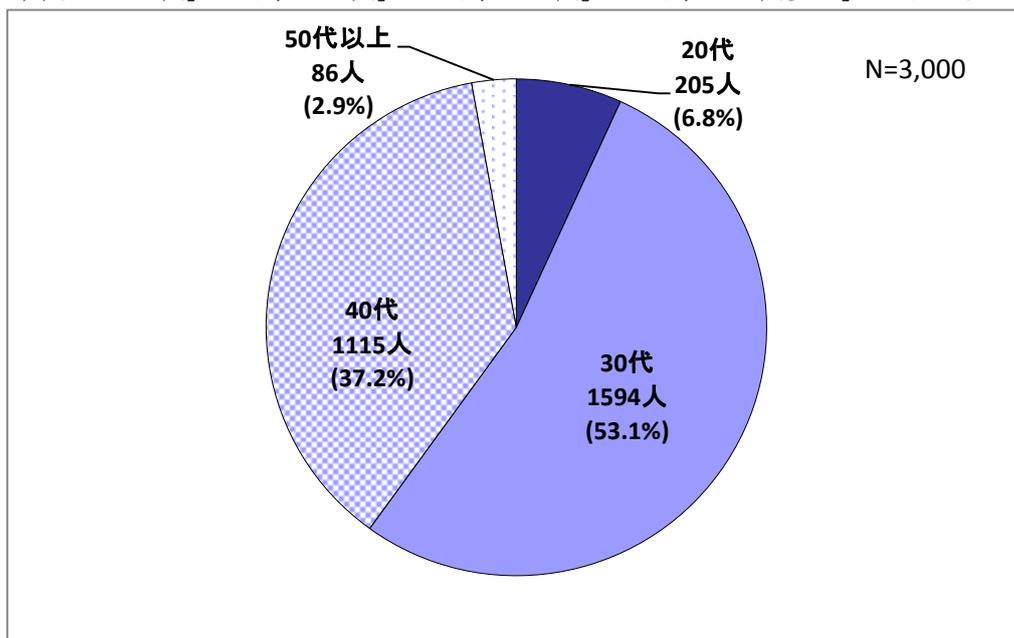


図 1_3. 年代別

(4) 子供の人数

子供の人数は、「1人」42.4%、「2人」45.7%、「3人」10.3%、「4人以上」1.5%となっている。

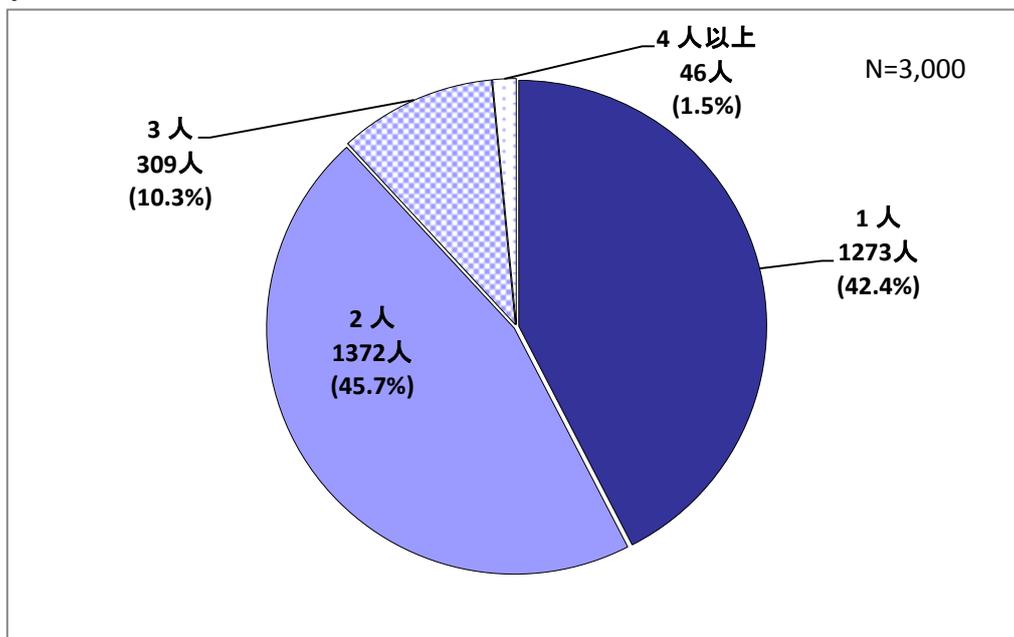


図 1_4. 子供の人数

(5) 子供の性別・年齢

回答者の子供（複数回答）の性別・年齢の割合を下図に示す。「小学生以上」が36.0%で最も多く、次いで「6歳（就学前）」が22.8%、「5歳」が21.8%となっている。

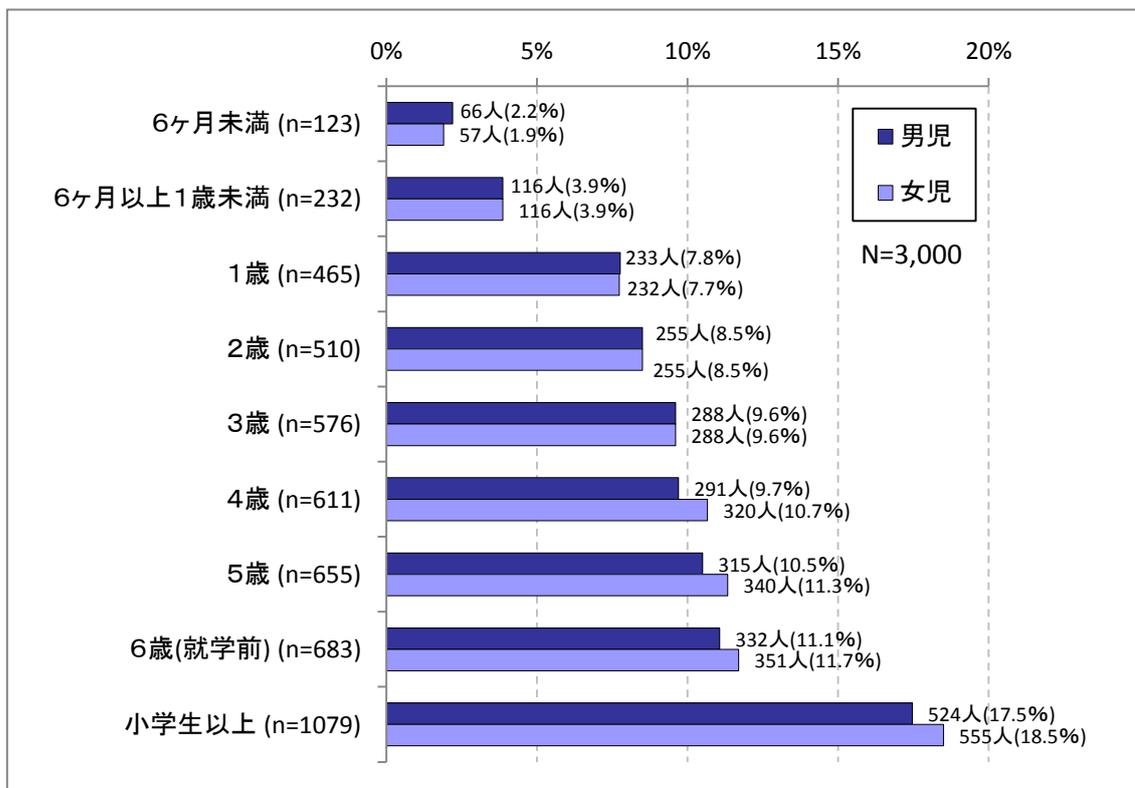


図 1_5. 子供の人数 性別・年齢別

2. 帰省先などの自宅とは異なる住まいでの危害及びヒヤリ・ハット経験（全体傾向）

（1）帰省先などの自宅とは異なる住まいでの危害及びヒヤリ・ハット経験

図 2_1 は帰省先などの自宅とは異なる住まいでの危害及びヒヤリ・ハット経験について、7つの場所全体での経験割合を示している。何らかの危害及びヒヤリ・ハット経験がある（「危害経験がある」＋「ヒヤリ・ハット経験がある」）と回答した人は1,686人（56.2%）で、5割を超えている。そのうち、危害経験があると回答した人は641人（21.4%）となっている。

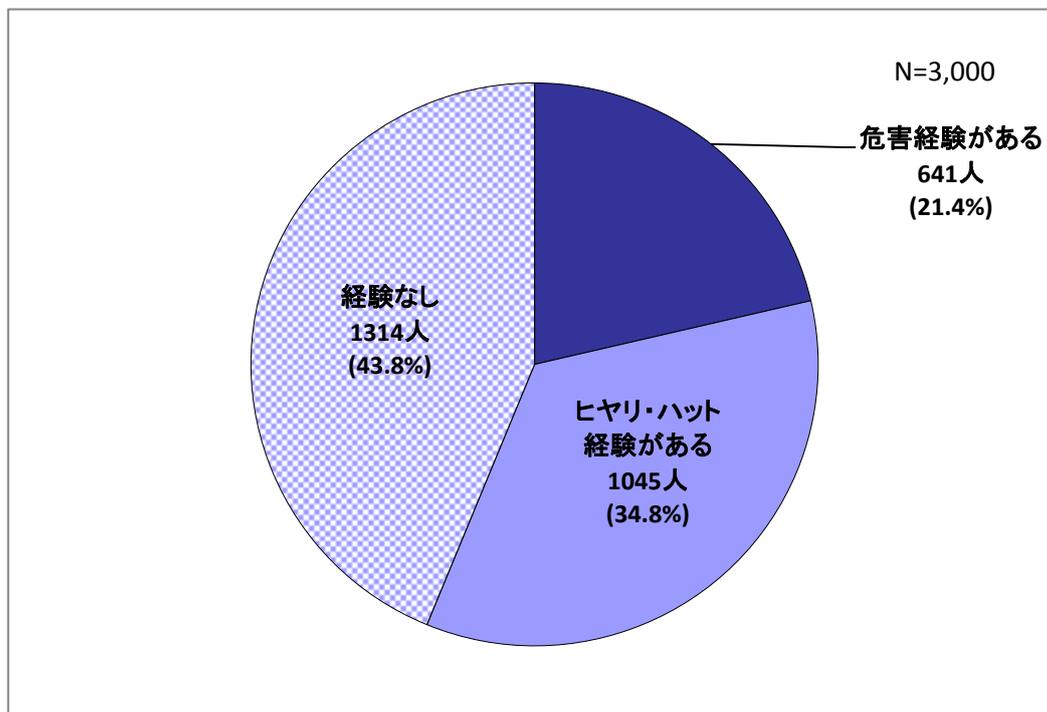


図 2_1. 危害及びヒヤリ・ハット経験（全体）

※回答者が複数の危害及びヒヤリ・ハットを経験している場合、より危害程度の高い方を計算対象とする（例：リビング・居間で「けがをして入院した」経験があり、台所・ダイニングで「けがをしそうになった」と回答している場合、「危害経験がある」として計算する。）。

図 2_2 は本調査で収集した危害及びヒヤリ・ハット経験を、起きた場所別に分類し、それぞれの経験者数を示している。

「リビング・居間」は危害及びヒヤリ・ハット経験者が 3,000 人中 1,096 人 (36.5%) と最も多く、次いで「玄関・階段・廊下」が 811 人 (27.0%)、「台所・ダイニング」が 700 人 (23.3%)、「お風呂・脱衣所・洗面所・トイレ」が 460 人 (15.3%) と続く。

「危害経験がある」の回答が最も多かったのは「リビング・居間」で、330 人 (11.0%) であった。

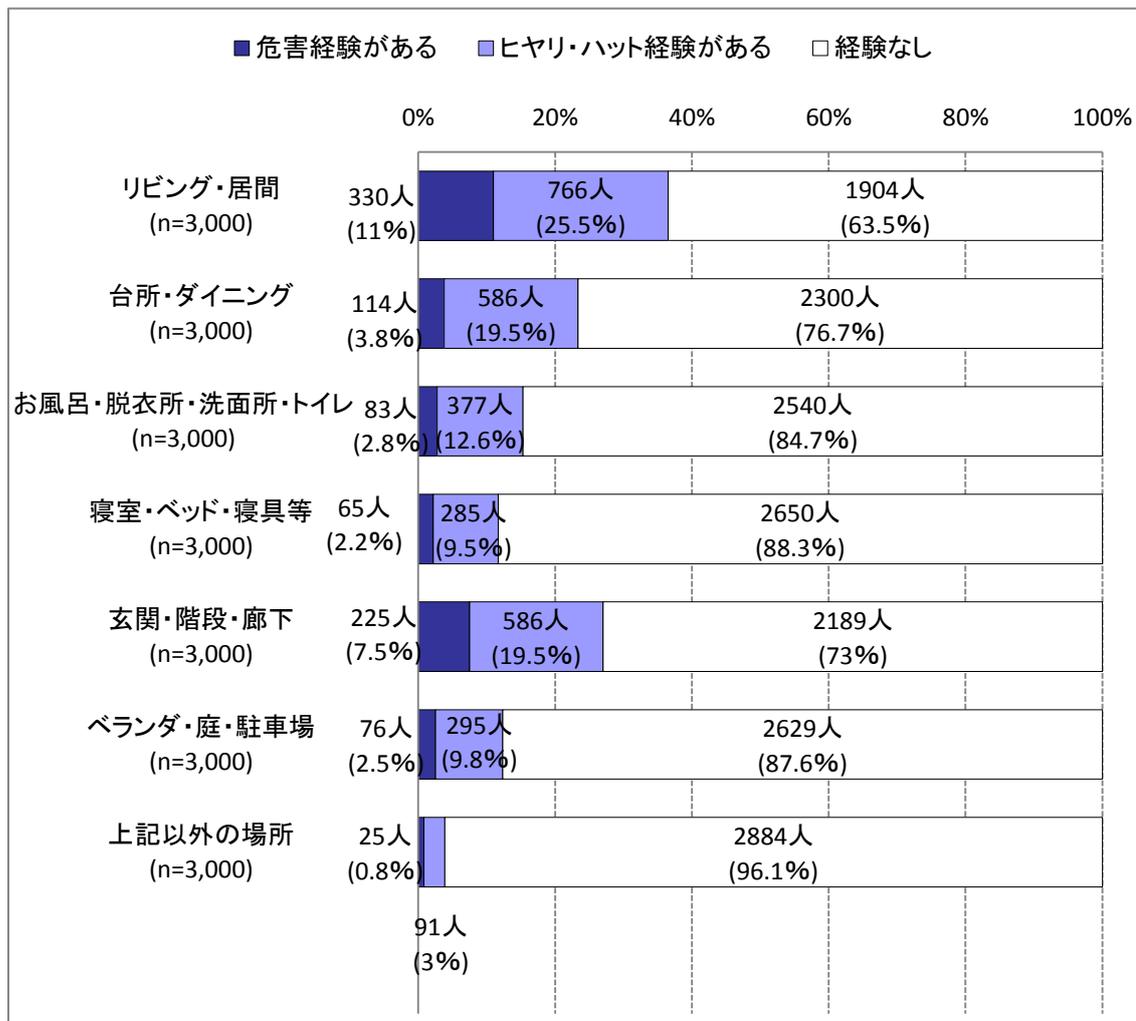


図 2_2. 危害及びヒヤリ・ハット経験 (場所別)

図 2_3 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、年齢別の事例数を示している。
本調査では延べ 3,904 件の事例が得られ、そのうち、1 歳が最も多く 1,204 件であった。
以降は年齢が上がるにつれ減少している。

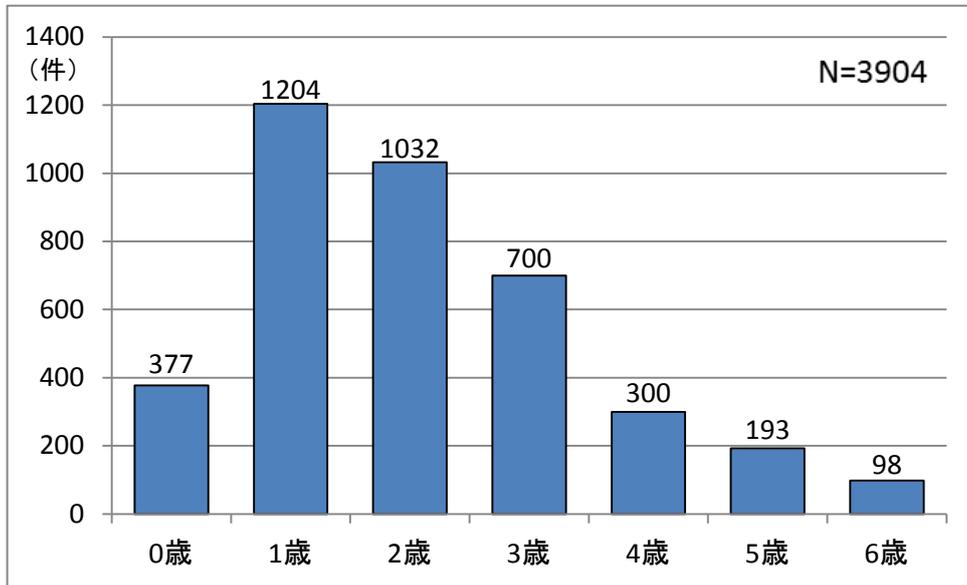


図 2_3. 危害及びヒヤリ・ハット経験（子供の年齢別）

表 2_1、表 2_2 は、性別ごとにそれぞれの年齢で回答された事例の上位 3 位までを示したものである。男児、女児ともに、「転落」が最も多く、「やけど」、「転倒」が続いた。年齢別では、男児、女児ともに 0 歳で「誤飲」が 3 位となっている。

表 2_1. 危害及びヒヤリ・ハット経験（男児・年齢別）

【男児合計】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|------|
| 1 | 転落 | 460 |
| 2 | やけど | 390 |
| 3 | 転倒 | 289 |
| | | |
| | 事例総数 | 2152 |

【男児 0 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 60 |
| 2 | やけど | 26 |
| 3 | 誤飲 | 20 |
| | | |
| | 事例総数 | 179 |

【男児 1 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 156 |
| 2 | やけど | 121 |
| 3 | 転倒 | 85 |
| | | |
| | 事例総数 | 666 |

【男児 2 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 118 |
| 2 | やけど | 104 |
| 3 | 転倒 | 68 |
| | | |
| | 事例総数 | 564 |

【男児 3 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 84 |
| 2 | やけど | 78 |
| 3 | 転倒 | 70 |
| | | |
| | 事例総数 | 425 |

【男児 4 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | やけど | 36 |
| 2 | 転倒 | 31 |
| 3 | 転落 | 24 |
| | | |
| | 事例総数 | 178 |

【男児 5 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|----|
| 1 | 転倒 | 17 |
| 2 | やけど | 16 |
| 3 | 転落 | 13 |
| 3 | はさんだ | 13 |
| | 事例総数 | 91 |

【男児 6 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|-------|----|
| 1 | やけど | 9 |
| 2 | ぶつけた | 6 |
| 2 | 車等に接触 | 6 |
| | | |
| | 事例総数 | 49 |

※同位の場合は、全体での出現数が多い事例カテゴリを優先して表記した。

表 2.2. 危害及びヒヤリ・ハット経験（女兒・年齢別）

【女兒合計】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|------|
| 1 | 転落 | 421 |
| 2 | やけど | 321 |
| 3 | 転倒 | 235 |
| | | |
| | 事例総数 | 1752 |

【女兒 0 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 51 |
| 2 | やけど | 28 |
| 3 | 誤飲 | 25 |
| | | |
| | 事例総数 | 198 |

【女兒 1 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 138 |
| 2 | やけど | 92 |
| 3 | 転倒 | 70 |
| | | |
| | 事例総数 | 538 |

【女兒 2 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 113 |
| 2 | やけど | 87 |
| 3 | 転倒 | 58 |
| | | |
| | 事例総数 | 468 |

【女兒 3 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転落 | 68 |
| 2 | やけど | 55 |
| 3 | 転倒 | 40 |
| | | |
| | 事例総数 | 275 |

【女兒 4 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | 転倒 | 25 |
| 2 | 転落 | 22 |
| 2 | やけど | 22 |
| | | |
| | 事例総数 | 122 |

【女兒 5 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|-----|
| 1 | やけど | 22 |
| 2 | 転落 | 20 |
| 3 | 転倒 | 18 |
| | | |
| | 事例総数 | 102 |

【女兒 6 歳】

| 順位 | 事例 | 件 |
|----|------|----|
| 1 | やけど | 15 |
| 2 | 転倒 | 10 |
| 3 | 転落 | 9 |
| | | |
| | 事例総数 | 49 |

※同位の場合は、全体での出現数が多い事例カテゴリを優先して表記した。

図 2_4 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例別に発生件数をまとめた結果である。「転落」が 881 件と最も多く、“危害経験がある”との回答も 194 件となっている。

「転落」以外での危害及びヒヤリ・ハット経験は、「やけど」が 711 件、「転倒」が 524 件、「ぶつけた」が 360 件、「はさんだ」が 336 件と続く。

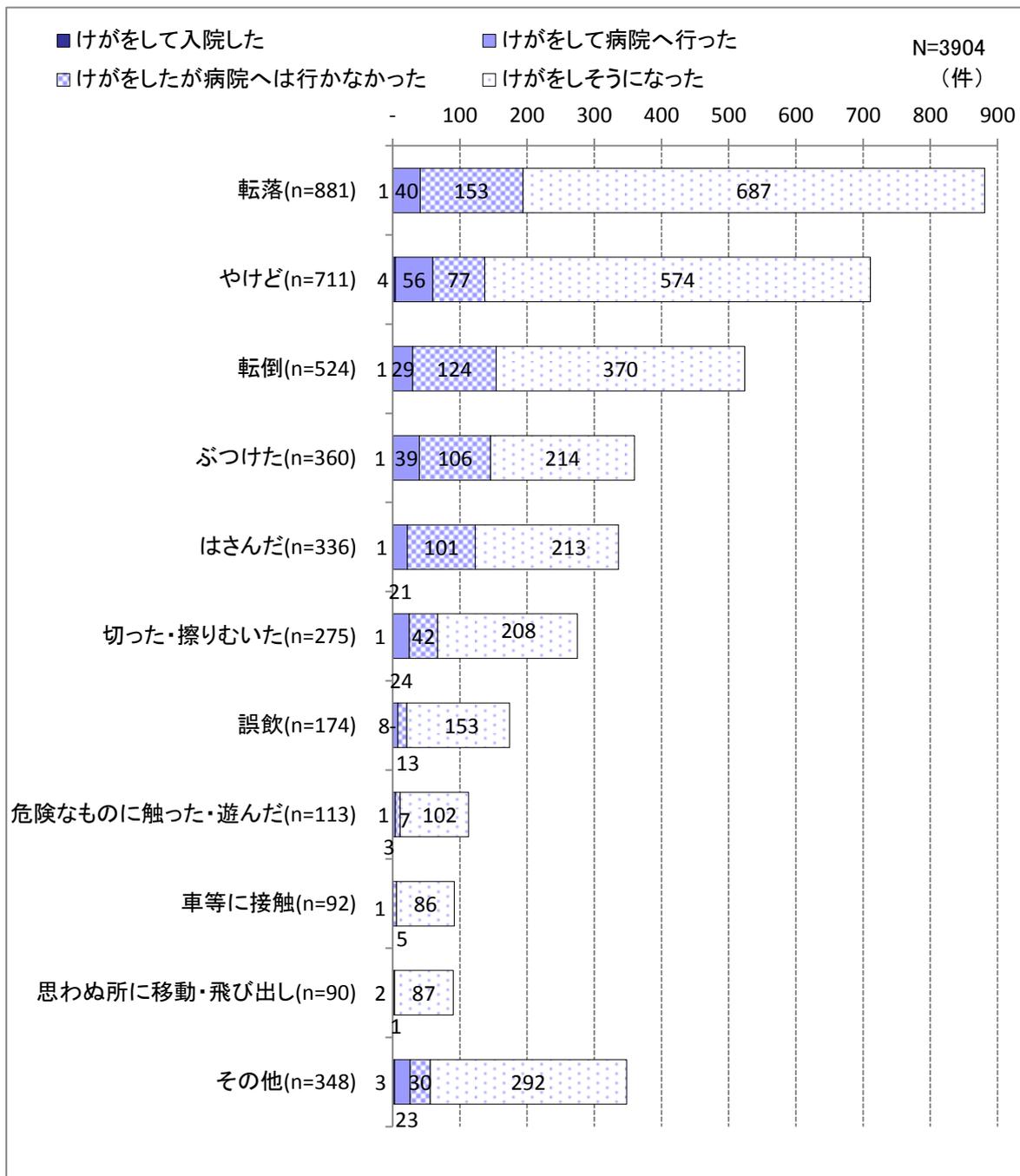


図 2_4. 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

※出現数 11 位以降の事例カテゴリは「その他」にまとめている。

図 2_5 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、子供の性・年齢別に危害の程度をまとめた結果である。

“危害経験がある”は、「男児1歳」が151件と最も多く、次いで「男児2歳」が136件、「男児3歳」が122件となっている。

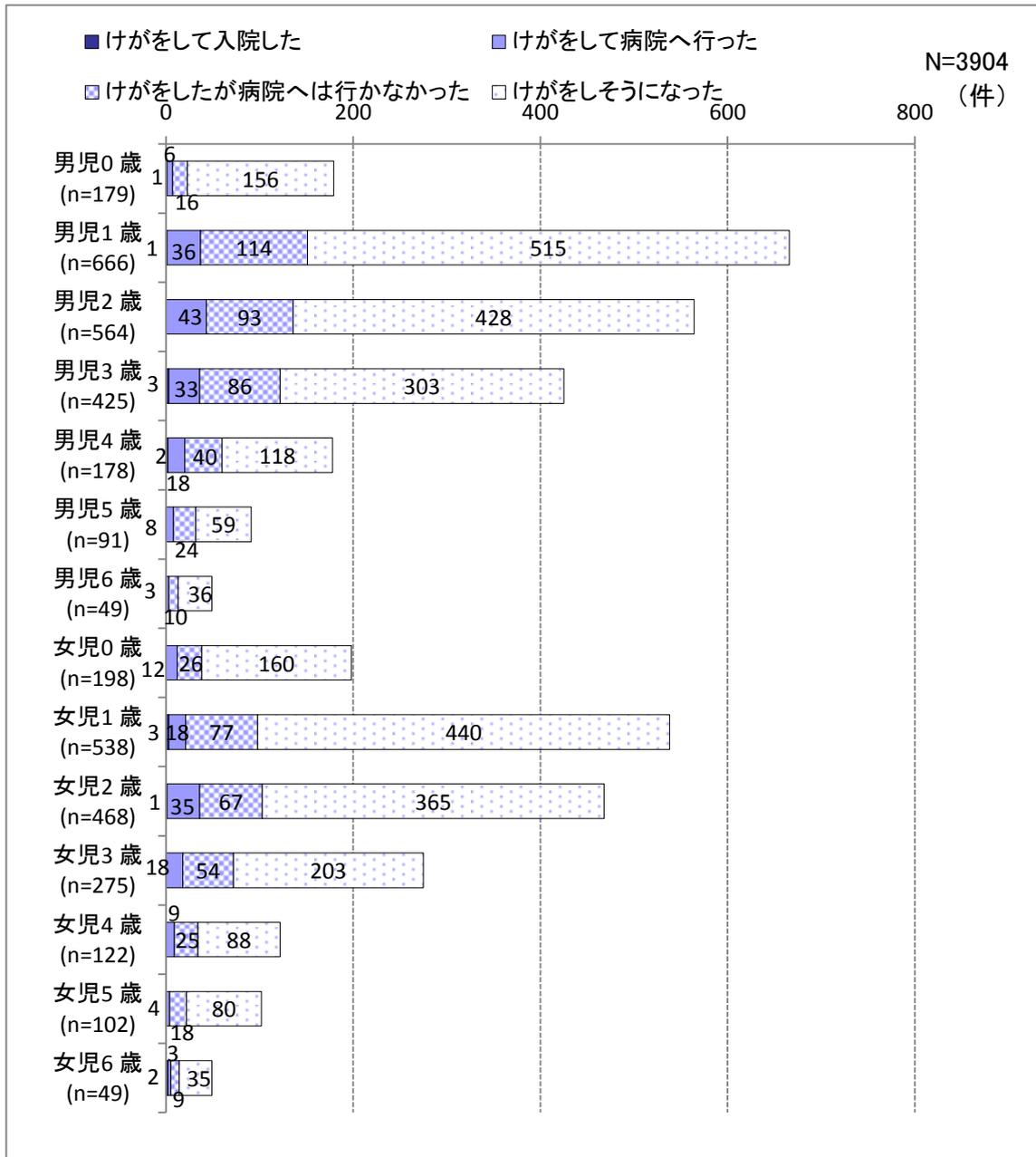


図 2_5. 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (子供の性・年齢別)

表 2_3 は、危害及びヒヤリ・ハット経験について、原因となった上位 20 位までの製品別に危害の程度をまとめた結果である。

「階段」が最も多く、370 件(9.5%)であった。続いて「ドア・窓類」316 件(8.1%)、「冷暖房機器」300 件(7.7%)、「テーブル・テーブルクロス」234 件(6.0%)、「ベッド」211 件(5.4%)と続いている。

“危害経験がある”が最も多かったのは「ドア・窓類」の 129 件であり、続いて「テーブル・テーブルクロス」90 件、「階段」83 件、「玄関」52 件、「冷暖房機器」48 件と続いている。

表 2.3. 危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

| | けがをして 入院した | けがをして 病院へ行った | けがをしたが 病院へは 行かなかった | けがをしそう になった | 合計 |
|------------------|---------------|-----------------|--------------------------|----------------|-------|
| 全体 | 13 | 246 | 659 | 2,986 | 3,904 |
| 階段 | 0 | 14 | 69 | 287 | 370 |
| ドア・窓類 | 1 | 19 | 109 | 187 | 316 |
| 冷暖房機器 | 0 | 21 | 27 | 252 | 300 |
| テーブル・ テーブルクロス | 1 | 23 | 66 | 144 | 234 |
| ベッド | 0 | 11 | 35 | 164 | 210 |
| 玄関 | 1 | 7 | 44 | 143 | 195 |
| 調理用具 | 0 | 7 | 19 | 164 | 190 |
| コンロ回り | 0 | 4 | 8 | 137 | 149 |
| 調理家電 | 1 | 17 | 13 | 100 | 131 |
| 浴槽 | 1 | 3 | 6 | 109 | 119 |
| 自動車 | 0 | 2 | 6 | 111 | 119 |
| 洗い場 | 0 | 3 | 21 | 91 | 115 |
| 椅子 | 1 | 9 | 17 | 79 | 106 |
| 段差 | 0 | 2 | 17 | 56 | 75 |
| 収納家具 | 1 | 4 | 16 | 50 | 71 |
| ソファー | 0 | 7 | 8 | 54 | 69 |
| 食品・飲料 | 4 | 3 | 3 | 39 | 49 |
| こたつ | 0 | 6 | 5 | 37 | 48 |
| 床・畳・敷物 | 0 | 3 | 11 | 28 | 42 |
| 布団・毛布類 | 0 | 1 | 0 | 41 | 42 |

3. リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 3_1 はリビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である（上位 21 位以降の製品は「その他」とした。）。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 1,096 人（36.5%）であった。

製品別に見ると、「テーブル・テーブルクロス」が 195 人（17.8%）と最も多く、次いで「冷暖房機器」168 人（15.3%）、「ドア・窓類」が 68 人（6.2%）と続く。その他には、「調理家電」、「コンセント・コード類」、「食器類」といった回答も見られた。

“危害経験がある”との回答は、「テーブル・テーブルクロス」が 79 人と最も多く、次いで「ドア・窓類」が 34 人、「冷暖房機器」が 31 人と続く。

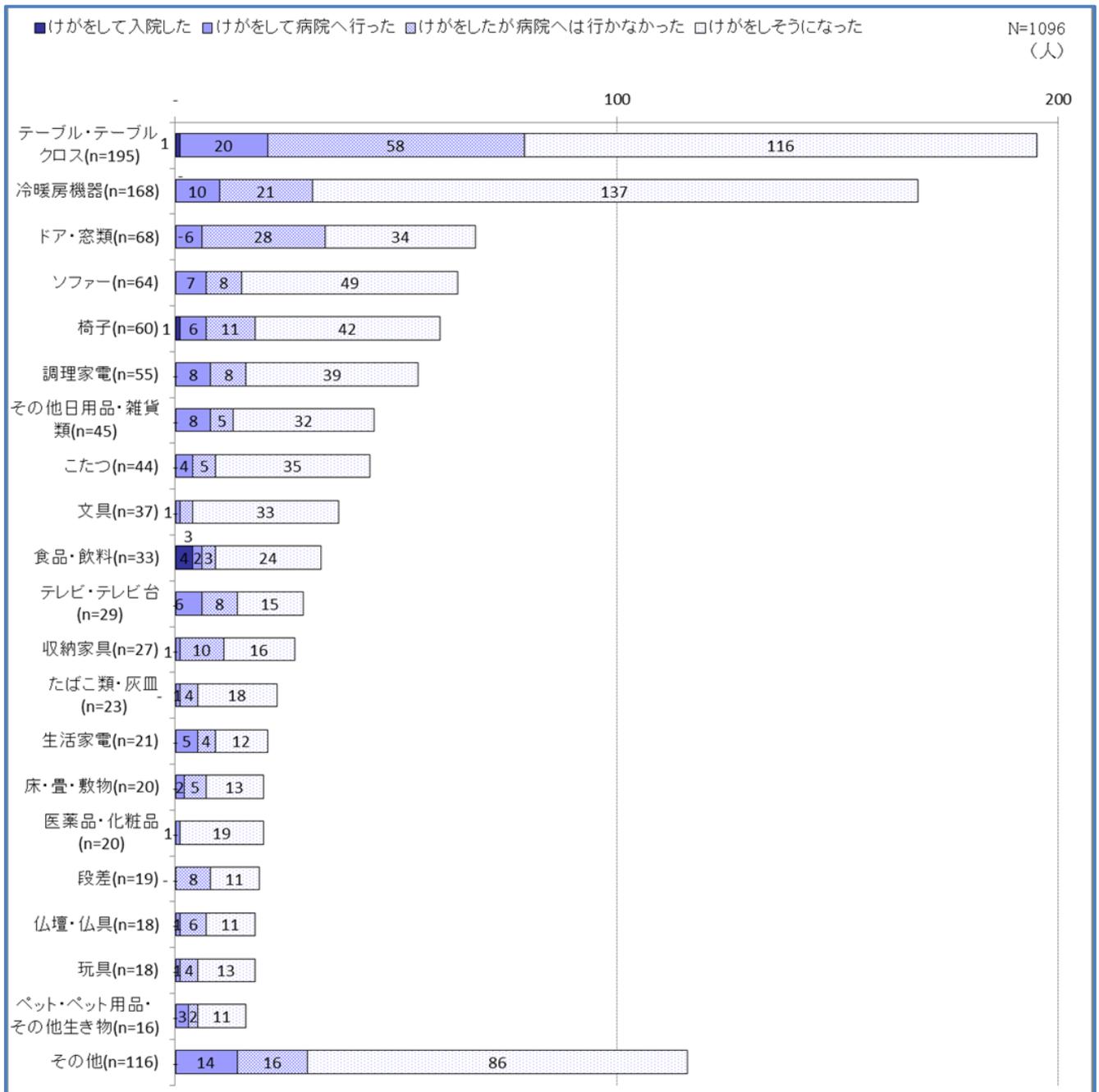


図 3_1. リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品別)

表 3_1_1 はリビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 1,096 人のうち「やけど」の事例が 282 人 (25.7%) と最も多く、次いで「ぶつけた」が 243 人 (22.2%)、「転落」138 人 (12.6%) と続く。

「やけど」に関わる製品としては「冷暖房機器」が 153 人で最も多くなっている。「ぶつけた」では「テーブル・テーブルクロス」が 156 人となっている。「転落」については、「ソファ」が 54 人と、最も多くなっている。

表 3_1_1. リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験 (事例×製品別)

(人)

| | 全 体 | や け ど | ぶ つ け た | 転 落 | 誤 飲 | 転 倒 | 切 つ た ・ 擦 り む い た | は さ ん だ | 危 険 な も の に 触 つ た ・ 遊 ん だ | 物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た | 噛 ま れ た | そ の 他 |
|----------------------|--------|-------------|------------------|--------|--------|--------|---|------------------|---|---|------------------|-------------|
| 全 体 | 1096 | 282 | 243 | 138 | 113 | 89 | 73 | 60 | 36 | 28 | 7 | 27 |
| テーブル・ テーブルクロス | 195 | 2 | 156 | 13 | - | 7 | 6 | 1 | 1 | 4 | - | 5 |
| 冷暖房機器 | 168 | 153 | 2 | - | - | 5 | 8 | - | - | - | - | - |
| ドア・窓類 | 68 | - | 12 | 4 | - | 2 | 3 | 44 | 1 | 1 | - | 1 |
| ソファ | 64 | - | 2 | 54 | - | 2 | 1 | 1 | - | - | - | 4 |
| 椅子 | 60 | - | 8 | 39 | - | 10 | - | 2 | - | - | - | 1 |
| 調理家電 | 55 | 49 | 1 | - | - | 5 | - | - | - | - | - | - |
| その他日用品・ 雑貨類 | 45 | 1 | 2 | - | 16 | 1 | 5 | - | 12 | 5 | - | 3 |
| こたつ | 44 | 12 | 12 | 9 | - | 9 | - | - | - | 1 | - | 1 |
| 文具 | 37 | - | - | - | 1 | - | 34 | - | 2 | - | - | - |
| 食品・飲料 | 33 | 20 | - | - | 8 | - | 1 | - | 1 | 1 | - | 2 |
| テレビ・テレビ台 | 29 | - | 20 | - | - | 1 | 2 | 2 | - | 3 | - | 1 |
| 収納家具 | 27 | - | 15 | - | - | - | 3 | 3 | 2 | 3 | - | 1 |
| たばこ類・灰皿 | 23 | 2 | - | - | 21 | - | - | - | - | - | - | - |
| 生活家電 | 21 | 11 | 1 | - | - | - | 1 | 1 | 3 | 4 | - | - |
| 床・畳・敷物 | 20 | - | - | - | - | 19 | 1 | - | - | - | - | - |
| 医薬品・化粧品 | 20 | - | - | - | 17 | - | 1 | - | 1 | 1 | - | - |
| 段差 | 19 | - | 1 | 6 | - | 11 | - | - | - | - | - | 1 |
| 仏壇・仏具 | 18 | 12 | - | - | 4 | 1 | - | - | 1 | - | - | - |
| 玩具 | 18 | - | - | - | 10 | 3 | - | - | 1 | - | - | 4 |
| ペット・ペット用品・そ の他生き物 | 16 | - | - | 1 | 7 | - | - | - | - | - | 7 | 1 |
| その他 | 116 | 20 | 11 | 12 | 29 | 13 | 7 | 6 | 11 | 5 | - | 2 |

表 3_1_2 では子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 603 人で、女児の 493 人と比べ 100 人以上多くなっている。

「テーブル・テーブルクロス」の事例は、男児が 110 人、女児が 85 人と最も多い。年齢別に見てみると、男児、女児ともに 1 歳、2 歳が多くなっている。2 番目に多い「冷暖房機器」については、男児では 1 歳～3 歳、女児では、1 歳、2 歳が多くなっている。

表 3_1_2. リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験（製品×子供の性・年齢別）

(人)

| | | 全体 | テーブル・テーブルクロス | 冷暖房機器 | ドア・窓類 | ソファ | 椅子 | 調理家電 | その他日用品・雑貨類 | こたつ | 文具 | 食品・飲料 | その他 |
|----------|--------|------|--------------|-------|-------|-----|----|------|------------|-----|----|-------|-----|
| 全体 | | 1096 | 195 | 168 | 68 | 64 | 60 | 55 | 45 | 44 | 37 | 33 | 327 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 603 | 110 | 88 | 42 | 36 | 28 | 33 | 19 | 24 | 20 | 18 | 185 |
| | 男児 0 歳 | 67 | 9 | 5 | 4 | 11 | 2 | 6 | 6 | 4 | 2 | 3 | 15 |
| | 男児 1 歳 | 182 | 34 | 19 | 13 | 6 | 9 | 6 | 8 | 4 | 9 | 4 | 70 |
| | 男児 2 歳 | 156 | 37 | 27 | 10 | 7 | 7 | 6 | 2 | 4 | 5 | 4 | 47 |
| | 男児 3 歳 | 113 | 16 | 19 | 8 | 7 | 7 | 10 | 1 | 9 | 3 | 6 | 27 |
| | 男児 4 歳 | 45 | 6 | 10 | 3 | 3 | 1 | 3 | 2 | 2 | 1 | - | 14 |
| | 男児 5 歳 | 27 | 5 | 6 | 4 | 2 | 2 | - | - | 1 | - | 1 | 6 |
| | 男児 6 歳 | 13 | 3 | 2 | - | - | - | 2 | - | - | - | - | 6 |
| | 女児合計 | 493 | 85 | 80 | 26 | 28 | 32 | 22 | 26 | 20 | 17 | 15 | 142 |
| | 女児 0 歳 | 77 | 12 | 9 | 1 | 6 | 3 | - | 5 | 4 | 2 | 4 | 31 |
| | 女児 1 歳 | 167 | 30 | 24 | 8 | 9 | 13 | 5 | 11 | 9 | 7 | 6 | 45 |
| | 女児 2 歳 | 124 | 26 | 30 | 8 | 5 | 6 | 8 | 3 | 2 | 4 | 1 | 31 |
| | 女児 3 歳 | 59 | 11 | 7 | 4 | 3 | 5 | 6 | 2 | 1 | 3 | 2 | 15 |
| | 女児 4 歳 | 28 | 2 | 3 | 3 | 1 | 3 | 3 | 3 | 2 | 1 | - | 7 |
| 女児 5 歳 | 29 | 4 | 6 | 1 | 3 | 1 | - | 2 | 2 | - | 1 | 9 | |
| 女児 6 歳 | 9 | - | 1 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | 1 | 4 | |

※この表における「その他」は、図 3_1 の「テレビ・テレビ台」から「その他」までのものである。

(2) 「テーブル・テーブルクロス」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_2 では、「テーブル・テーブルクロス」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「テーブル・テーブルクロス」での危害及びヒヤリ・ハット経験はリビング・居間における経験者 1,096 人のうち、195 人であった。

事例別に見ると「ぶつけた」が 156 人と最も多く、次いで「転落」が 13 人となっている。

“危害経験がある”との回答は、「ぶつけた」で 61 人、「転倒」、「切った・擦りむいた」でそれぞれ 6 人となっている。

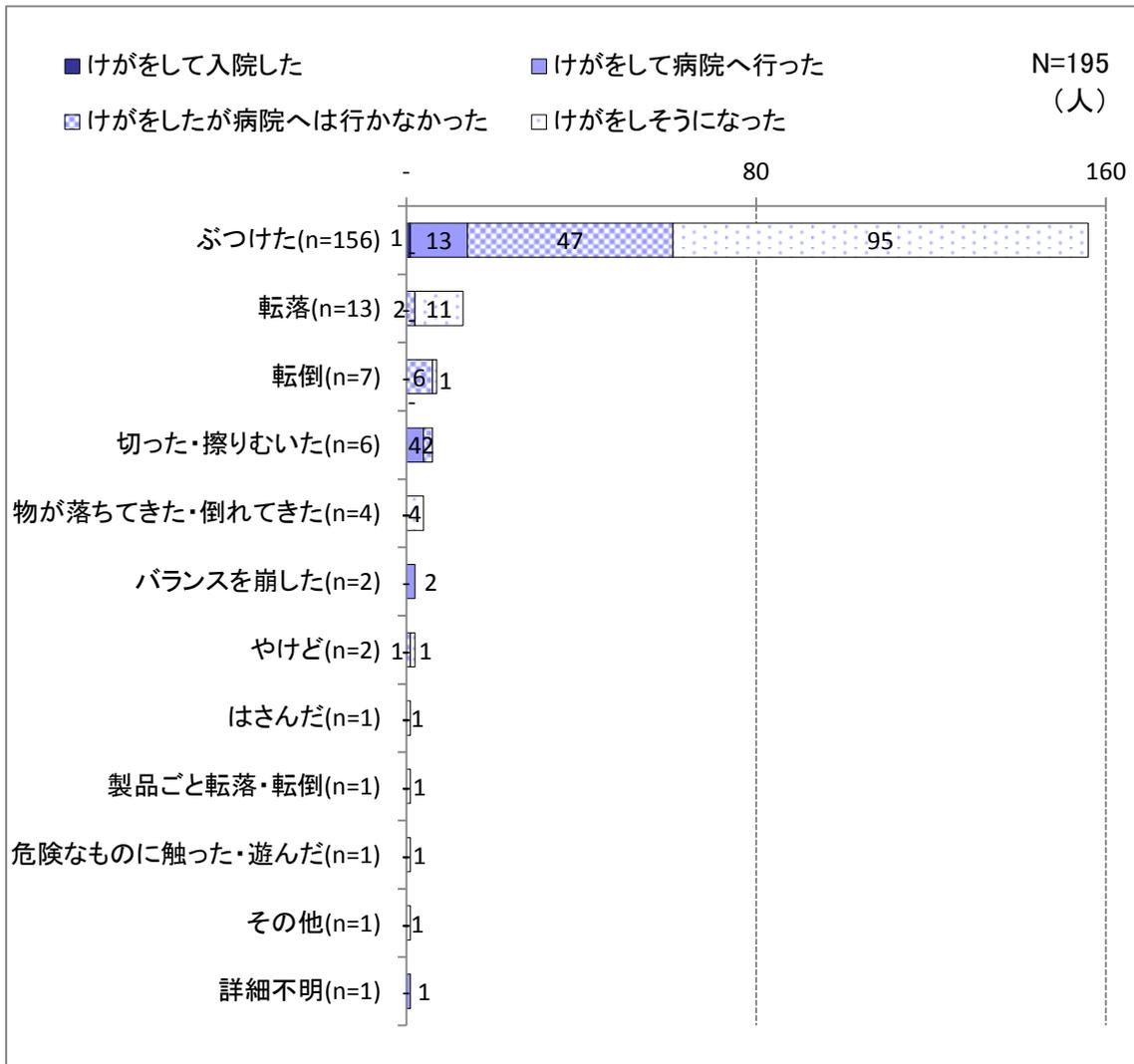


図 3_2. 「テーブル・テーブルクロス」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_2 は、「テーブル・テーブルクロス」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 2 歳での事例が 37 人で最も多く、女児は 1 歳での事例が 30 人で最も多くなっている。

事例別に見ると、男児、女児ともに「ぶつけた」が全体の約 8 割を占めている。

**表 3_2. 「テーブル・テーブルクロス」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | 全体 | ぶつけた | 転落 | 転倒 | 切った・擦りむいた | 物が落ちてきた・倒れてきた | バランスを崩した | やけど | はさんだ | 製品ごと転落・転倒 | 危険なものに触った・遊んだ | その他 | 詳細不明 |
|----------|--------|------|----|----|-----------|---------------|----------|-----|------|-----------|---------------|-----|------|
| 全体 | 195 | 156 | 13 | 7 | 6 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 110 | 86 | 7 | 5 | 5 | 3 | 2 | 1 | - | - | 1 | - |
| | 男児 0 歳 | 9 | 6 | - | 2 | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 34 | 25 | 3 | 3 | 1 | 1 | - | - | - | - | 1 | - |
| | 男児 2 歳 | 37 | 30 | 3 | - | 2 | - | 1 | 1 | - | - | - | - |
| | 男児 3 歳 | 16 | 13 | 1 | - | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 4 歳 | 6 | 5 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | 5 | 4 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 85 | 70 | 6 | 2 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | 1 | - | 1 |
| | 女児 0 歳 | 12 | 8 | 3 | - | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 30 | 25 | 2 | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | 1 |
| | 女児 2 歳 | 26 | 23 | - | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 11 | 9 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| | 女児 4 歳 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 4 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| 女児 6 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |

(3) 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_3 では、「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、リビング・居間における経験者 1,096 人のうち、168 人であった。事例別に見ると「やけど」が 153 人で、約 9 割を占める。

“危害経験がある”との回答は、「やけど」では 27 人、「転倒」では 3 人、「切った・擦りむいた」では 1 人となっている。

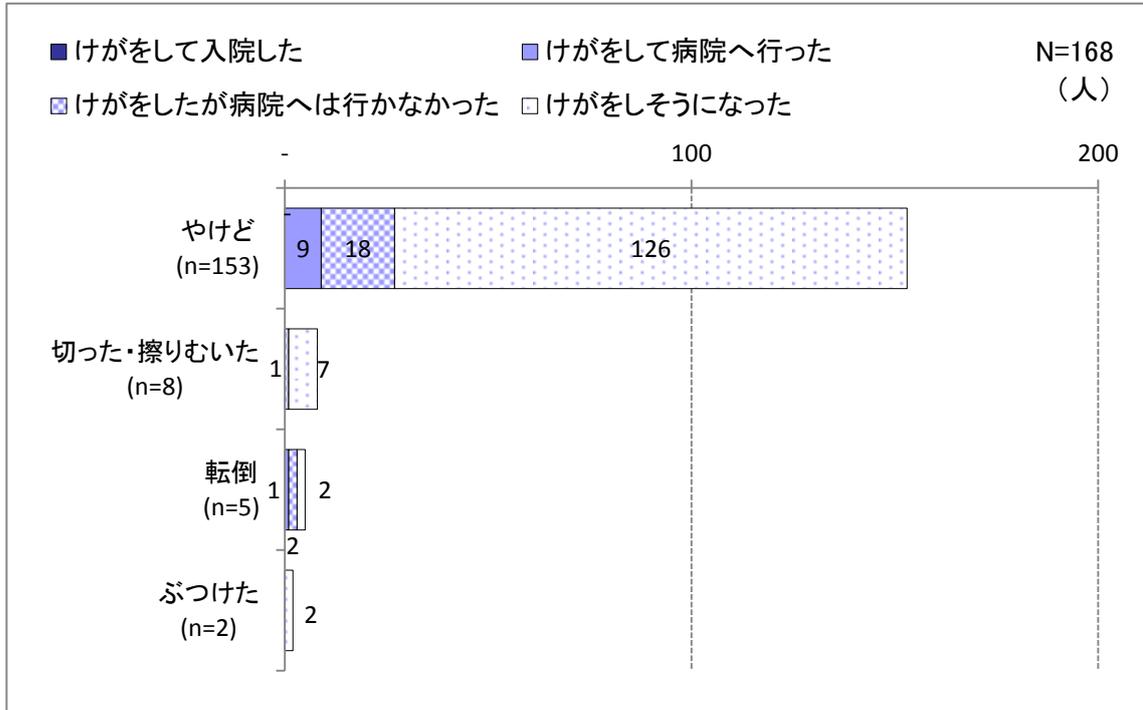


図 3_3. 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_3 は、「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児、女児ともに、2歳での事例が最も多く、男児が27人、女児が30人となっている。

**表 3_3. 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | や けど | 切 っ た ・ 擦 り む い た | 転 倒 | ぶ つ け た |
|--------------------------------------|--------|--------|---------|---|--------|------------------|
| 全 体 | | 168 | 153 | 8 | 5 | 2 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 88 | 80 | 3 | 4 | 1 |
| | 男児 0 歳 | 5 | 5 | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 19 | 18 | 1 | - | - |
| | 男児 2 歳 | 27 | 25 | 1 | 1 | - |
| | 男児 3 歳 | 19 | 17 | - | 2 | - |
| | 男児 4 歳 | 10 | 7 | 1 | 1 | 1 |
| | 男児 5 歳 | 6 | 6 | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 2 | 2 | - | - | - |
| | 女児合計 | 80 | 73 | 5 | 1 | 1 |
| | 女児 0 歳 | 9 | 9 | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 24 | 23 | 1 | - | - |
| | 女児 2 歳 | 30 | 25 | 4 | - | 1 |
| | 女児 3 歳 | 7 | 7 | - | - | - |
| | 女児 4 歳 | 3 | 3 | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 6 | 5 | - | 1 | - |
| 女児 6 歳 | 1 | 1 | - | - | - | |

(4) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 3_4 では、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、リビング・居間における経験者 1,096 人のうち、68 人であった。事例別に見ると「はさんだ」で 44 人と最も多く、以下「ぶつけた」12 人、「転落」4 人と続いている。

“危害経験がある”との回答は、「はさんだ」で 21 人見られた。

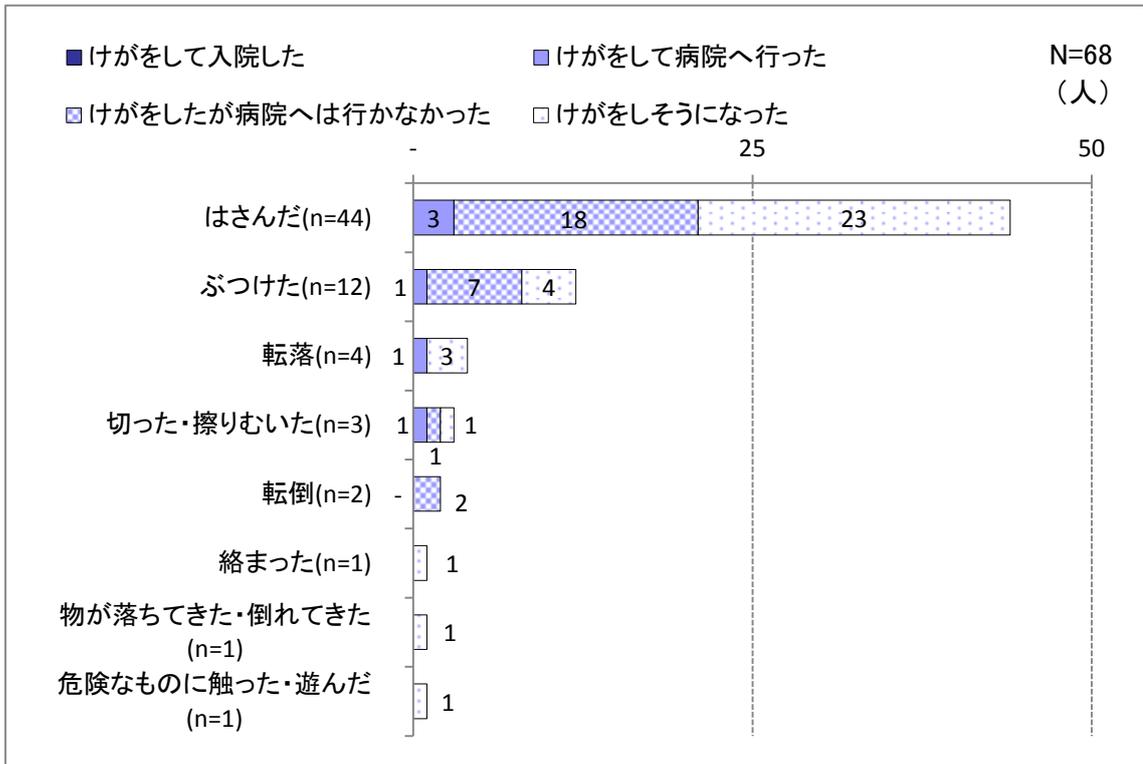


図 3_4. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 3_4 は、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は1歳での事例が最も多く13人で、女児は1歳、2歳での事例が最も多く各8人となっている。

**表 3_4. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

| | 全 体 | は さん だ | ぶ つ け た | 転 落 | 切 っ た ・ 擦 り む い た | 転 倒 | 絡 ま っ た | 物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た | 危 険 な も の に 触 っ た ・ 遊 ん だ |
|--------------------------------------|--------|--------------|------------------|--------|---|--------|------------------|---|---|
| 全 体 | 68 | 44 | 12 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 42 | 29 | 6 | 3 | 2 | - | 1 | - |
| | 男児0歳 | 4 | 2 | - | 1 | 1 | - | - | - |
| | 男児1歳 | 13 | 8 | 4 | - | 1 | - | - | - |
| | 男児2歳 | 10 | 8 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| | 男児3歳 | 8 | 6 | 1 | - | - | - | 1 | - |
| | 男児4歳 | 3 | 1 | - | 1 | - | - | - | 1 |
| | 男児5歳 | 4 | 4 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児6歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 26 | 15 | 6 | 1 | 1 | 2 | - | 1 |
| | 女児0歳 | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - |
| | 女児1歳 | 8 | 5 | 1 | - | - | 1 | - | 1 |
| | 女児2歳 | 8 | 6 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| | 女児3歳 | 4 | 1 | 2 | - | - | 1 | - | - |
| | 女児4歳 | 3 | 1 | 2 | - | - | - | - | - |
| | 女児5歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 女児6歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |

(5) 詳細事例

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|--------------|-----------|--------|--|
| 1 | テーブル・テーブルクロス | ぶつけた | 男児 1 歳 | テーブルの下に入り遊んでいると、急に立ち上がり頭を強打して泣いていた。 |
| 2 | テーブル・テーブルクロス | ぶつけた | 女児 1 歳 | 喜んで走りまわっているとき、ガラス製のリビングテーブルの角におでこをぶつけそうになった。テーブルの角は特にガードされておらず尖っているため、ぶつけたら流血していたと思う。 |
| 3 | テーブル・テーブルクロス | ぶつけた | 女児 1 歳 | 机の天板の高さが自宅と異なり、子供が下に入ることのできる高さなので、走り抜けようとしたら机の脚に顔面を強打した。 |
| 4 | テーブル・テーブルクロス | ぶつけた | 女児 2 歳 | 机の角に頬をぶつけてあざができた。 |
| 5 | テーブル・テーブルクロス | ぶつけた | 男児 3 歳 | 滑ったときにテーブルの角に頭をぶつけ、こぶができ熱が出た。 |
| 6 | テーブル・テーブルクロス | 転倒 | 男児 0 歳 | テーブルにつかまり立ちしてひっくり返った。 |
| 7 | テーブル・テーブルクロス | 切った・擦りむいた | 男児 3 歳 | テーブルクロスの角で目の上を切った。 |
| 8 | 冷暖房機器 | やけど | 男児 1 歳 | 自宅では吹出口にガードをつけたり囲いを使用しているが、石油ファンヒーターにガードがなかったので、吹出口を触ってしまった。 |
| 9 | 冷暖房機器 | やけど | 女児 1 歳 | 自宅ではエアコンのみ使用していて、祖母の家で使用しているストーブは今まで見たことがなかったため、触ろうとしてしまった。 |
| 10 | 冷暖房機器 | やけど | 男児 2 歳 | 石油ストーブの熱い天板に触ってしまった。 |
| 11 | 冷暖房機器 | やけど | 女児 2 歳 | 自宅にはストーブが無いので、避けたり近づかないように伝えていたが、4歳の姉とリビングではしゃいでいるうちにぶつかってしまった。 |
| 12 | 冷暖房機器 | やけど | 男児 3 歳 | 自宅では使用していない灯油ヒーターのボタンに興味をもち、勝手に電源を入れてしまった。着火の音が出て熱風が出てくるところから中を覗き込んでいたのを慌てて抱き上げたが、気づかなければ顔をやけどしていたかもしれずヒヤリとした。 |
| 13 | 冷暖房機器 | 切った・擦りむいた | 男児 2 歳 | 扇風機の羽の部分に手を入れてしまい、切り傷ができた。 |
| 14 | 冷暖房機器 | 切った・擦りむいた | 女児 2 歳 | 扇風機にカバーがつけられていなかったため、隙間から指を入れそうになったが、気がついてとめたため大事には至らなかった。 |
| 15 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 1 歳 | 自宅には無い引き戸に興味を持ち、開け閉めをしていた。戸を閉めた際に、足の指が下部レールの上であり、戸とレール部分の隙間にはさまってしまい、薬指の爪が剥がれた。 |
| 16 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 2 歳 | リビングの扉が、自宅にはないスライド式の扉で、自分で開けて指が巻き込まれはさまった。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|-------|---------------|--------|---|
| 17 | ドア・窓類 | 転落 | 男児 2 歳 | 網戸に寄りかかり、網戸が外れ、庭に頭から転落した。 |
| 18 | ドア・窓類 | 切った・擦りむいた | 女児 0 歳 | 古い障子のささくれていた部分を触ろうとした。 |
| 19 | ドア・窓類 | 絡まった | 男児 3 歳 | ロールカーテンのひもに首が絡まりそうになった。 |
| 20 | ドア・窓類 | 物が落ちてきた・倒れてきた | 男児 4 歳 | 和室でいこと遊んでいたらふすまに勢いよく体がぶつかりふすまが外れ、倒れて下敷きになりそうになった。 |
| 21 | ソファ | 転落 | 男児 2 歳 | ソファでジャンプして落ち、腕を上げると痛がるので病院へ行ったら鎖骨を骨折していた。 |
| 22 | ソファ | 転落 | 女児 5 歳 | 自宅のソファは壁につけて置かれているが、ソファの後ろにスペースがあり、背もたれに座って落ちた。 |
| 23 | ソファ | はさんだ | 女児 5 歳 | ソファの隙間で遊んでいて、腕がはさまり脱臼した。 |
| 24 | ソファ | 製品ごと転落・転倒 | 女児 0 歳 | ローソファがあり、子供がのぼりやすい高さなので見守っていたが、私が席を外したときに一人でよじのぼって背もたれに体重をかけたらソファごと倒れそうになった。部屋に戻った際に気づいて慌てておさえた。 |
| 25 | ソファ | バランスを崩した | 男児 1 歳 | 自宅では床などに座って遊んでいるが、祖母の家にはソファがあり、バランスの悪いソファに立ってフラフラしていた。すぐに気づいておろしたので大事には至らなかった。 |
| 26 | 椅子 | 転落 | 女児 1 歳 | 回転椅子から落ちて目の端を切った。 |
| 27 | 調理家電 | やけど | 女児 2 歳 | 自宅では卓上で鍋をすることはないが、実家で皆で電気鍋を囲んで食べていたときに、鍋のふちに触ってやけどしそうになった。 |
| 28 | 調理家電 | やけど | 女児 2 歳 | 電気ポットの湯出しボタンにロックがかかっておらず、ボタンを押して湯を出そうとしていた。 |
| 29 | 調理家電 | やけど | 女児 2 歳 | 自宅では、炊飯器を棚に置いてあり子供が手を出すことはないが、実家では床に近いところに置いてあり、蒸気の吹出し口に手をかざしそうになった。 |
| 30 | 調理家電 | やけど | 男児 6 歳 | テーブルの上で電気プレート式たこ焼き機を使用していた際、コードに足を引っかけ体勢を崩し、たこ焼き機に手をついてやけどした。年末年始で近くの病院は休診だったため、すぐに氷水で冷やし応急処置をした。 |
| 31 | 調理家電 | 転倒 | 男児 3 歳 | 低いテーブルの上に電気ケトルが置いてあり、その周辺を通る際にコードに引っかかったが、コンセントが抜けて大事には至らなかった。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|------------|---------------|-------|---|
| 32 | その他日用品・雑貨類 | 誤飲 | 男児1歳 | 冷蔵庫に貼ってあった小さいマグネットを誤飲した。吐かせようとしても出ず、町の診療所に行った後、救急車で救急病院へ行った。 |
| 33 | その他日用品・雑貨類 | 危険なものに触った・遊んだ | 男児1歳 | 床に裁縫道具があり、子供がひっくり返して針で遊ぼうとした。ひっくり返した音で夫が気づいて片づけた。 |
| 34 | その他日用品・雑貨類 | 危険なものに触った・遊んだ | 女児4歳 | 実家で、祖母がガラス製の体温計を子供の手の届かない高いところに置いていたが、子供が近くの椅子にのぼって取り持ち歩いていた。 |
| 35 | こたつ | やけど | 男児3歳 | 自宅ではこたつを使っておらず、祖母の家でかくれんぼをした際、こたつにかくれてしまった。熱の出るところを触りかけたときに姉弟が気づいてやけどを防げた。 |
| 36 | こたつ | やけど | 男児4歳 | ヒーター部に触れてしまいやけどしそうになった。 |
| 37 | こたつ | ぶつけた | 女児1歳 | 子供が転んでこたつのふちに顔をぶつけた。自宅には低いテーブルがない。 |
| 38 | こたつ | 転落 | 男児0歳 | 自宅には掘りごたつがないが、寝返りやずりばいの時期に帰省した実家で、少し目を離したときに掘りごたつの下に転がり落ちてしまった。泣き声を上げたがけがは無かった。 |
| 39 | こたつ | 転倒 | 男児1歳 | 自宅にこたつはないが、帰省先の祖父母宅のリビングには夏季を除いて置かれており、こたつ布団に足が引っかかってバランスを崩し、台に頭をぶつけそうになった。 |
| 40 | こたつ | 転倒 | 男児2歳 | こたつのコードに足を引っ掛け、こたつテーブルに顔を打ちつけ、唇が切れて出血した。 |
| 41 | 文具 | 切った・擦りむいた | 男児1歳 | 自宅では手の届かないところにはさみを置いているが、祖父母の家では手の届くところにあり、気づいたら子供が持っていた。すぐ取りあげたためけがはなかった。 |
| 42 | 文具 | 切った・擦りむいた | 女児2歳 | 子供の顔の高さのところにセロハンテープカッターが置いてあり、興味を持って何度も触り、指を切ってしまった。 |
| 43 | 食品・飲料 | やけど | 女児0歳 | 子供用の食事用チェアがなく、膝の上に座らせており、よく見えず、子供が茶碗に触って熱い味噌汁が手にかかりやけどした。 |
| 44 | 食品・飲料 | 誤飲 | 女児1歳 | お正月に居間で日本酒の入ったコップを取り一口飲んでしまった。 |
| 45 | 食品・飲料 | 誤飲 | 女児2歳 | 食べたことのない落花生がテーブルの上にあり、手を伸ばして食べていた。 |
| 46 | テレビ・テレビ台 | ぶつけた | 女児2歳 | 転んでテレビ台の角に頭をぶつけて切った。 |
| 47 | テレビ・テレビ台 | 物が落ちてきた・倒れてきた | 男児1歳 | 薄型テレビを倒れてしまい下敷きになった。頭を打ったため病院へ連れて行った。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|------------------|---------------|--------|---|
| 48 | テレビ・テレビ台 | はさんだ | 男児 1 歳 | 観音開きのテレビラックのガラス戸を自分で押し開けて遊んでいたが、しばらくして手をはさんでしまった。 |
| 49 | テレビ・テレビ台 | 製品ごと転落・転倒 | 男児 3 歳 | 自宅のテレビ台とは異なり、キャスター付であったため、子供が体重をかけときに台が動き子供が転びそうになった。 |
| 50 | 収納家具 | ぶつけた | 女児 2 歳 | チェストの角に目の上をぶつけた。 |
| 51 | 収納家具 | 物が落ちてきた・倒れてきた | 女児 4 歳 | 引き出しを開けて、その引き出しにぶら下がって遊んでいたら、タンスが倒れて下敷きになった。 |
| 52 | たばこ類・灰皿 | 誤飲 | 男児 1 歳 | テーブルの上に置いてあった灰皿に手を伸ばし、たばこを食べてしまった。 |
| 53 | たばこ類・灰皿 | 誤飲 | 男児 1 歳 | テーブルの上に置いておいた加熱式たばこを食べようとしていた。 |
| 54 | たばこ類・灰皿 | やけど | 男児 1 歳 | 家では誰もたばこを吸わないので珍しく思ったのか、火がついているものを触ったが、すぐ気がつき取りあげた。 |
| 55 | 生活家電 | やけど | 男児 1 歳 | 使用したヘアアイロンを冷ましてからしまおうと置いておいたら、目を離したときに子供が触ってしまった。 |
| 56 | 生活家電 | やけど | 女児 2 歳 | アイロンのスイッチを切り忘れ、子供が前を通ったときに足に当たりやけどした。腫れあがったため病院で受診した。 |
| 57 | 生活家電 | 物が落ちてきた・倒れてきた | 女児 1 歳 | 立て掛け式の掃除機が倒れた際、当たりそうになった。 |
| 58 | 床・畳・敷物 | 転倒 | 女児 1 歳 | 少しめくっていたカーペットに足を引っかけて転んでしまった。 |
| 59 | 床・畳・敷物 | 転倒 | 女児 3 歳 | 自宅と違い硬くてツルツルした床で、滑って転び頭を打った。 |
| 60 | 医薬品・化粧品 | 誤飲 | 女児 2 歳 | 祖父が飲み忘れないように机の上に置いていた薬に子供の手が届きそうだった。 |
| 61 | 段差 | 転倒 | 男児 2 歳 | 畳の部屋とリビングとの間の段差で転んだ際、段差の角におでこをぶつけてたんこぶができた。 |
| 62 | 仏壇・仏具 | やけど | 男児 1 歳 | 家にはない仏壇の線香の火を触りそうになったり、近くに置いてあったライターを手にとったりした。 |
| 63 | 仏壇・仏具 | 誤飲 | 男児 1 歳 | 仏壇に置いてある線香の灰少量を口に入れてしまった。 |
| 64 | 玩具 | 誤飲 | 女児 1 歳 | 夏祭りの出店で取ってきたゴムボールを、娘が口の中に入れた。 |
| 65 | ペット・ペット用品・その他生き物 | 誤飲 | 女児 1 歳 | 自宅では犬を飼っていないため、犬のえさが珍しかったようで口に入れようとした。犬が取り返そうとして飛びかかったため後ろに転んだ。 |
| 66 | ペット・ペット用品・その他生き物 | 噛まれた | 男児 2 歳 | 子供が犬に顔を噛まれて 10 針縫うけがをした。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|-------------|------|--------|--|
| 67 | コンセント・コード類 | 転倒 | 男児 1 歳 | 自宅では、床に延長コードを置いていないが、祖母母宅ではそのまま部屋に延びていて、引っかかって転倒した。その際、ローテーブルがあり顔をぶつけそうになった。 |
| 68 | マッサージ器・健康器具 | 転落 | 男児 1 歳 | 実家のリビングに、私が以前使っていたバランスボールが置かれたままになっており、子供がボールで遊ぼうと全身で乗りかかったときにバランスを崩し、頭を打ってしまった。 |
| 69 | 硬貨 | 誤飲 | 女児 0 歳 | 硬貨で遊んでいて口に入れていた。 |
| 70 | ピアノ | はさんだ | 女児 2 歳 | 実家にピアノが置いてあり、娘が蓋を開けて弾き始めた。いつのまにか一人で弾いていて蓋が閉まってしまい指がはさまった。真っ赤に腫れあがったので正月だったが救急病院で受診した。 |
| 71 | 電池 | 誤飲 | 女児 0 歳 | 缶の空箱に入れてあった使用済のボタン電池を、娘が蓋を開けて口に入れていた。箱の中に何個あったのか誰も把握していなかったため、救急受診しレントゲンを撮った。結局飲み込んではおらず、大事には至らなかった。 |
| 72 | 観葉植物 | 誤飲 | 男児 1 歳 | 観葉植物の鉢に栄養剤の粒が入っていて、触って口に入れそうになった。すぐ気づいて口に入れずに済んだが危なかった。 |
| 73 | ウォーターサーバー | やけど | 男児 1 歳 | チャイルドロックがかかっておらず、サーバーから湯が出てしまいやけどした。 |
| 74 | やかん | やけど | 男児 4 歳 | 自宅ではやかんを使用していないが、帰省時、ストーブの上でやかんを温めていて、子供が手を伸ばしたときに気がついて引き離したので大事には至らなかった。 |
| 75 | 乾燥剤・殺虫剤・消臭剤 | やけど | 男児 2 歳 | 自宅では子供の手の届かないところかコンセント式の物を使っているが、帰省時はリビングの床に蚊取り線香が置いてあり、指をやけどした。 |

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

(6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか

リビング・居間での危害及びヒヤリ・ハット経験がある回答者 1,096 人に対して、どうしたら防ぐことができたと思うかを自由記述で質問した結果、865 人から 964 件の回答が得られた。このうち、危害及びヒヤリ・ハット経験の多い事例及び製品について、回答例の一部を記す。

**表 3.5. リビング・居間で
「どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか」(事例別)**

| 事 例 | 回答例 |
|-----------|---|
| やけど | 製品の回りに柵をつけておけばよかった。 チャイルドロックを使用する。 他の製品を使用する。 (子供がいるときは) 製品を使用しない。 配置を変える。 別の製品を使用する。 手の届かないところに置けばよかった。 危ないことを教えておけばよかった。 |
| ぶつけた | 製品の角にクッション材をつける。 製品の角に緩衝材をつける。 |
| 転落 | マットを敷く。 クッションを使用する。 子供用の製品を使用する。 |
| 誤飲 | 手の届かないところにおくべきだった。 目につかないところに保管する。 小さいものを持たせない。 |
| 転倒 | つまずきやすい敷物等を使用しない。 滑りにくいよう敷物等を使用する。 |
| 切った・擦りむいた | 手の届かないところに置く。 目に触れない場所にしまう。 |
| はさんだ | クッション材を使用する。 |

※上記の他、「目を離さない・一人にしない」旨の回答は各事例に共通していた。

4. 台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) 台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験(概要)

図 4_1 は台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である(上位 21 位以降の製品は「その他」とした。)

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は、3,000 人中 700 人 (23.3%) であった。

製品別に見ると、「調理用具」が 174 人 (24.9%) と最も多く、次いで、「コンロ回り」149 人 (21.3%)、「冷暖房機器」が 71 人 (10.1%) と続く。「その他」にまとめられた製品・場所には、「歯ブラシ」、「ペット・ペット用品・その他生き物」等が含まれる。

“危害経験がある”との回答は、「調理用具」が 24 人と最も多く、次いで「調理家電」が 13 人と続く。

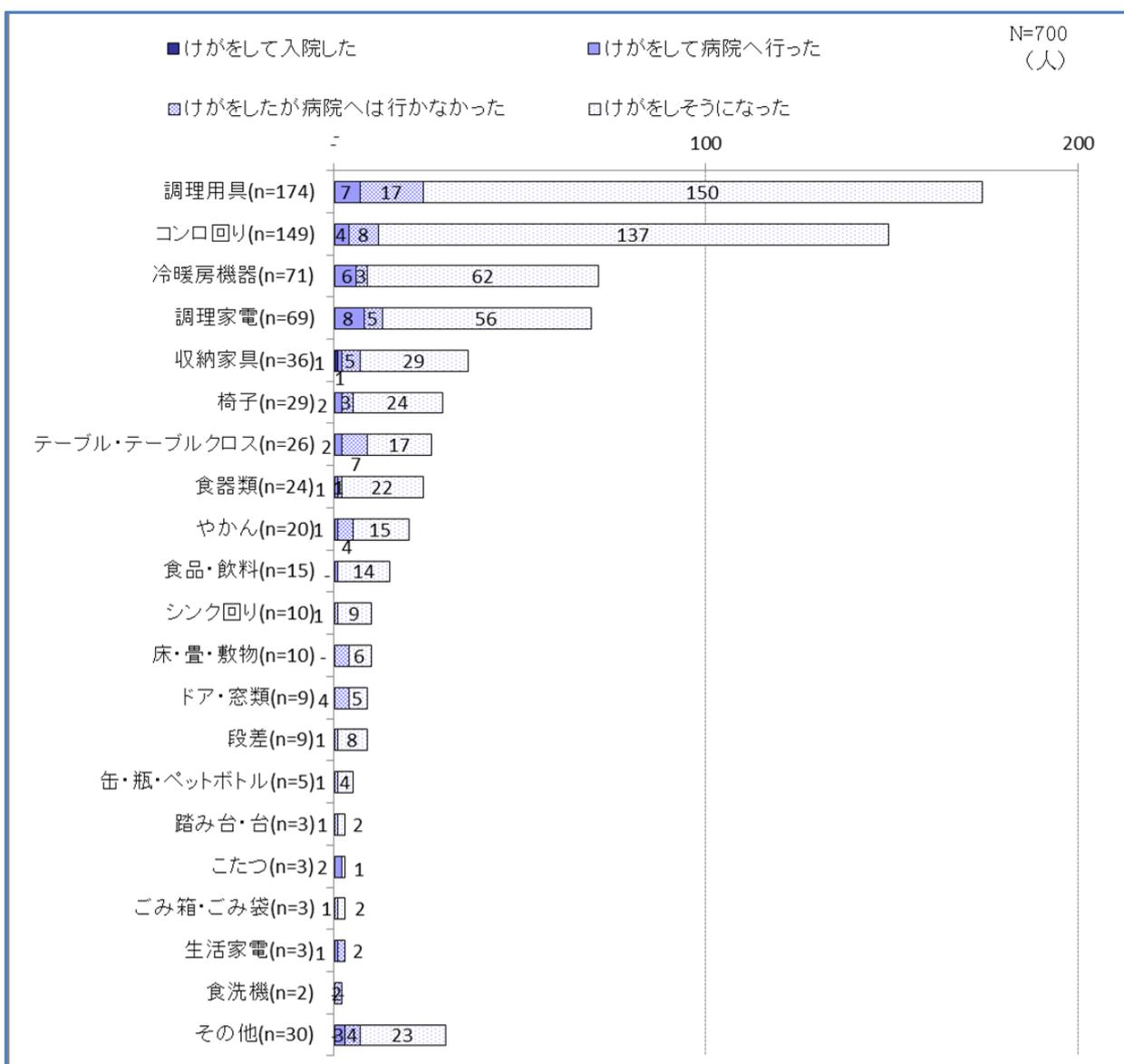


図 4_1. 台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品別)

表 4_1_1 は台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 700 人のうち「やけど」の事例が 325 人 (46.4%) と最も多く、次いで「切った・擦りむいた」が 156 人 (22.3%)、「ぶつけた」41 人 (5.9%) と続く。

「やけど」に関わる製品としては「コンロ回り」が 141 人で最も多い。「切った・擦りむいた」では「調理用具」が 143 人となっている。「ぶつけた」については、「テーブル・テーブルクロス」が 16 人となっている。

**表 4_1_1. 台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×製品別)**

| | 全 体 | や けど | 切 っ た ・ 擦 り む い た | ぶ つ け た | 危 険 な も の に 触 っ た ・ 遊 ん だ | は さ ん だ | 転 落 | 誤 飲 | 転 倒 | 物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た | 製 品 ご と の 転 落 ・ 転 倒 | そ の 他 |
|--------------|--------|---------|---|------------------|---|------------------|--------|--------|--------|---|--|-------------|
| 全 体 | 700 | 325 | 156 | 41 | 39 | 35 | 33 | 20 | 17 | 9 | 8 | 17 |
| 調理用具 | 174 | 23 | 143 | - | 3 | 1 | - | 1 | - | - | 1 | 2 |
| コンロ回り | 149 | 141 | - | 2 | - | 3 | - | - | 3 | - | - | - |
| 冷暖房機器 | 71 | 66 | 4 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 調理家電 | 69 | 52 | - | 4 | 2 | 4 | 1 | - | 3 | 2 | - | 1 |
| 収納家具 | 36 | - | 3 | 6 | 5 | 14 | - | 1 | 1 | 4 | - | 2 |
| 椅子 | 29 | - | - | 3 | 1 | - | 17 | - | - | 1 | 5 | 2 |
| テーブル・テーブルクロス | 26 | 2 | - | 16 | 5 | - | 2 | - | - | - | - | 1 |
| 食器類 | 24 | - | 2 | 1 | 18 | 1 | - | 2 | - | - | - | - |
| やかん | 20 | 20 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 食品・飲料 | 15 | 8 | - | 1 | - | - | - | 4 | - | - | - | 2 |
| シンク回り | 10 | 3 | - | 2 | 1 | 1 | - | - | - | 1 | - | 2 |
| 床・畳・敷物 | 10 | - | 2 | - | - | 4 | 1 | - | 3 | - | - | - |
| ドア・窓類 | 9 | - | 1 | - | - | 7 | - | - | - | - | 1 | - |
| 段差 | 9 | - | - | - | - | - | 7 | - | 2 | - | - | - |
| 缶・瓶・ペットボトル | 5 | - | 1 | - | 3 | - | - | - | - | 1 | - | - |
| 踏み台・台 | 3 | - | - | - | - | - | 2 | - | 1 | - | - | - |
| こたつ | 3 | 2 | - | - | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| ごみ箱・ごみ袋 | 3 | - | - | - | - | - | - | 2 | - | - | 1 | - |
| 生活家電 | 3 | 2 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | - | - |
| 食洗機 | 2 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他 | 30 | 5 | - | 4 | 1 | - | 2 | 10 | 3 | - | - | 5 |

表 4_1_2 では子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 398 人で、女児の 302 人と比べ多くなっている。

「調理用具」の事例は、男児が 97 人、女児が 77 人と最も多い。年齢別に見ると、男児は 1 歳、女児は 2 歳が最も多い。

**表 4_1_2. 台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験
(製品×子供の性・年齢別)**

(人)

| | 全体 | 調理用具 | コンロ回り | 冷暖房機器 | 調理家電 | 収納家具 | 椅子 | テーブル・テーブルクロス | 食器類 | やかん | 食品・飲料 | その他 | |
|----------|--------|------|-------|-------|------|------|----|--------------|-----|-----|-------|-----|----|
| 全体 | 700 | 174 | 149 | 71 | 69 | 36 | 29 | 26 | 24 | 20 | 15 | 87 | |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 398 | 97 | 86 | 42 | 45 | 18 | 17 | 14 | 15 | 9 | 6 | 49 |
| | 男児 0 歳 | 26 | 6 | 5 | 1 | 4 | 1 | - | 1 | 1 | - | 1 | 6 |
| | 男児 1 歳 | 148 | 32 | 35 | 18 | 14 | 8 | 7 | 1 | 6 | 1 | 3 | 23 |
| | 男児 2 歳 | 103 | 26 | 20 | 14 | 10 | 6 | 4 | 5 | 5 | 2 | 1 | 10 |
| | 男児 3 歳 | 71 | 22 | 15 | 6 | 12 | 1 | 3 | 3 | 2 | 3 | 1 | 3 |
| | 男児 4 歳 | 31 | 8 | 6 | 3 | 4 | 2 | 1 | 2 | - | 2 | - | 3 |
| | 男児 5 歳 | 14 | 3 | 2 | - | - | - | 2 | 2 | 1 | 1 | - | 3 |
| | 男児 6 歳 | 5 | - | 3 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | 1 |
| | 女児合計 | 302 | 77 | 63 | 29 | 24 | 18 | 12 | 12 | 9 | 11 | 9 | 38 |
| | 女児 0 歳 | 30 | 4 | 3 | 3 | 1 | 5 | 3 | 1 | 1 | - | - | 9 |
| | 女児 1 歳 | 98 | 19 | 17 | 5 | 12 | 7 | 5 | 8 | 2 | 4 | 5 | 14 |
| | 女児 2 歳 | 88 | 33 | 18 | 9 | 9 | 2 | 3 | 1 | 3 | 1 | 3 | 6 |
| | 女児 3 歳 | 47 | 13 | 11 | 7 | - | 2 | 1 | 1 | 2 | 3 | - | 7 |
| | 女児 4 歳 | 13 | 3 | 7 | 1 | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - |
| 女児 5 歳 | 15 | 5 | 3 | 2 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | 1 | 1 | |
| 女児 6 歳 | 11 | - | 4 | 2 | - | 1 | - | - | - | 3 | - | 1 | |

※この表における「その他」は、図 4_1 の「シンク回り」から「その他」までのものである。

(2) 「調理用具」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4_2 は、「調理用具」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「調理用具」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、台所・ダイニングにおける経験者 700 人のうち、174 人であった。事例別に見ると、「切った・擦りむいた」が 143 人と最も多く、「やけど」23 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「切った・擦りむいた」では 16 人となっている。

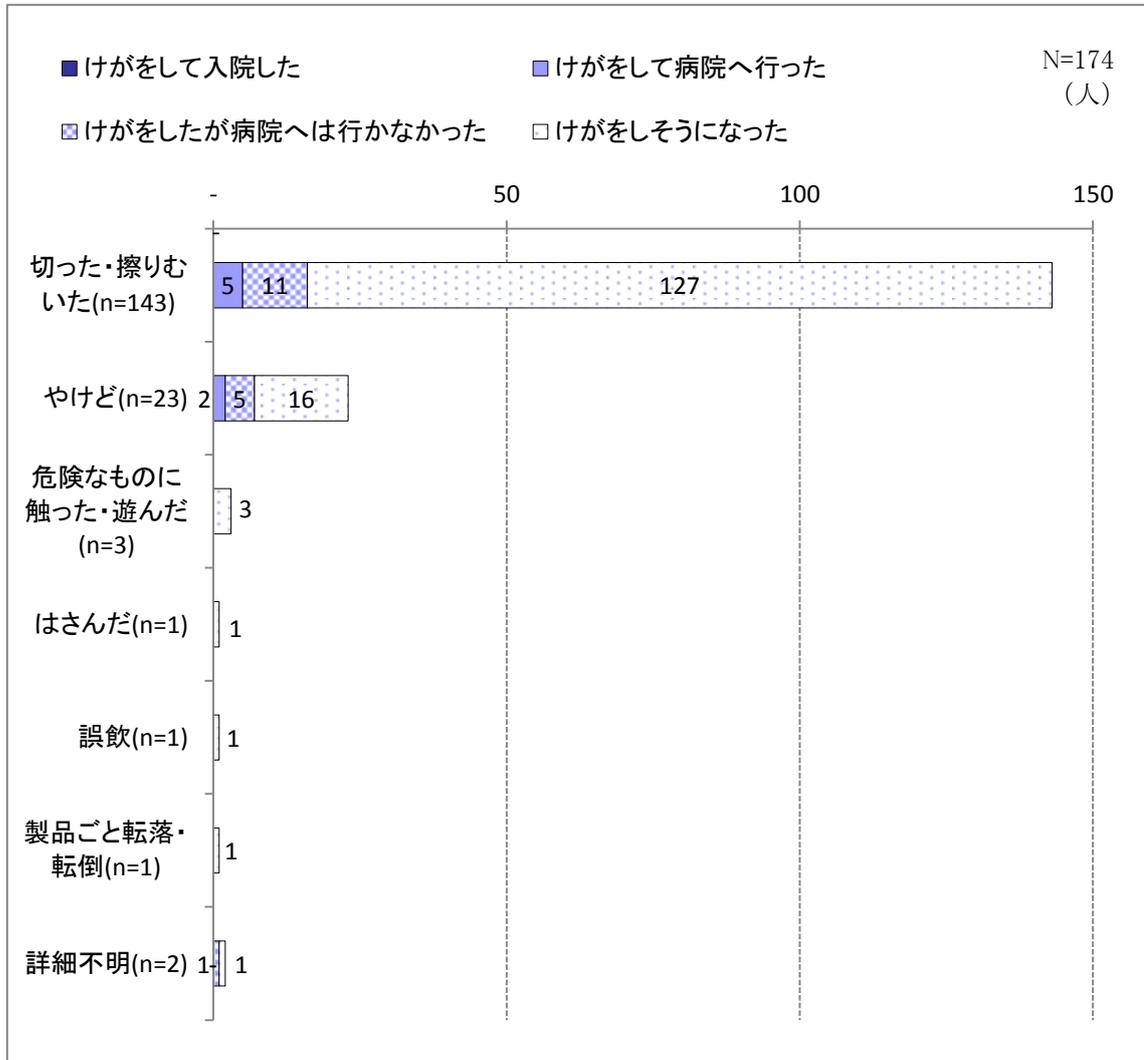


図 4_2. 「調理用具」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4_2 は、「調理用具」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は1歳での事例が最も多く32人で、女児は2歳での事例が最も多く33人となっている。

男児、女児ともに「切った・擦りむいた」が全体の約8割を占めている。

**表 4.2. 「調理用具」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | 切 っ た ・ 擦 り む い た | や け ど | 危 険 な も の に 触 っ た ・ 遊 ん だ | は さ ん だ | 誤 飲 | 製 品 ご と 転 落 ・ 転 倒 | 詳 細 不 明 |
|--------------------------------------|------|--------|---|-------------|---|------------------|--------|---|------------------|
| 全 体 | | 174 | 143 | 23 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 97 | 80 | 11 | 2 | 1 | 1 | - | 2 |
| | 男児0歳 | 6 | 3 | 2 | - | - | - | - | 1 |
| | 男児1歳 | 32 | 28 | 2 | 1 | - | 1 | - | - |
| | 男児2歳 | 26 | 24 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| | 男児3歳 | 22 | 18 | 3 | - | 1 | - | - | - |
| | 男児4歳 | 8 | 6 | 2 | - | - | - | - | - |
| | 男児5歳 | 3 | 1 | 1 | - | - | - | - | 1 |
| | 男児6歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 77 | 63 | 12 | 1 | - | - | 1 | - |
| | 女児0歳 | 4 | 1 | 1 | 1 | - | - | 1 | - |
| | 女児1歳 | 19 | 19 | - | - | - | - | - | - |
| | 女児2歳 | 33 | 28 | 5 | - | - | - | - | - |
| | 女児3歳 | 13 | 10 | 3 | - | - | - | - | - |
| | 女児4歳 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | - |
| | 女児5歳 | 5 | 2 | 3 | - | - | - | - | - |
| 女児6歳 | - | - | - | - | - | - | - | - | |

(3) 「コンロ回り」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4_3 は、「コンロ回り」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「コンロ回り」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、台所・ダイニングにおける経験者 700 人のうち、149 人であった。事例別に見ると、「やけど」が 141 人で全体の約 9 割を占めている。そのうち、「危害経験がある」との回答は 12 人となっている。

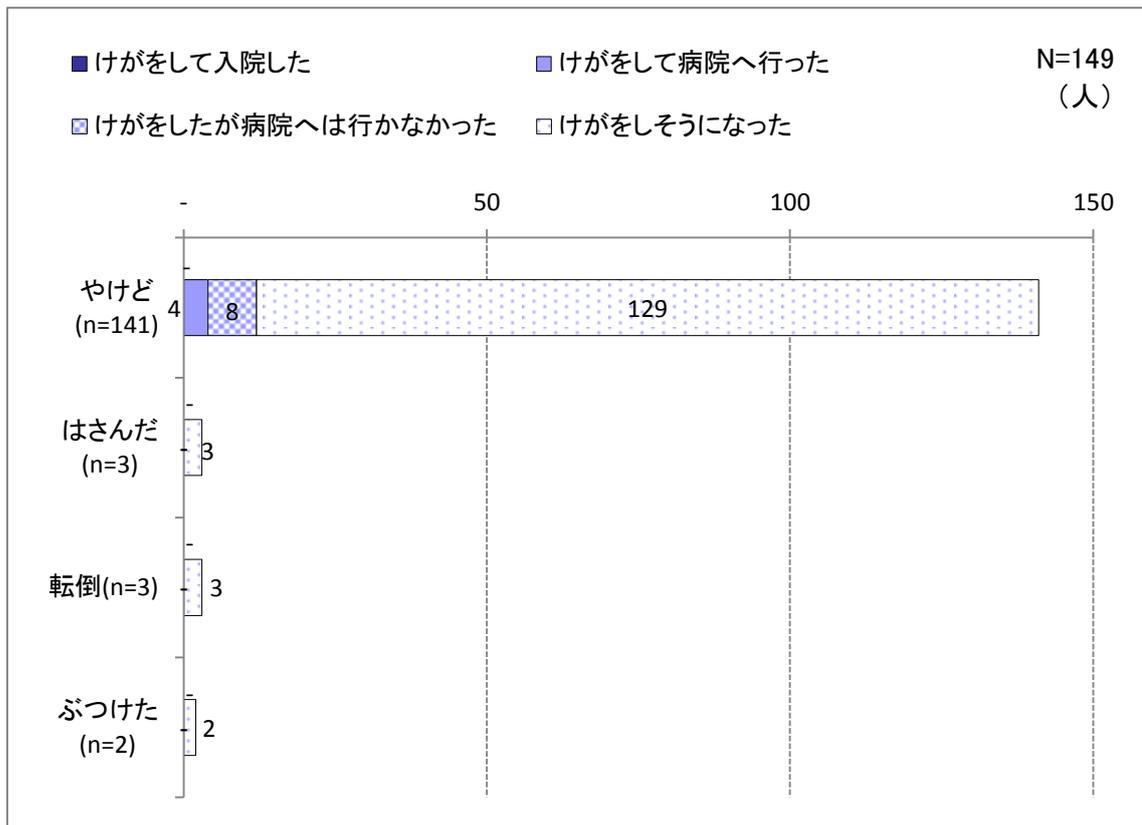


図 4_3. 「コンロ回り」での危害及びヒヤリ・ハットの程度（事例別）

表 4_3 は、「コンロ回り」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児が 86 名、女児が 63 名であった。また、男児、女児ともに 1 歳、2 歳での事例が多くなっている。

**表 4_3. 「コンロ回り」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | や け ど | は さ ん だ | 転 倒 | ぶ つ け た |
|--------------------------------------|--------|--------|-------------|------------------|--------|------------------|
| 全 体 | | 149 | 141 | 3 | 3 | 2 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 86 | 80 | 2 | 3 | 1 |
| | 男児 0 歳 | 5 | 3 | - | 1 | 1 |
| | 男児 1 歳 | 35 | 33 | 1 | 1 | - |
| | 男児 2 歳 | 20 | 20 | - | - | - |
| | 男児 3 歳 | 15 | 15 | - | - | - |
| | 男児 4 歳 | 6 | 5 | - | 1 | - |
| | 男児 5 歳 | 2 | 1 | 1 | - | - |
| | 男児 6 歳 | 3 | 3 | - | - | - |
| | 女児合計 | 63 | 61 | 1 | - | 1 |
| | 女児 0 歳 | 3 | 3 | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 17 | 16 | 1 | - | - |
| | 女児 2 歳 | 18 | 18 | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 11 | 10 | - | - | 1 |
| | 女児 4 歳 | 7 | 7 | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 3 | 3 | - | - | - |
| 女児 6 歳 | 4 | 4 | - | - | - | |

(4) 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 4_3 は、「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、台所・ダイニングにおける経験者 700 人のうち、71 人であった。事例別に見ると、「やけど」が 66 人で約 9 割を占めている。

“危害経験がある”との回答は、「やけど」で 8 人、「切った・擦りむいた」で 1 人となっている。

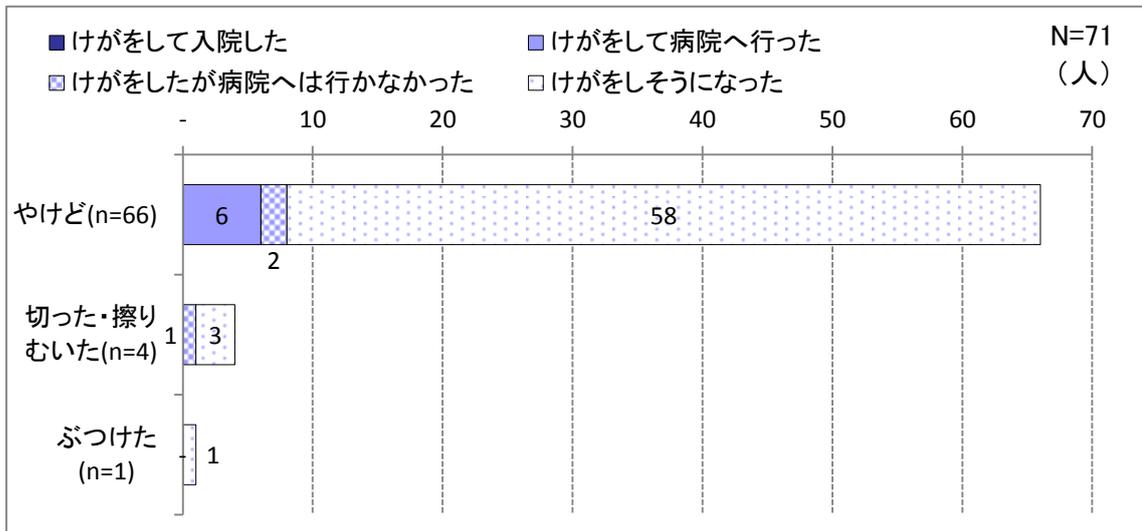


図 4_4. 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 4_4 は、「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は1歳が最も多く18人で、女児は2歳が9人で最も多くなっている。

**表 4_4. 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | や けど | 切 った・擦 りむいた | ぶ つけた |
|----------|--------|--------|---------|-------------------|----------|
| 全 体 | | 71 | 66 | 4 | 1 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 42 | 37 | 4 | 1 |
| | 男児 0 歳 | 1 | - | 1 | - |
| | 男児 1 歳 | 18 | 17 | 1 | - |
| | 男児 2 歳 | 14 | 12 | 2 | - |
| | 男児 3 歳 | 6 | 5 | - | 1 |
| | 男児 4 歳 | 3 | 3 | - | - |
| | 男児 5 歳 | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 29 | 29 | - | - |
| | 女児 0 歳 | 3 | 3 | - | - |
| | 女児 1 歳 | 5 | 5 | - | - |
| | 女児 2 歳 | 9 | 9 | - | - |
| | 女児 3 歳 | 7 | 7 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 1 | 1 | - | - |
| | 女児 5 歳 | 2 | 2 | - | - |
| | 女児 6 歳 | 2 | 2 | - | - |

(5) 詳細事例

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|-------|-----------|--------|---|
| 1 | 調理用具 | 切った・擦りむいた | 男児 0 歳 | 自宅では子供がキッチンに入れないよう柵をしているが、実家には柵がなく、戸棚の引き戸を簡単に開けて、包丁を触ろうとしていた。 |
| 2 | 調理用具 | 切った・擦りむいた | 男児 1 歳 | 自宅ではチャイルドロックをかけているが、実家にはないため、キッチンのシンク下の包丁の収納部の扉を開けて包丁を出そうとしていた。 |
| 3 | 調理用具 | 切った・擦りむいた | 男児 1 歳 | ラップの刃で手を切りそうになった。 |
| 4 | 調理用具 | 切った・擦りむいた | 女児 1 歳 | 祖母が包丁を一時置いていたのを、知らないうちに子供が触ってけがをした。 |
| 5 | 調理用具 | 切った・擦りむいた | 女児 2 歳 | 自宅はカウンターキッチンで入り口に仕切りを置き、子供が入れないようにしているが、祖父母宅はオープンキッチンなので、リビングから移動し、包丁を触りそうになった。 |
| 6 | 調理用具 | 切った・擦りむいた | 男児 3 歳 | 置いてある包丁に手が届いてしまい台所から床に落とした。 |
| 7 | 調理用具 | やけど | 男児 0 歳 | 火にかけた片手鍋を、おんぶしていた子供が蹴ってひっくり返した。 |
| 8 | 調理用具 | やけど | 男児 2 歳 | 自宅では対面式キッチンで出入り口をゲートでふさいでいるが、実家は壁に面したキッチンで、鍋で天ぷらを作っているときに、後ろから近づいてきた子供に気づかず、油がはねて顔に小さなやけどをしてしまった。 |
| 9 | 調理用具 | はさんだ | 男児 3 歳 | 積み重ねて床に置いてあった漬物石に興味を持ち、持ち上げようとして石が崩れ、手をはさみそうになった。 |
| 10 | コンロ回り | やけど | 男児 1 歳 | 自宅ではキッチンにゲートをつけており子供が入らないようにしているが、祖父母宅にはないので、何度もキッチンに行きガスコンロをロックしていたが、子供がロックを解除してしまい危なかった。 |
| 11 | コンロ回り | やけど | 男児 1 歳 | 使用後の熱い魚焼きグリルに触ってやけどし、救急車を呼んだ。 |
| 12 | コンロ回り | やけど | 男児 2 歳 | ボタンを押すことが好きなので、ガスコンロのスイッチにも興味を持ち、何度も押していてヒヤリとした。 |
| 13 | コンロ回り | やけど | 女児 3 歳 | 自宅はIHで、普段炎を見る生活をしていないため、ゆらゆらする炎が気になったようで、大人が火力調節のつまみを左右に動かしているのを見て真似して左右に動かし、炎の大きさを変え遊んでしまった。 |
| 14 | コンロ回り | はさんだ | 女児 1 歳 | 火はつけていなかったが、目を離れたときにグリルを開け閉めして遊んでおり、手をはさみそうになった。 |
| 15 | 冷暖房機器 | やけど | 女児 0 歳 | つかまり立ちを始め、気づいたらガストーブでつかまり立ちをしようとした。 |
| 16 | 冷暖房機器 | やけど | 男児 1 歳 | 自宅にはないストーブに興味を持ち、灯油を入れる部分や電源ボタン、コンセントなどしきりに触ろうとしていて危なかった。 |
| 17 | 冷暖房機器 | やけど | 女児 3 歳 | 家では使わないものなので、近づくと危ないことが分からず、石油ストーブの熱風が出ているところに手や体を近づけていた。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|--------------|---------------|--------|---|
| 18 | 冷暖房機器 | 切った・擦りむいた | 男児 1 歳 | 扇風機の羽に触れた。 |
| 19 | 調理家電 | やけど | 男児 1 歳 | 自宅では小さな子供の手の届かないところに炊飯器を置いているが、そのときは、皆が集まる都合もあって床に置いていた。子供が泣いたので気づくと、炊飯器の蓋が開いていた。そのときは大事に至らなかったと思ったが、翌日大きな水泡になっていた。 |
| 20 | 調理家電 | やけど | 男児 1 歳 | 自宅では子供の手の届かないところに炊飯器を置いているが、祖父母の家では小柄な祖母に合わせて低いところに置いてあり、蓋を開け閉めして遊ぼうとして釜でやけどしそうになった。 |
| 21 | 調理家電 | やけど | 男児 2 歳 | 勝手にタイマーを回してオーブントースターが付き、火事になりかけた。 |
| 22 | 調理家電 | やけど | 女児 2 歳 | 子供の視線の場所に高温の餅つき機が置いてあり、触ろうとしていた。自宅では使用しておらず、初めて見たもので興味があったのだと思う。 |
| 23 | 収納家具 | はさんだ | 男児 0 歳 | 勝手に棚を開け閉めして、自分の手をはさみそうになった。 |
| 24 | 収納家具 | はさんだ | 女児 3 歳 | 自宅の収納棚は引き戸式だが、祖父母宅の収納棚は縦に引くタイプだったので閉めるときに指をはさんでしまった。 |
| 25 | 収納家具 | ぶつけた | 男児 4 歳 | 子供の頭の高さに食器棚の角があるので、走ってきたときに当たりそうになる。 |
| 26 | 収納家具 | 危険なものに触った・遊んだ | 女児 1 歳 | 自宅では子供の手の届く扉にはガードをつけているが、祖父母宅にはついていないので、勝手に扉を開けてお皿を触り、落として割ってしまった。 |
| 27 | 収納家具 | 物が落ちてきた・倒れてきた | 女児 0 歳 | 棚下部に引っかけていたゴミ袋を引っ張り、棚が傾いて湯沸し器が子供の頭に落ちそうになった。 |
| 28 | 椅子 | 転落 | 女児 1 歳 | 自宅にはダイニングテーブルや高い椅子がなく、帰省先の実家にあった椅子に子供が座りたがり、自分で座っていたが、目を離したときに転がり落ちそうになっていた。 |
| 29 | テーブル・テーブルクロス | ぶつけた | 男児 2 歳 | 自宅は椅子に座って食事するテーブルであるが、実家は正座して食事する低いテーブルなので、物珍しかったようで、テーブルの下ををぐぐったりして頭をぶつけてしまった。 |
| 30 | テーブル・テーブルクロス | 危険なものに触った・遊んだ | 女児 1 歳 | キッチンに置いてあるダイニングテーブルのクロスを引っばって立ち上がろうとして、子供の上で作らたての料理が落ちてきそうになった。私が気づき、クロスを引っばり返して子供を抱き上げたのでけがはなかった。 |
| 31 | やかん | やけど | 男児 2 歳 | 沸き始めて湯気が出てきたのに興味を持ってやかんに触れた。 |
| 32 | 食品・飲料 | やけど | 女児 1 歳 | 普段熱い飲み物を子供の近くに置いたまま席を離れることはしないが、実家だと複数の大人がいたため、油断してしまって、子供が触ってしまった。 |
| 33 | 床・畳・敷物 | はさんだ | 男児 1 歳 | 床下収納を開けるための金具に指を引っかけてしまい、抜けなくなり、けがをしそうになり痛そうにしていた。 |
| 34 | 床・畳・敷物 | はさんだ | 男児 3 歳 | 床下収納の扉を勝手に開けて、突然手を離し勢いよく閉めた。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|--------|------|--------|---|
| 35 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 1 歳 | 独立したキッチンのため、キッチンに入ってしまうとリビングの様子が分からない。子供がリビング側から戸を閉めて手をはさんでしまった。自宅にも引き戸はあるが緩やかに閉まるので手をはさまないようにしている。 |
| 36 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 3 歳 | 食品庫の折り畳み式の扉を開閉しようとしたときに指をはさんだ。 |
| 37 | 段差 | 転落 | 女児 0 歳 | ハイハイの時期に台所にある勝手口の段差から落ちそうになった。 |
| 38 | 生活家電 | やけど | 男児 5 歳 | 水を加熱するタイプの加湿器の蒸気吹出し口に子供が手をのせてやけどした。 |
| 39 | たばこ・灰皿 | 誤飲 | 男児 1 歳 | 祖父がたばこを吸うのでダイニングのテーブルに置いてあったが、子供は椅子にのぼりテーブルの上の物に届くようになっていたので危うく口に入れそうになった。 |

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

(6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか

台所・ダイニングでの危害及びヒヤリ・ハット経験がある回答者 700 人に対して、どうしたら防ぐことができたと思うかを自由記述で質問した結果、523 人から 565 件の回答が得られた。このうち、危害及びヒヤリ・ハット経験の多い事例及び製品について、回答例の一部を記す。

**表 4.5. 台所・ダイニングで
「どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか」(事例別)**

| 事 例 | 回答例 |
|---------------|---|
| やけど | 子供が台所に入れないよう柵をつける。 製品の回りに柵をつける。 ロック機能を使用する。 (子供がいるときは) 製品を使用しない。 製品を手の届かないところに置くべきだった。 台所には入らせない。近づかせない。 |
| 切った・擦りむいた | 製品を手の届かないところに置けばよかった。 手の届くところに製品を収納しない。 収納扉にロックをかける。 |
| ぶつけた | 製品の角にクッション材をつける。 |
| 危険なものに触った・遊んだ | 製品を手の届かないところに置く。 |
| はさんだ | 扉が開かないようストッパーをつけるべきだった。 |
| 転落 | ベルトをつける。 |

※上記の他、「目を離さない・一人にしない」旨の回答は各事例に共通していた。

5. お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 5_1 はお風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である（上位 14 位以降の製品は「その他」にまとめた。）。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 460 人（15.3%）であった。製品別に見ると、「浴槽」が 119 人（25.9%）と最も多く、次いで、「洗い場」115 人（25.0%）、「ドア・窓類」が 34 人（7.4%）と続く。

“危害経験がある”との回答は、「洗い場」が 24 人と最も多く、次いで「ドア・窓類」12 人、「浴槽」10 人となっている。

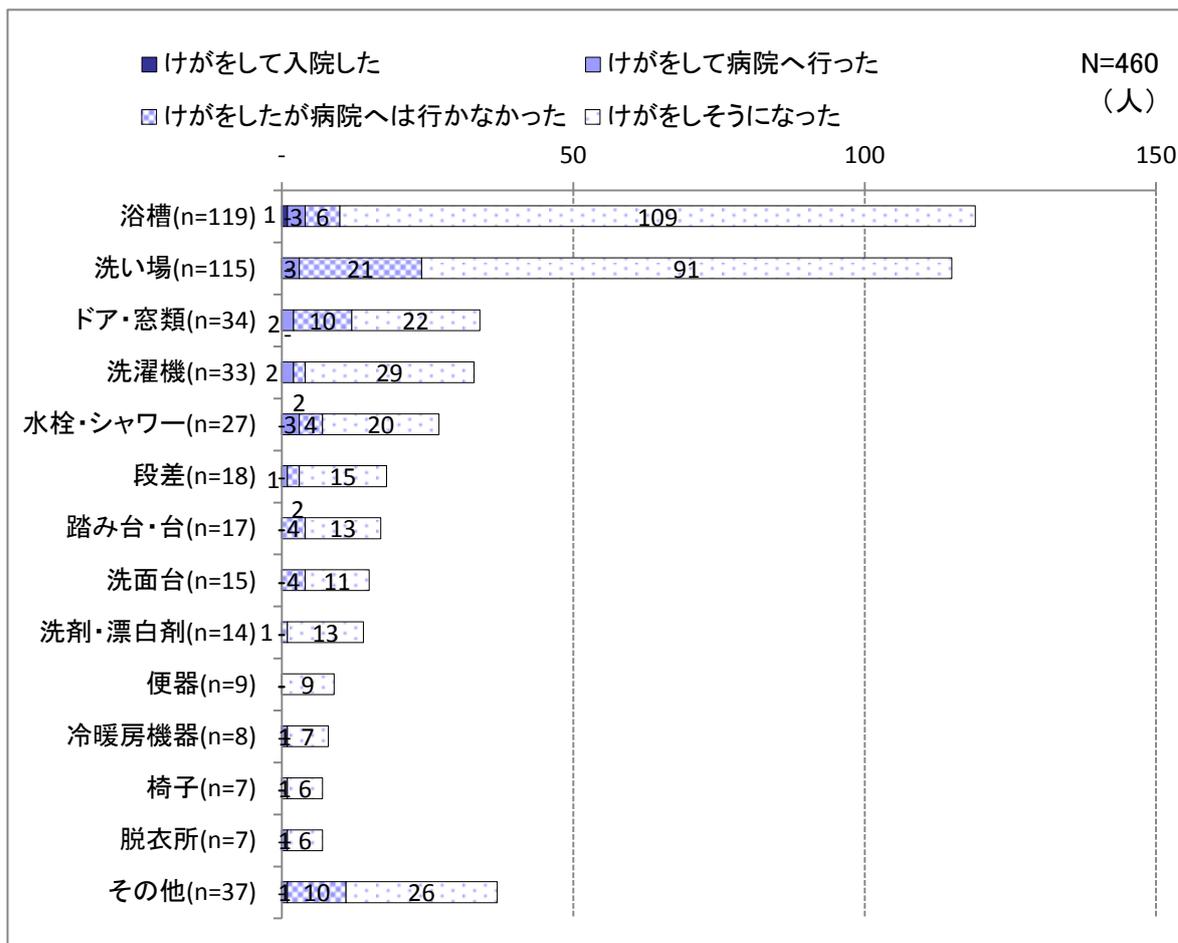


図 5_1. お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験の程度(製品別)

表 5_1_1 はお風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 460 人のうち、「転倒」の事例が 178 人（38.7%）と最も多く、次いで「溺水」が 62 人（13.5%）、「転落」55 人（12.0%）と続く。

「転倒」に関わる製品は、「洗い場」が 113 人で最も多い。「溺水」では、「浴槽」で 60 人となっており、「転落」では、「浴槽」で 24 件、「踏み台・台」で 13 件となっている。

**表 5_1_1. お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの
危害及びヒヤリ・ハット経験（事例×製品別）**

(人)

| | 全体 | 転倒 | 溺水 | 転落 | やけど | はさんだ | 危険な場所に入りこんだ | 誤飲 | 切った・擦りむいた | ぶつけた | その他 |
|---------|-----|-----|----|----|-----|------|-------------|----|-----------|------|-----|
| 全体 | 460 | 178 | 62 | 55 | 39 | 29 | 26 | 19 | 12 | 10 | 30 |
| 浴槽 | 119 | 23 | 60 | 24 | 9 | - | - | - | - | 1 | 2 |
| 洗い場 | 115 | 113 | - | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 |
| ドア・窓類 | 34 | 1 | - | 1 | - | 22 | 5 | - | 1 | 1 | 3 |
| 洗濯機 | 33 | - | - | - | - | 6 | 21 | - | - | 1 | 5 |
| 水栓・シャワー | 27 | 1 | - | - | 18 | - | - | - | 1 | 3 | 4 |
| 段差 | 18 | 14 | - | 4 | - | - | - | - | - | - | - |
| 踏み台・台 | 17 | 2 | - | 13 | - | - | - | - | - | - | 2 |
| 洗面台 | 15 | 4 | - | 1 | 2 | - | - | - | - | 4 | 4 |
| 洗剤・漂白剤 | 14 | - | - | - | - | - | - | 14 | - | - | - |
| 便器 | 9 | - | - | 6 | - | 1 | - | 1 | - | - | 1 |
| その他 | 59 | 20 | 2 | 6 | 10 | - | - | 4 | 9 | - | 8 |

※この表における「その他」は、図 5_1 の「冷暖房機器」から「その他」までのものである。

表 5_1_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 240 人、女児が 220 人であった。

「浴槽」の事例は、男児が 65 人、女児が 54 人であり、「洗い場」の事例は男児が 67 人、女児が 48 人である。

**表 5_1_2. お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの
危害及びヒヤリ・ハット経験（製品×子供の性・年齢別）**

(人)

| | | 全体 | 浴槽 | 洗い場 | ドア・窓類 | 洗濯機 | 水栓・シャワー | 段差 | 踏み台・台 | 洗面台 | 洗剤・漂白剤 | 便器 | その他 |
|----------|--------|-----|-----|-----|-------|-----|---------|----|-------|-----|--------|----|-----|
| 全体 | | 460 | 119 | 115 | 34 | 33 | 27 | 18 | 17 | 15 | 14 | 9 | 59 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 240 | 65 | 67 | 19 | 17 | 13 | 7 | 5 | 8 | 10 | 3 | 26 |
| | 男児 0 歳 | 13 | 6 | 1 | 1 | - | - | 2 | - | - | - | 0 | 3 |
| | 男児 1 歳 | 73 | 17 | 23 | 1 | 4 | 5 | 1 | 1 | 4 | 6 | 1 | 10 |
| | 男児 2 歳 | 70 | 19 | 15 | 10 | 6 | 4 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 6 |
| | 男児 3 歳 | 47 | 16 | 12 | 3 | 3 | 4 | 1 | 2 | 2 | 1 | - | 3 |
| | 男児 4 歳 | 23 | 5 | 10 | 3 | 3 | - | 1 | - | - | - | - | 1 |
| | 男児 5 歳 | 10 | 1 | 5 | - | 1 | - | - | - | - | 1 | - | 2 |
| | 男児 6 歳 | 4 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| | 女児合計 | 220 | 54 | 48 | 15 | 16 | 14 | 11 | 12 | 7 | 4 | 6 | 33 |
| | 女児 0 歳 | 19 | 5 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | - | - | 1 | - | 2 |
| | 女児 1 歳 | 52 | 14 | 16 | 3 | 2 | 3 | 3 | 1 | 2 | 1 | - | 7 |
| | 女児 2 歳 | 68 | 17 | 13 | 5 | 6 | 5 | 5 | 3 | 4 | 2 | 2 | 6 |
| | 女児 3 歳 | 38 | 9 | 4 | - | 5 | 4 | 1 | 2 | 1 | - | 3 | 9 |
| | 女児 4 歳 | 22 | 9 | 6 | 1 | - | - | 1 | 1 | - | - | 1 | 3 |
| 女児 5 歳 | 14 | - | 4 | 2 | - | 1 | - | 4 | - | - | - | 3 | |
| 女児 6 歳 | 7 | - | 2 | 1 | - | - | - | 1 | - | - | - | 3 | |

※この表における「その他」は、図 5_1 の「冷暖房機器」から「その他」までのものである。

(2) 「浴槽」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5_2 は、「浴槽」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「浴槽」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、お風呂・脱衣所・洗面所・トイレにおける経験者 460 人のうち、119 人であった。事例別に見ると、「溺水」が 60 人で約半数を占めている。

“危害経験がある”との回答は、「転倒」で 4 名、「溺水」、「転落」で 3 名となっている。

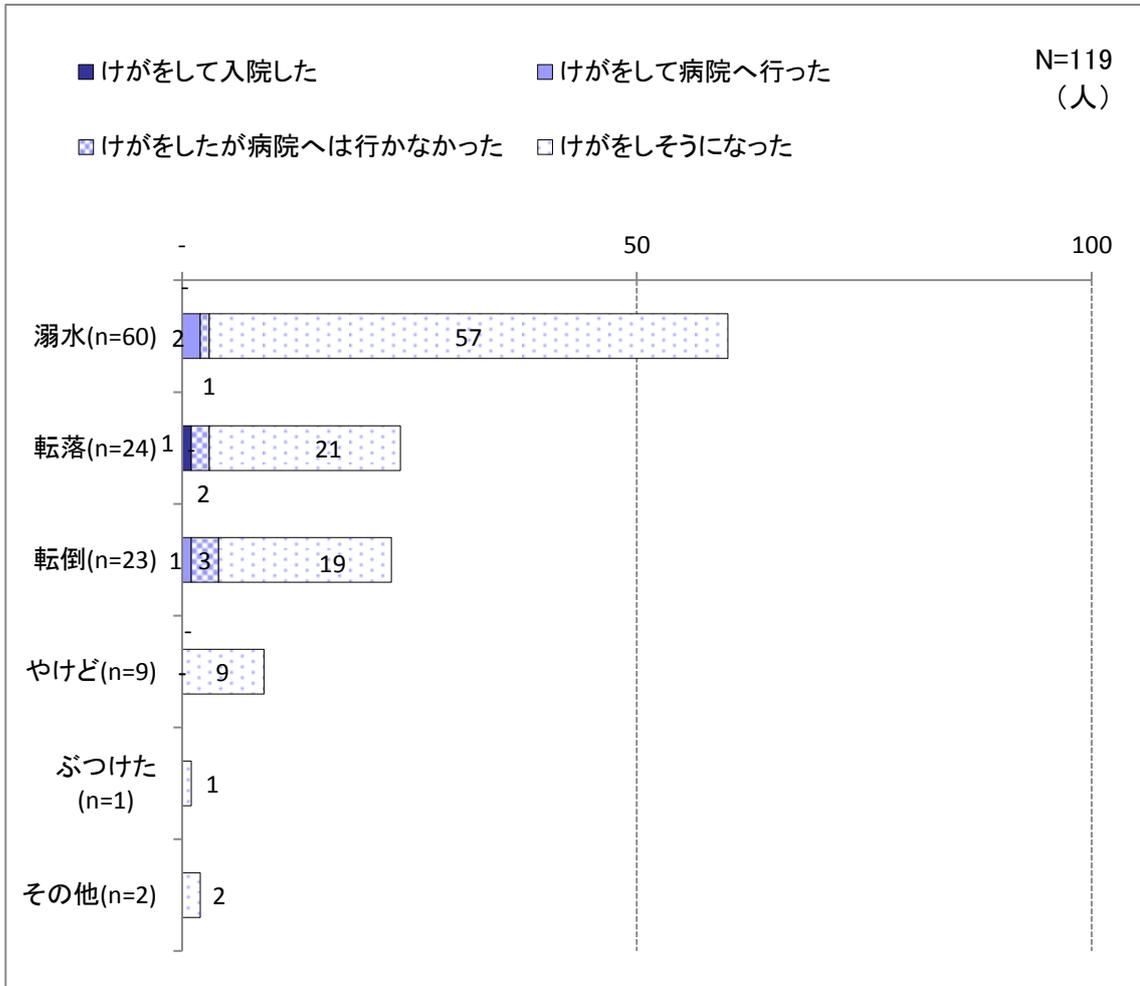


図 5_2. 「浴槽」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (事例別)

表 5_2 は、「浴槽」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児、女児ともに、2歳での事例が最も多く、男児では19人、女児では17人となっている。

それぞれの事例別に見ると、男児、女児ともに「溺水」が約半数を占めており、男児は32人、女児は28人となっている。

**表 5_2. 「浴槽」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | 溺 水 | 転 落 | 転 倒 | や け ど | ぶ つ け た | そ の 他 |
|--------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------|-------------|------------------|-------------|
| 全 体 | | 119 | 60 | 24 | 23 | 9 | 1 | 2 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 65 | 32 | 15 | 12 | 4 | 1 | 1 |
| | 男児 0 歳 | 6 | 4 | - | 2 | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 17 | 6 | 7 | 3 | - | - | 1 |
| | 男児 2 歳 | 19 | 10 | 4 | 2 | 2 | 1 | - |
| | 男児 3 歳 | 16 | 10 | - | 4 | 2 | - | - |
| | 男児 4 歳 | 5 | 1 | 3 | 1 | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 54 | 28 | 9 | 11 | 5 | - | 1 |
| | 女児 0 歳 | 5 | 2 | - | 2 | 1 | - | - |
| | 女児 1 歳 | 14 | 6 | 5 | 3 | - | - | - |
| | 女児 2 歳 | 17 | 8 | 3 | 3 | 2 | - | 1 |
| | 女児 3 歳 | 9 | 5 | - | 3 | 1 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 9 | 7 | 1 | - | 1 | - | - |
| 女児 5 歳 | - | - | - | - | - | - | - | |
| 女児 6 歳 | - | - | - | - | - | - | - | |

(3) 「洗い場」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5_3 は、「洗い場」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「洗い場」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、お風呂・脱衣所・洗面所・トイレにおける経験者 460 人のうち、115 人で、そのうち「転倒」が 113 人であった。

“危害経験がある”との回答は、「転倒」で 24 人となっている。

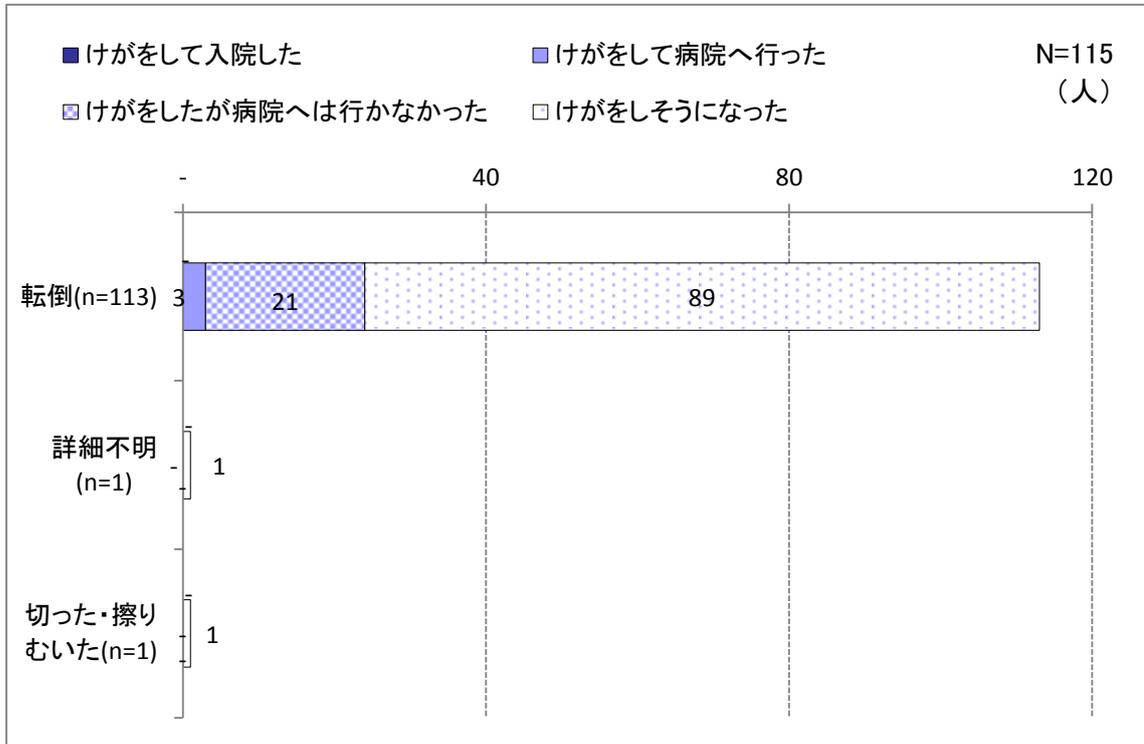


図 5_3. 「洗い場」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 5_3 は、「洗い場」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児、女児ともに1歳が最も多くなっており、男児は23人、女児は16人となっている。

**表 5_3. 「洗い場」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | 転 倒 | 切 っ た ・ 擦 り む い た | 詳 細 不 明 |
|--------------------------------------|--------|--------|--------|---|------------------|
| 全 体 | | 115 | 113 | 1 | 1 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 67 | 65 | 1 | 1 |
| | 男児 0 歳 | 1 | 1 | - | - |
| | 男児 1 歳 | 23 | 23 | - | - |
| | 男児 2 歳 | 15 | 15 | - | - |
| | 男児 3 歳 | 12 | 12 | - | - |
| | 男児 4 歳 | 10 | 8 | 1 | 1 |
| | 男児 5 歳 | 5 | 5 | - | - |
| | 男児 6 歳 | 1 | 1 | - | - |
| | 女児合計 | 48 | 48 | - | - |
| | 女児 0 歳 | 3 | 3 | - | - |
| | 女児 1 歳 | 16 | 16 | - | - |
| | 女児 2 歳 | 13 | 13 | - | - |
| | 女児 3 歳 | 4 | 4 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 6 | 6 | - | - |
| | 女児 5 歳 | 4 | 4 | - | - |
| 女児 6 歳 | 2 | 2 | - | - | |

(4) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 5_4 は、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、お風呂・脱衣所・洗面所・トイレにおける経験者 460 人のうち、34 人であった。事例別に見ると、「はさんだ」が 22 人と最も多く、次いで「危険な場所に入りこんだ」が 5 人となっている。

“危害経験がある” の回答は「はさんだ」が 10 人となっている。

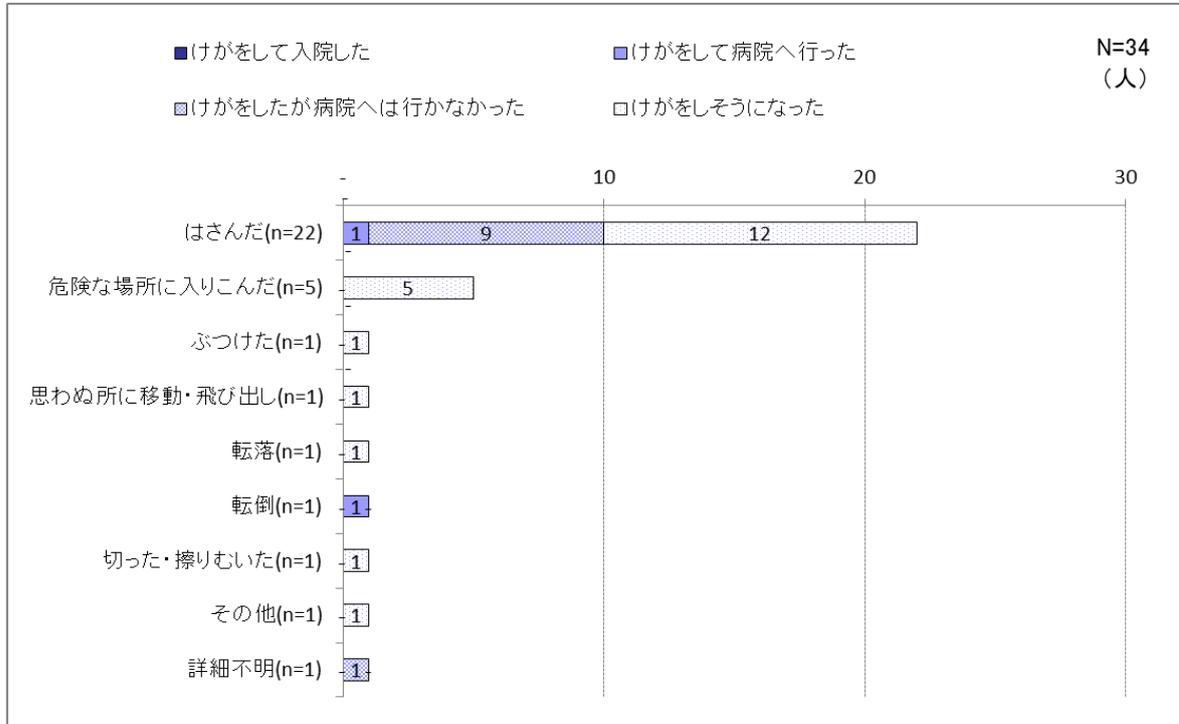


図 5_4. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 5_4 は、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児、女児ともに、2歳が最も多く、男児は10人、女児は5人となっている。

事例別に見ると、男児、女児ともに「はさんだ」が最も多くなっている。

**表 5_4. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全体 | はさんだ | 危険な場所に入りこんだ | ぶつけた | 思わぬ所に移動・飛び出し | 転落 | 転倒 | 切った・擦りむいた | その他 | 詳細不明 |
|----------|--------|----|------|-------------|------|--------------|----|----|-----------|-----|------|
| 全 体 | | 34 | 22 | 5 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 19 | 13 | 2 | 1 | - | - | 1 | 1 | - | 1 |
| | 男児 0 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 2 歳 | 10 | 9 | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 3 歳 | 3 | - | 1 | - | - | - | 1 | - | - | 1 |
| | 男児 4 歳 | 3 | 2 | - | - | - | - | - | 1 | - | - |
| | 男児 5 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 15 | 9 | 3 | - | 1 | 1 | - | - | 1 | - |
| | 女児 0 歳 | 3 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 2 歳 | 5 | 2 | - | - | 1 | 1 | - | - | 1 | - |
| | 女児 3 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 4 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 6 歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - |

(5) 詳細事例

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|---------|-----------------|--------|--|
| 1 | 浴槽 | 溺水 | 女兒 0 歳 | 一緒に入浴するのでなく、子供だけが入浴して大人がついている状況だったが、一瞬目を離れたときに頭まで水没していた。 |
| 2 | 浴槽 | 溺水 | 男児 1 歳 | 自宅では湯船に湯を少量しかためないが、普通の湯量をためてあり溺れかけた。 |
| 3 | 浴槽 | 溺水 | 男児 2 歳 | 実家の湯船が深く、肩まで浸かろうとしたときに、いつもと深さが違うことに驚き慌てたため湯を飲んでしまった。自宅では湯船には段差があり上の段に子供を座らせていた。 |
| 4 | 浴槽 | 溺水 | 女兒 2 歳 | 翌日、水をはった状態で浴室のドアが開いていた。間違っ て落ちたら溺れてしまうので怖かった。 |
| 5 | 浴槽 | 溺水 | 男児 3 歳 | 自宅と異なり浴槽が深いので、一人で浴槽に浸かれない。 |
| 6 | 浴槽 | 転落 | 男児 1 歳 | 入浴時、洗髪していて目を離れたときに、浴槽のふちをまたごうとした子供が誤って湯船に落ちてしまった。 |
| 7 | 浴槽 | 転落 | 女兒 2 歳 | 祖父母宅の浴槽は、自宅の浴槽より深いため、入るときに踏み外して湯の中に頭から落ちた。 |
| 8 | 浴槽 | 転倒 | 女兒 1 歳 | いつもより広い浴槽で興奮し、はしゃいで跳ねまわり、滑って 転びそうになった。 |
| 9 | 浴槽 | 転倒 | 女兒 3 歳 | 祖父母宅の浴槽が深いため、いつものようにまたいで入ろう としたら、足がつかなくて浴槽内で転びそうになった。 |
| 10 | 浴槽 | その他 | 女兒 2 歳 | 高齢者用に風呂を改装してあり低いので、子供が容易に風呂 内に入れてしまう。 |
| 11 | 洗い場 | 転倒 | 女兒 1 歳 | 自宅には浴室内に転倒防止マットがあるが、祖父母宅には なく、滑りやすいタイルで転倒して後頭部をぶつけた。 |
| 12 | 洗い場 | 転倒 | 男児 3 歳 | 自宅と違い風呂場の床が滑りやすい素材だったため滑って あごを切って救急病院へ行った。 |
| 13 | 洗い場 | 転倒 | 女兒 4 歳 | 自宅は滑らない床になっているので子供たちがふざけても 滑って転んだりしたことはないが、同じ感覚でふざけようとし たら思い切り転んで頭を打ちそうになった。 |
| 14 | 洗い場 | 転倒 | 男児 5 歳 | 普段とは異なるタイルの浴室だった。子供が風呂に入る直 前、タイルが冷たいだろうと湯を流して温めたところ、子供が 速足に風呂に入って来て滑って転倒した。 |
| 15 | 洗い場 | 切った・擦り むいた | 男児 4 歳 | 風呂のタイルが割れていて、足を切りそうになった。 |
| 16 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 2 歳 | くの字に開閉する扉で手をはさみそうになった |
| 17 | ドア・窓類 | 危険な場所 に入りこんだ | 男児 6 歳 | 内側からロックをかけられるが、外側からは開けられな古いド アで、子供が一人で先に入り間違っ て一瞬のうちにロックを かけてしまった。子供ではなかなか解錠できず焦った。 |
| 18 | 洗濯機 | 危険な場所 に入りこんだ | 女兒 2 歳 | ドラム式の洗濯機に入りそうになった。 |
| 19 | 洗濯機 | はさんだ | 男児 2 歳 | 扉を開けて機内を乾燥させていたら、子供が扉を開けたり閉 めたり遊び始め、手をはさんだ。 |
| 20 | 水栓・シャワー | やけど | 男児 2 歳 | 昔ながらの水と湯をひねって湯温を調節するシャワーで、熱 湯のような湯が出て大泣きした。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|---------|-----------|--------|---|
| 21 | 水栓・シャワー | やけど | 男児 3 歳 | 80度の湯が出る蛇口をひねって湯を出そうとしてしまった。 |
| 22 | 段差 | 転倒 | 男児 0 歳 | 自宅には脱衣場から風呂場に行くまでに段差がないが、実家には段差があり、踏み外して転んだ。 |
| 23 | 踏み台・台 | 転落 | 男児 2 歳 | 洗面所で手を洗おうとして台の上から落ちてしまった。 |
| 24 | 踏み台・台 | 転倒 | 男児 3 歳 | 自宅よりも高い洗面台で、踏み台を使用する必要があったが、踏み台の高さが適切でなく、体が不自然な姿勢になり転倒しそうになった。 |
| 25 | 踏み台・台 | 製品ごと転落・転倒 | 女児 4 歳 | 台の上に乗る、手を洗おうとしたときに台ごと転倒した。幸い何事もなかったがヒヤリとした。 |
| 26 | 洗面台 | 転倒 | 女児 1 歳 | 洗面台に手をかけて、そのまま後ろにひっくり返り頭をぶつけた。 |
| 27 | 洗剤・漂白剤 | 誤飲 | 男児 2 歳 | 洗濯用パック型液体洗剤が子供の手の届くところに置いてあり、危なく口に入れてしまうところだった。 |
| 28 | 洗剤・漂白剤 | 誤飲 | 女児 2 歳 | 自宅では手の届かない場所に保管している洗剤類が作業効率や保管場所の観点から、洗濯機の下に置いてあった。良い香りがするのでいたずらで遊んでしまい、少し誤飲した。 |
| 29 | 便器 | 転落 | 男児 2 歳 | 便座が大きく落ちそうになった。 |
| 30 | 便器 | 転落 | 女児 2 歳 | 自宅では、便座に子供用便座を置いているが、祖父母宅にはないので落ちそうになった。 |
| 31 | 冷暖房機器 | やけど | 男児 0 歳 | 脱衣所を温めるオイルヒーターを一瞬触ってしまった。幸い温度が上がる前で泣くこともなくやけどもなかった。 |

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

(6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか

お風呂・脱衣所・洗面所・トイレでの危害及びヒヤリ・ハット経験がある回答者 460 人に対して、どうしたら防ぐことができたと思うかを自由記述で質問した結果、335 人から 339 件の回答が得られた。このうち、危害及びヒヤリ・ハット経験の多い事例及び製品について、回答例の一部を記す。

表 5_5. お風呂・脱衣所・洗面所・トイレで
「どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか」(事例別)

| 事 例 | 回答例 |
|-------------|---|
| 転倒 | 滑り止めのマットを敷けばよかった。 洗い場を滑りにくい素材にする。 |
| 溺水 | 滑り止めのシートを敷けばよかった。 浴槽に台を置いて浅くすればよかった。 |
| 転落 | 子供用の製品を使用すればよかった。 |
| やけど | 熱い部分に直接触れないようにカバーなどをすればよかった。 |
| はさんだ | 使用しないときは鍵をかけておく。 緩衝材をつける。 |
| 危険な場所に入りこんだ | チャイルドロックをかける。 蓋をしめておく。 |
| 誤飲 | 手の届くところには製品を置かない。 |

※上記の他、「目を離さない・一人にしない」旨の回答は各事例に共通していた。

6. 寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) 寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 6_1 は寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品・場所別に経験者数をまとめた結果である（上位 11 位以降の製品は「その他」にまとめた。）。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は 3,000 人中 350 人（11.7%）であった。

製品別に見ると、「ベッド」が 210 人（60.0%）と最も多く、次いで、「布団・毛布類」41 人（11.7%）、「冷暖房機器」40 人（11.4%）となっている。

“危害経験がある”との回答は、「ベッド」が 46 人で最も多くなっている。

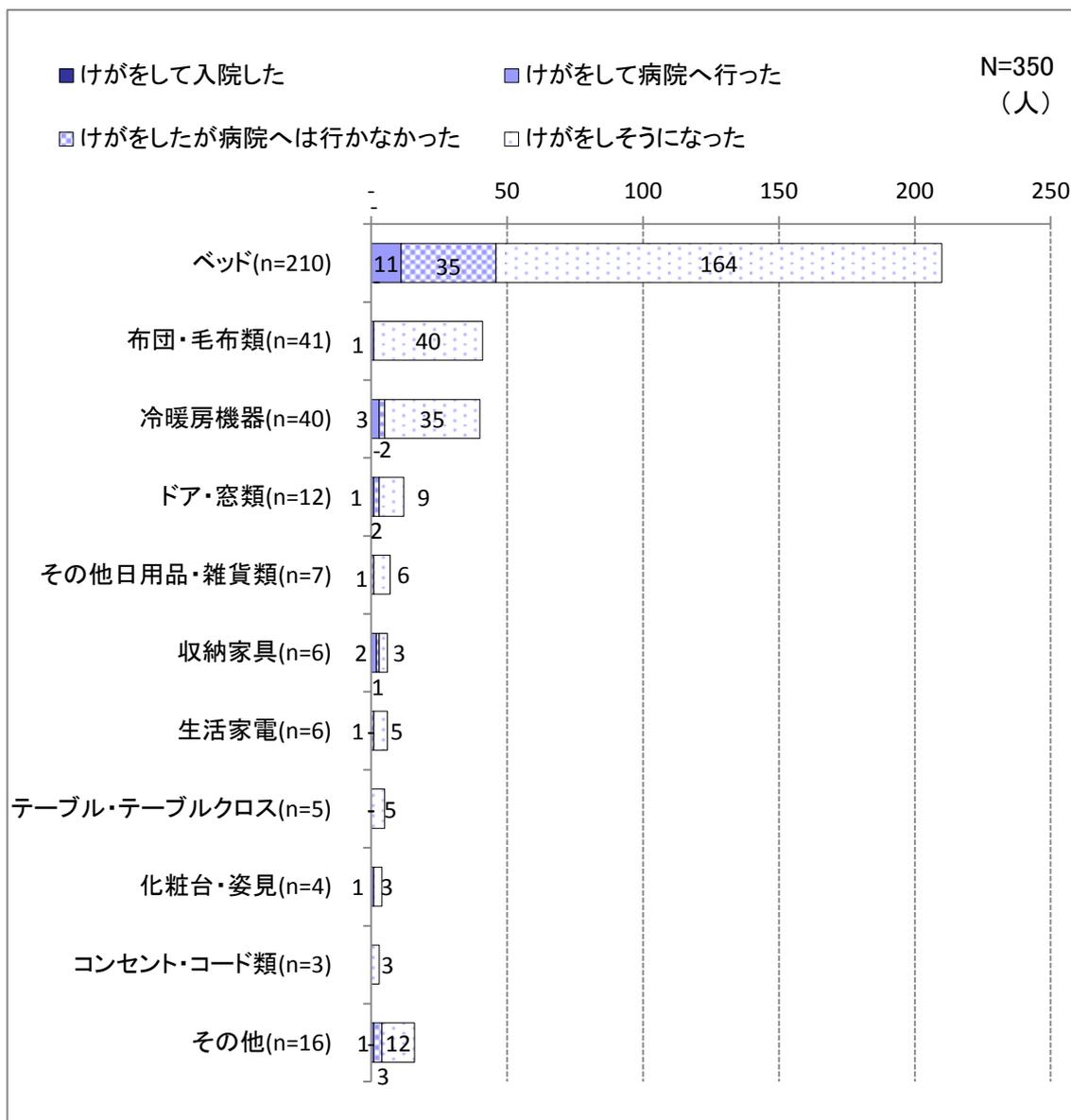


図 6_1. 寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

表 6_1_1 は寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 350 人のうち、「転落」の事例が 187 人 (53.4%) と最も多く、次いで「やけど」が 42 人 (12.0%)、「ぶつけた」が 21 人 (6.0%) と続く。

事例別に見ると、「転落」に関わる製品は、「ベッド」が 180 人で約 8 割を占めている。「やけど」では、「冷暖房機器」が 37 人と最も多くなっている。

**表 6_1_1. 寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×製品別)**

(人)

| | 全 体 | 転 落 | や け ど | ぶ つ け た | 布 団 に よ る 圧 迫 ・ 布 団 に 埋 も れ た | 転 倒 | は さ ん だ | 切 つ た ・ 擦 り む い た | 窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ | 物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た | 思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し | そ の 他 | 詳 細 不 明 |
|------------------|--------|--------|-------------|------------------|---|--------|------------------|---|--------------------------------------|---|--|-------------|------------------|
| 全 体 | 350 | 187 | 42 | 21 | 17 | 14 | 11 | 9 | 8 | 8 | 7 | 22 | 4 |
| ベッド | 210 | 180 | - | 11 | - | 6 | 4 | - | 1 | - | 4 | 4 | - |
| 布団・毛布類 | 41 | 3 | 2 | - | 17 | 7 | - | - | 6 | - | - | 5 | 1 |
| 冷暖房機器 | 40 | - | 37 | - | - | - | - | 2 | - | - | - | 1 | - |
| ドア・窓類 | 12 | 1 | - | 3 | - | - | 5 | 2 | - | - | 1 | - | - |
| その他日用 品・雑貨類 | 7 | - | 1 | - | - | - | - | 2 | - | 3 | - | 1 | - |
| 収納家具 | 6 | 1 | - | 3 | - | - | - | - | - | 2 | - | - | - |
| 生活家電 | 6 | - | 2 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | - | - | 1 | - |
| テーブル・テ ーブルクロス | 5 | 1 | - | 2 | - | - | - | - | - | 1 | - | 1 | - |
| 化粧台・姿見 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 | 1 | 1 | - |
| コンセント・コ ード類 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 3 | - |
| その他 | 16 | 1 | - | 1 | - | 1 | 1 | 3 | - | - | 1 | 5 | 3 |

表 6_1_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 195 人で、女児の 155 人に比べ多くなっている。

製品別に見ると、「ベッド」では男児が 113 人、女児が 97 人で、男児、女児ともに最も多くなっている。

年齢別に見ると、男児、女児ともに 0 歳～3 歳で多く、特に 1 歳で多くなっている。

**表 6_1_2. 寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験
(製品×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全体 | ベッド | 布団・毛布類 | 冷暖房機器 | ドア・窓類 | その他日用品・雑貨類 | 収納家具 | 生活家電 | テーブル・テーブルクロス | 化粧台・姿見 | コンセント・コード類 | その他 |
|----------|--------|-----|-----|--------|-------|-------|------------|------|------|--------------|--------|------------|-----|
| 全 体 | | 350 | 210 | 41 | 40 | 12 | 7 | 6 | 6 | 5 | 4 | 3 | 16 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 195 | 113 | 20 | 24 | 9 | 5 | 4 | 4 | 1 | 3 | 1 | 11 |
| | 男児 0 歳 | 38 | 26 | 6 | - | - | - | 1 | - | - | 1 | 1 | 3 |
| | 男児 1 歳 | 67 | 36 | 4 | 13 | 1 | 3 | 1 | 2 | 1 | 1 | - | 5 |
| | 男児 2 歳 | 41 | 22 | 5 | 6 | 3 | - | - | 2 | - | 1 | - | 2 |
| | 男児 3 歳 | 27 | 18 | 2 | 2 | 3 | 1 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 男児 4 歳 | 10 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | 1 |
| | 男児 5 歳 | 6 | 4 | - | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 6 | 3 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 155 | 97 | 21 | 16 | 3 | 2 | 2 | 2 | 4 | 1 | 2 | 5 |
| | 女児 0 歳 | 34 | 20 | 6 | 2 | 2 | - | - | 1 | - | 1 | 1 | 1 |
| | 女児 1 歳 | 47 | 29 | 6 | 4 | - | 2 | 1 | - | 3 | - | - | 2 |
| | 女児 2 歳 | 35 | 27 | 4 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 18 | 12 | 3 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 4 歳 | 13 | 7 | 1 | 4 | - | - | - | - | 1 | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 4 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 |
| 女児 6 歳 | 4 | 1 | - | - | - | - | 1 | 1 | - | - | - | 1 | |

(2) 「ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 6_2 は、「ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、寝室・ベッド・寝具等における経験者 350 人のうち、210 人であった。事例別に見ると、「転落」が 180 人と最も多く、次いで「ぶつけた」11 人、「転倒」6 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「転落」で 38 人、「ぶつけた」で 5 人、「転倒」で 3 人となっている。

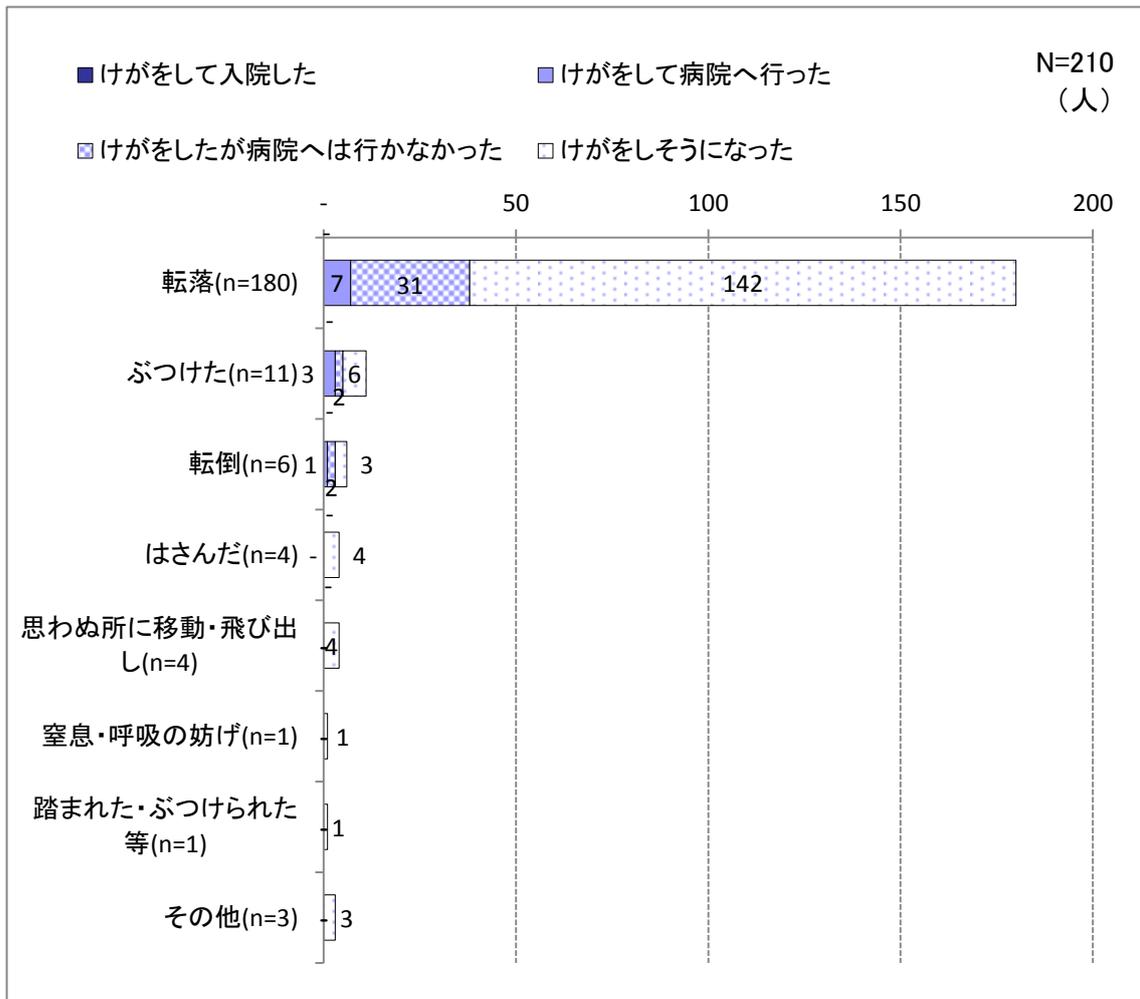


図 6_2. 「ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 6_2 は、「ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児、女児ともに1歳が最も多くなっており、男児は36人、女児は29人となっている。

事例別に見ると、男児、女児ともに「転落」が最も多く、男児は97人、女児は83人となっている。

表 6_2. 「ベッド」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)

(人)

| | | 全 体 | 転 落 | ぶ つ け た | 転 倒 | は さ ん だ | 思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し | 窒 息 ・ 呼 吸 の 妨 げ | 踏 ま れ た ・ ぶ つ け ら れ た 等 | そ の 他 |
|--------------------------------------|------|--------|--------|------------------|--------|------------------|--|--------------------------------------|--|-------------|
| 全 体 | | 210 | 180 | 11 | 6 | 4 | 4 | 1 | 1 | 3 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 113 | 97 | 7 | 3 | - | 2 | 1 | 1 | 2 |
| | 男児0歳 | 26 | 24 | 1 | - | - | - | 1 | - | - |
| | 男児1歳 | 36 | 33 | - | 2 | - | 1 | - | - | - |
| | 男児2歳 | 22 | 18 | 2 | - | - | - | - | - | 2 |
| | 男児3歳 | 18 | 14 | 2 | - | - | 1 | - | 1 | - |
| | 男児4歳 | 4 | 3 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児5歳 | 4 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 男児6歳 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 97 | 83 | 4 | 3 | 4 | 2 | - | - | 1 |
| | 女児0歳 | 20 | 18 | - | - | - | 1 | - | - | 1 |
| | 女児1歳 | 29 | 24 | 1 | 1 | 3 | - | - | - | - |
| | 女児2歳 | 27 | 24 | - | 2 | - | 1 | - | - | - |
| | 女児3歳 | 12 | 11 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 女児4歳 | 7 | 4 | 2 | - | 1 | - | - | - | - |
| 女児5歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | |
| 女児6歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | |

(3) 「布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 6_3 は、「布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、寝室・ベッド・寝具等における経験者 350 人のうち、41 人であった。事例別に見ると、「布団による圧迫・布団に埋もれた」が 17 人、「転倒」7人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「熱がこもった・大汗をかいた」で1人となっている。

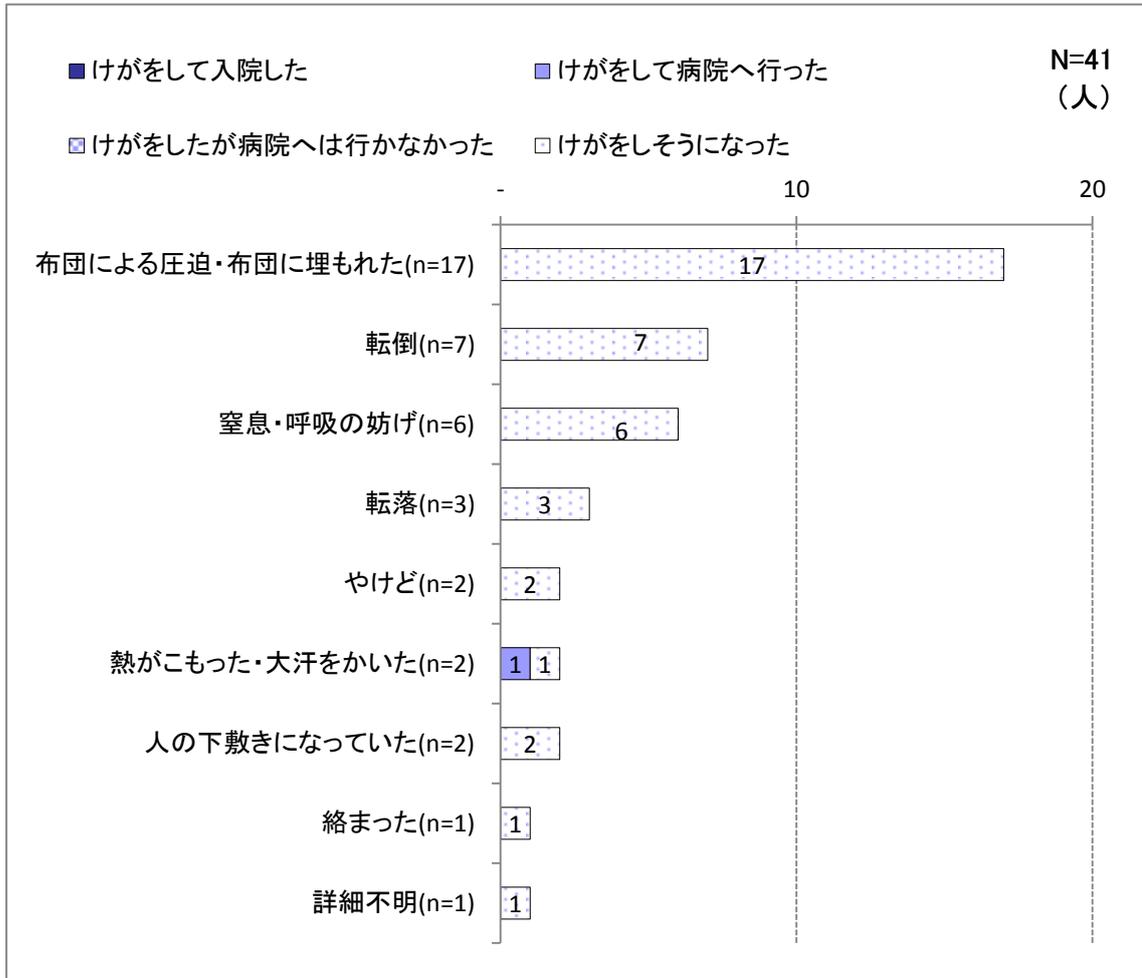


図 6_3. 「布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 6_3 は、「布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児が 20 人、女児が 21 人となっている。

事例別に見ると、男児、女児ともに「布団による圧迫・布団に埋もれた」が最も多く、男児は 10 人、女児は 7 人となっている。

表 6_3. 「布団・毛布類」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)

(人)

| | | 全 体 | 布団による圧迫・ 布団に埋もれた | 転 倒 | 窒息・呼吸の妨げ | 転 落 | や けど | 熱がこもった・大汗をかいた | 人の下敷きになっていた | 絡 ま つ た | 詳 細 不 明 |
|----------|--------|--------|---------------------|--------|----------|--------|---------|---------------|-------------|------------------|------------------|
| 全 体 | | 41 | 17 | 7 | 6 | 3 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 20 | 10 | 4 | 2 | 1 | - | 1 | 1 | - | 1 |
| | 男児 0 歳 | 6 | 1 | 1 | 2 | 1 | - | 1 | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 4 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 2 歳 | 5 | 3 | 1 | - | - | - | - | 1 | - | - |
| | 男児 3 歳 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| | 男児 4 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 21 | 7 | 3 | 4 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | - |
| | 女児 0 歳 | 6 | 3 | - | 2 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 6 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 女児 2 歳 | 4 | 1 | - | - | - | 2 | - | - | 1 | - |
| | 女児 3 歳 | 3 | - | - | 1 | - | - | 1 | 1 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - |
| 女児 5 歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - | - | |
| 女児 6 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |

(4) 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 6_4 は、「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、寝室・ベッド・寝具等における経験者 350 人のうち、40 人であった。そのうち、「やけど」の事例が 37 人で、約 9 割を占めている。

“危害経験がある”との回答は、「やけど」で 5 人となっている。

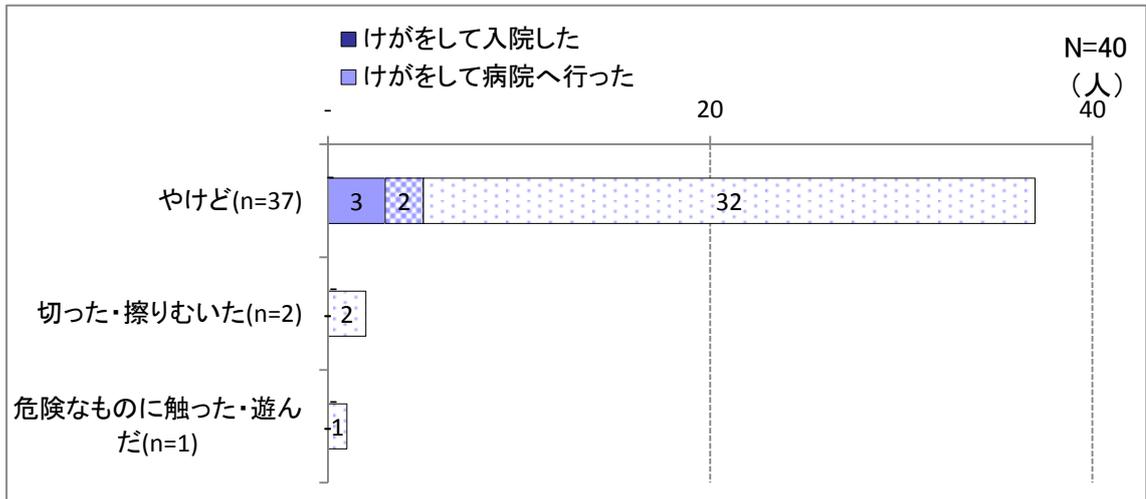


図 6_4. 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハットの程度（事例別）

表 6_4 は、「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。年齢別に見ると、男児は1歳が多くなっており、女児は0歳から4歳までの各年齢で経験がみられる。

**表 6.4. 「冷暖房機器」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | や けど | 切 つ た ・ 擦 り む い た | 危 険 な も の に 触 つ た ・ 遊 ん だ |
|--------------------------------------|--------|--------|---------|---|---|
| 全 体 | | 40 | 37 | 2 | 1 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 24 | 23 | - | 1 |
| | 男児 0 歳 | - | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 13 | 12 | - | 1 |
| | 男児 2 歳 | 6 | 6 | - | - |
| | 男児 3 歳 | 2 | 2 | - | - |
| | 男児 4 歳 | 1 | 1 | - | - |
| | 男児 5 歳 | 1 | 1 | - | - |
| | 男児 6 歳 | 1 | 1 | - | - |
| | 女児合計 | 16 | 14 | 2 | - |
| | 女児 0 歳 | 2 | 1 | 1 | - |
| | 女児 1 歳 | 4 | 3 | 1 | - |
| | 女児 2 歳 | 4 | 4 | - | - |
| | 女児 3 歳 | 2 | 2 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 4 | 4 | - | - |
| 女児 5 歳 | - | - | - | - | |
| 女児 6 歳 | - | - | - | - | |

(5) 詳細事例

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|------------|-----------------|--------|--|
| 1 | ベッド | 転落 | 男児 1 歳 | 普段、布団で寝ているのでベッドから落ちた。 |
| 2 | ベッド | 転落 | 男児 1 歳 | シングルベッドを 2 つつなげて寝ていた隙間に落ちた。 |
| 3 | ベッド | 転落 | 女児 1 歳 | ベッドガードがなかったので、寝ているときに落ちそうになっていた。 |
| 4 | ベッド | 転落 | 男児 2 歳 | ベッドで跳ねて転んで落ち、ベッドの端に頭をぶつけた。 |
| 5 | ベッド | 転落 | 女児 4 歳 | 祖父母が使用しているベッドで昼寝しているとき、寝返りを打ってベッドから落ちて頭を強打した。自宅には、ベッドガードがあり、ベッドの下にマットを敷いているので、万一ベッドから落ちても大丈夫だが、祖父母のベッドには何も無かったので危なかった。 |
| 6 | ベッド | 思わぬ所に移動・飛び出し | 男児 1 歳 | 昔、私と妹が使っていた二段ベッドに興味をもち、気がつくとはしごをのぼっていた。落ちていたらけがをしていたかもしれない。 |
| 7 | 布団・毛布類 | 布団による圧迫・布団に埋もれた | 男児 0 歳 | 布団がふかふかして体が沈んでしまい、寝返りがうまくできず泣いてしまった。 |
| 8 | 布団・毛布類 | 布団による圧迫・布団に埋もれた | 女児 0 歳 | 重い毛布をかけていて、寝返りを打てず泣き出した。 |
| 9 | 布団・毛布類 | 窒息・呼吸の妨げ | 男児 0 歳 | 布団が重たく呼吸しているか心配になった。 |
| 10 | 布団・毛布類 | やけど | 女児 2 歳 | 普段は使用していないが、雪国で寒いため電気毛布を使用したとき、高温設定のままにしてしまい、低温やけどをしそうになった。 |
| 11 | 布団・毛布類 | 人の下敷きになっていた | 男児 2 歳 | 寒いので一緒に温まろうと布団に入っていたら子供をつぶしかけていた。 |
| 12 | 冷暖房機器 | やけど | 女児 4 歳 | ストーブが布団の目の前にあったので触りそうになった。 |
| 13 | 冷暖房機器 | やけど | 男児 6 歳 | 高さのある電気ストーブを使っていたときに、コードに足を引っかけて倒れてしまい、熱い部分に顔をぶつけた。 |
| 14 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 3 歳 | いとこ同士で走り回っていたときに誰かがドアを勢い良く閉めて、開き戸の蝶番に軽く手をはさんでしまった。 |
| 15 | その他日用品・雑貨類 | 製品ごと転落・転倒 | 女児 1 歳 | 子供がポールハンガーを倒れてしまい、直撃しそうになった。 |
| 16 | 収納家具 | 物が落ちてきた・倒れてきた | 男児 0 歳 | ベッドの横に収納たんすがあり、夜中に子供が起きたときにつかまり立ちをして、たんすの上にある荷物が倒れ落ちてきそうだった。 |
| 17 | 化粧台・姿見 | 物が落ちてきた・倒れてきた | 女児 0 歳 | 寝室に立てかけてあった全身鏡へハイハイして行き、つかまり立ちした際に、不安定な鏡に手をかけて鏡が子供の方へ倒れてきた。倒れた場所がずれて幸いけがはなかった。 |
| 18 | コンセント・コード類 | 絡まった | 女児 0 歳 | 寝室の灯りのコードが長く、子供の触れる位置にあった。寝ている状態を確認しに行ったところ、首にコードが巻きついていて、動いていたら首がしまっていたかと思うとぞっとした。 |
| 19 | ベッドガード | 思わぬ所に移動・飛び出し | 男児 1 歳 | ベッドガードの柵を乗り越えようとして、柵の網に歯を引っかけて歯が抜けた。 |

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

(6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか

寝室・ベッド・寝具等での危害及びヒヤリ・ハット経験がある回答者 350 人に対して、どうしたら防ぐことができたと思うかを自由記述で質問した結果、242 人から 251 件の回答が得られた。このうち、危害及びヒヤリ・ハット経験の多い事例及び製品について、回答例の一部を記す。

**表 6.5. 寝室・ベッド・寝具等で
「どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか」(事例別)**

| 事 例 | 回答例 |
|-----------------|--|
| 転落 | 布団に寝かせる。 ベッドガードを使用する。 ベッドの下にマットなどを敷いておく。 ベビーベッドを使用する。 |
| やけど | 製品に囲いをするべきだった。 別の製品を使用する。 |
| ぶつけた | 角にクッション材をつける。 |
| 布団による圧迫・布団に埋もれた | 子供用の製品を使用する。 軽いものを使用する。 |

※上記の他、「目を離さない・一人にしない」旨の回答は各事例に共通していた。

7. 玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) 玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 7_1 は玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である（上位 11 位以降の製品は「その他」にまとめた。）。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は、3,000 人中 811 人（27.0%）であった。

製品別に見ると、「階段」が 370 人（45.6%）と最も多く、次いで、「玄関」が 195 人（24.0%）、「ドア・窓類」が 169 人（20.8%）となっている。

“危害経験がある”との回答は、「階段」が 83 人と最も多くなり、次いで「ドア・窓類」が 71 人となっている。

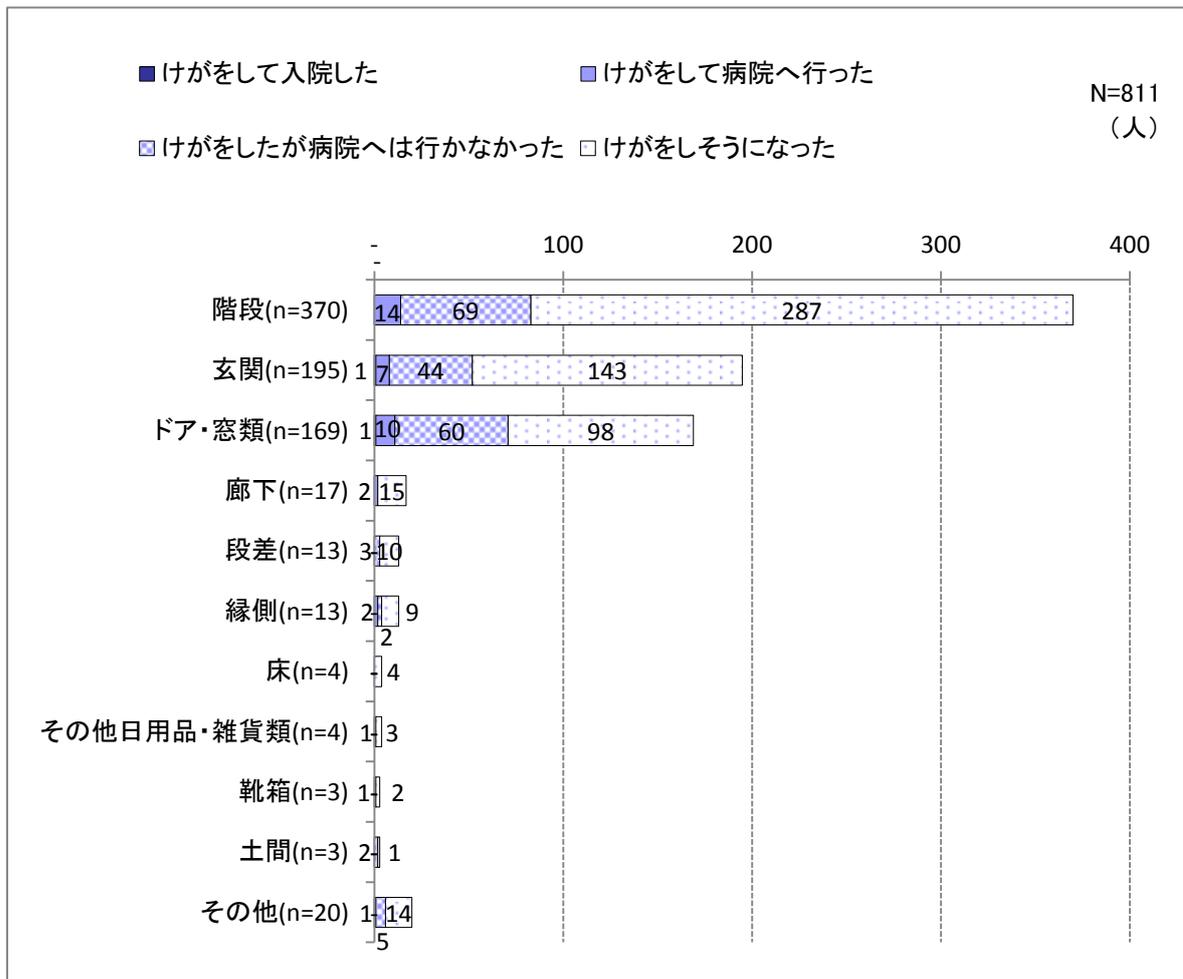


図 7_1. 玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

表 7_1_1 は玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 811 人のうち、「転落」の事例が 422 人 (52.0%) と最も多く、次いで「はさんだ」が 156 人 (19.2%)、「転倒」が 134 人 (16.5%) と続く。

事例別に見ると、「転落」に関わる製品では、「階段」が 275 人と最も多く、「はさんだ」では、「ドア・窓類」が 151 人で最も多くなっている。「転倒」では、「玄関」が 64 人、「階段」が 46 人となっている。

**表 7_1_1. 玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×製品別)**

(人)

| | 全 体 | 転 落 | は さん だ | 転 倒 | 思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し | ぶ つ け た | 危 険 な も の に 触 つ た ・ 遊 ん だ | 誤 飲 | 物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た | 切 つ た ・ 擦 り む い た | そ の 他 |
|------------|--------|--------|--------------|--------|--|------------------|---|--------|---|---|-------------|
| 全 体 | 811 | 422 | 156 | 134 | 46 | 20 | 6 | 4 | 3 | 3 | 17 |
| 階段 | 370 | 275 | 1 | 46 | 39 | 2 | 1 | - | - | 1 | 5 |
| 玄関 | 195 | 117 | - | 64 | 7 | 2 | - | - | 1 | - | 4 |
| ドア・窓類 | 169 | 3 | 151 | 1 | - | 10 | - | - | 1 | - | 3 |
| 廊下 | 17 | 3 | - | 10 | - | 2 | - | - | 1 | 1 | - |
| 段差 | 13 | 8 | - | 5 | - | - | - | - | - | - | - |
| 縁側 | 13 | 10 | - | 2 | - | - | - | - | - | 1 | - |
| 床 | 4 | - | - | 4 | - | - | - | - | - | - | - |
| その他日用品・雑貨類 | 4 | - | - | 1 | - | 1 | - | 2 | - | - | - |
| 靴箱 | 3 | - | 2 | - | - | 1 | - | - | - | - | - |
| 土間 | 3 | 3 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| その他 | 20 | 3 | 2 | 1 | - | 2 | 5 | 2 | - | - | 5 |

表 7_1_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 445 人で、女児の 366 人と比べて多くなっている。製品別に見ると、「階段」は男児が 199 人、女児が 171 人となっており最も多い。年齢別に見ると、男児、女児ともに 1 歳～3 歳が特に多くなっている。

表 7_1_2. 玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験
(製品×子供の性・年齢別)

(人)

| | 全体 | 階段 | 玄関 | ドア・窓類 | 廊下 | 段差 | 縁側 | 床 | その他日用品・雑貨類 | 靴箱 | 土間 | その他 | |
|----------|--------|-----|-----|-------|----|----|----|---|------------|----|----|-----|---|
| 全体 | 811 | 370 | 195 | 169 | 17 | 13 | 13 | 4 | 4 | 3 | 3 | 20 | |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 445 | 199 | 106 | 95 | 11 | 6 | 7 | 2 | 3 | 2 | 13 | |
| | 男児 0 歳 | 25 | 6 | 15 | 1 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | |
| | 男児 1 歳 | 130 | 59 | 42 | 24 | 2 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | |
| | 男児 2 歳 | 136 | 62 | 26 | 33 | 4 | 1 | 3 | - | - | - | 7 | |
| | 男児 3 歳 | 95 | 47 | 16 | 21 | 1 | 2 | 4 | 1 | 1 | 1 | 1 | |
| | 男児 4 歳 | 39 | 15 | 6 | 12 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | 3 | |
| | 男児 5 歳 | 13 | 8 | 1 | 2 | 1 | - | - | - | - | 1 | - | |
| | 男児 6 歳 | 7 | 2 | - | 2 | - | - | - | - | 1 | - | - | 2 |
| | 女児合計 | 366 | 171 | 89 | 74 | 6 | 7 | 6 | 2 | 1 | 1 | 2 | 7 |
| | 女児 0 歳 | 22 | 10 | 7 | 4 | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 117 | 56 | 38 | 15 | - | 3 | 2 | 1 | 1 | - | - | 1 |
| | 女児 2 歳 | 106 | 48 | 20 | 28 | 2 | 3 | 2 | - | - | - | 1 | 2 |
| | 女児 3 歳 | 71 | 34 | 13 | 18 | 2 | - | 1 | - | - | 1 | - | 2 |
| | 女児 4 歳 | 23 | 11 | 5 | 5 | 2 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 20 | 7 | 4 | 4 | - | - | 1 | 1 | - | - | 1 | 2 |
| 女児 6 歳 | 7 | 5 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | |

(2) 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 7_2 は、「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、玄関・階段・廊下における経験者 811 人のうち、370 人であった。事例別に見ると、「転落」が 275 人と最も多く、次いで「転倒」が 46 人、「思わぬ所に移動・飛出し」が 39 人と続く。

“危害経験がある”との回答は、「転落」で 68 人、「転倒」で 13 人となっている。

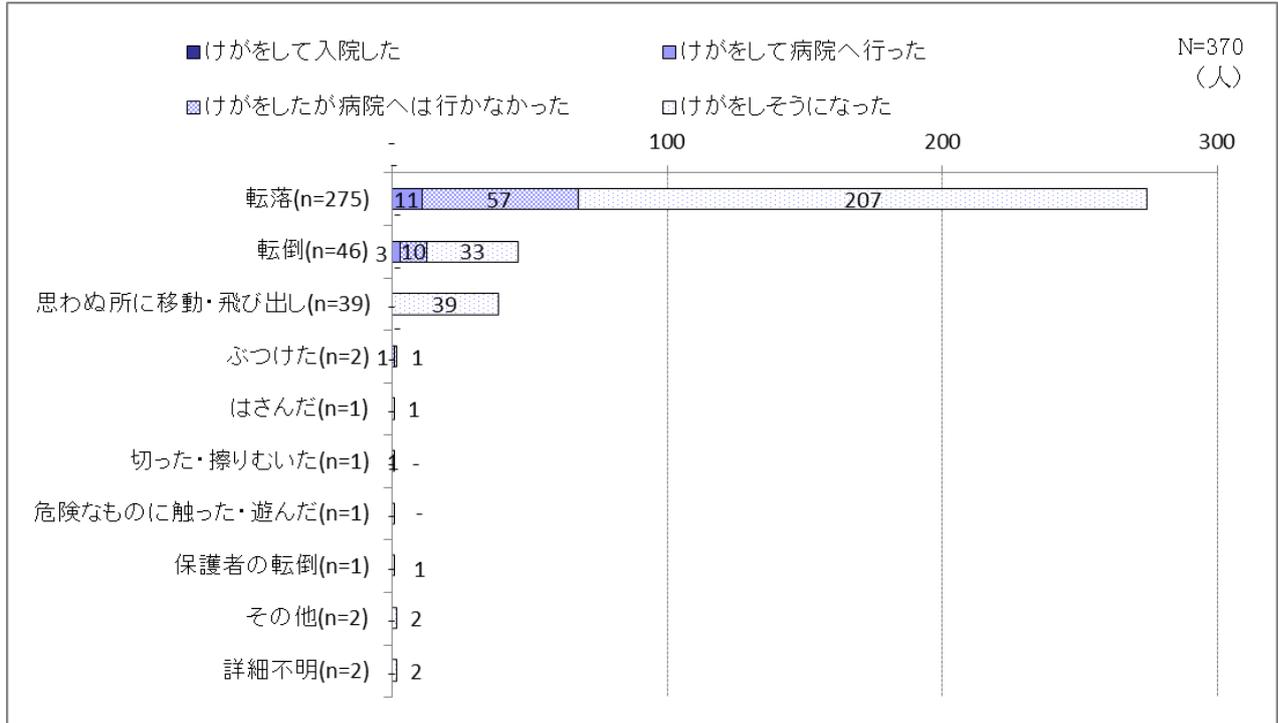


図 7_2. 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 7_2 は、「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児、女児ともに1歳～3歳で多く見られる。

事例別に見ると、男児、女児ともに「転落」が最も多く、男児は150人、女児は125人となっている。

**表 7_2. 「階段」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全体 | 転落 | 転倒 | 思わぬ所に移動・飛び出し | ぶつけた | はさんだ | 切った・擦りむいた | 危険なものに触った・遊んだ | 保護者の転倒 | その他 | 詳細不明 |
|----------|--------|-----|-----|----|--------------|------|------|-----------|---------------|--------|-----|------|
| 全 体 | | 370 | 275 | 46 | 39 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 |
| 子供の性別・年齢 | 男児合計 | 199 | 150 | 27 | 18 | 1 | - | - | 1 | - | 1 | 1 |
| | 男児 0 歳 | 6 | 3 | - | 2 | - | - | - | 1 | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 59 | 47 | 3 | 9 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 2 歳 | 62 | 49 | 6 | 5 | 1 | - | - | - | - | 1 | - |
| | 男児 3 歳 | 47 | 36 | 9 | 2 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 4 歳 | 15 | 11 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | 8 | 3 | 4 | - | - | - | - | - | - | - | 1 |
| | 男児 6 歳 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 171 | 125 | 19 | 21 | 1 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | 1 |
| | 女児 0 歳 | 10 | 5 | - | 4 | - | - | - | - | 1 | - | - |
| | 女児 1 歳 | 56 | 35 | 6 | 14 | - | - | - | - | - | - | 1 |
| | 女児 2 歳 | 48 | 39 | 6 | 2 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 34 | 29 | 3 | - | - | 1 | 1 | - | - | - | - |
| | 女児 4 歳 | 11 | 9 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 女児 5 歳 | 7 | 5 | - | 1 | - | - | - | - | - | 1 | - | |
| 女児 6 歳 | 5 | 3 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | - | |

(3) 「玄関」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 7_3 は、「玄関」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「玄関」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、玄関・階段・廊下における経験者 811 人のうち、195 人であった。

事例別に見ると、「転落」が 117 人となっている。

“危害経験がある”との回答は、「転倒」が最も多く 25 人で、続いて「転落」が 23 人となっている。

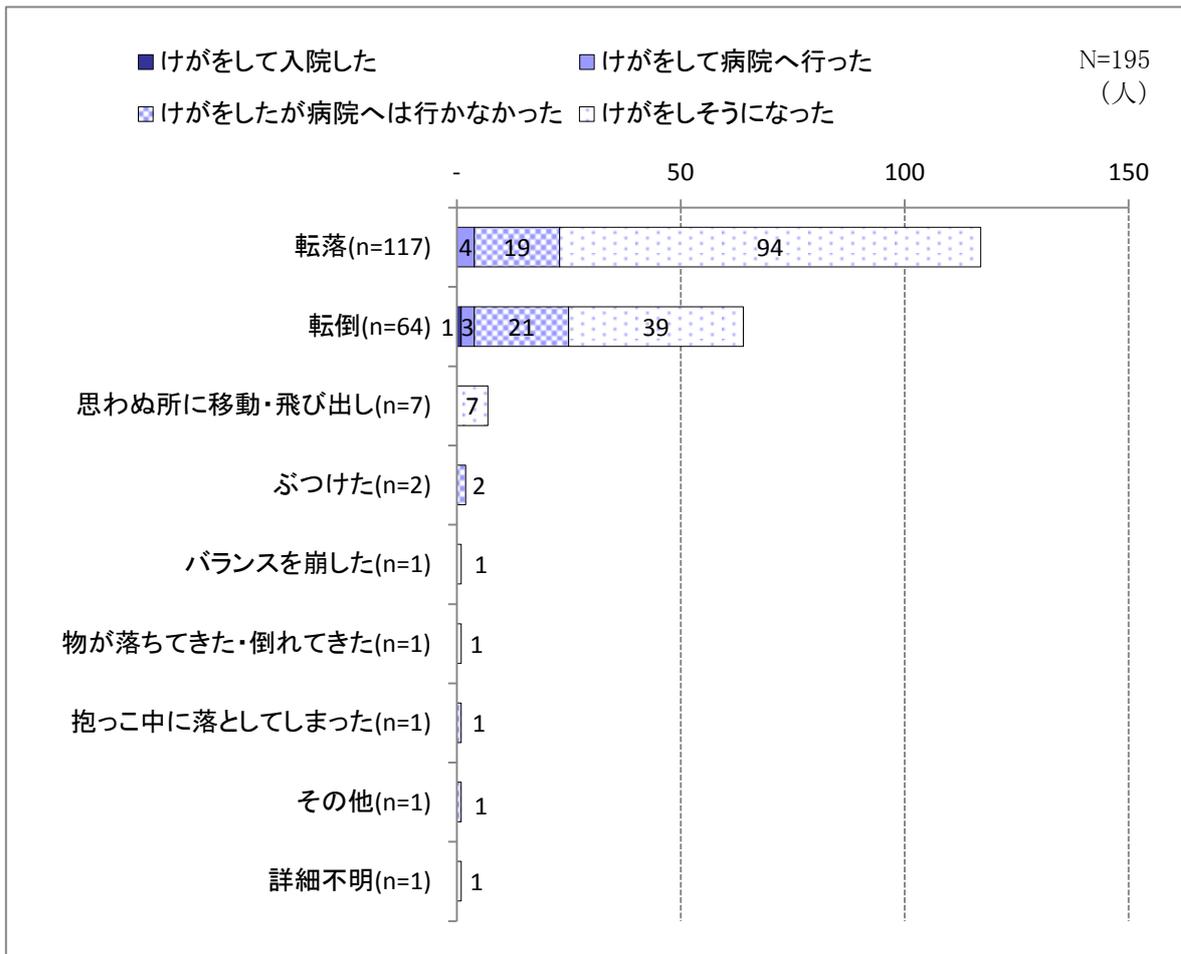


図 7_3. 「玄関」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度 (事例別)

表 7_3 は、「玄関」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児が 106 人で、女児の 89 人より多くなっている。

事例別に見ると、「転落」では、男児と女児に大きな差は見られず、男児 59 人、女児 58 人となっている。「転倒」では、男児 40 人、女児 24 人で、男児 1 歳、2 歳で多く見られる。

**表 7_3. 「玄関」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | 全 体 | 転 落 | 転 倒 | 思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し | ぶ つ け た | バ ラ ン ス を 崩 し た | 物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た | 抱 っ こ 中 に 落 と し て し ま っ た | そ の 他 | 詳 細 不 明 |
|--------------------------------------|--------|--------|--------|--|------------------|--------------------------------------|---|---|-------------|------------------|
| 全 体 | 195 | 117 | 64 | 7 | 2 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 106 | 59 | 40 | 4 | 1 | - | - | 1 | 1 |
| | 男児 0 歳 | 15 | 12 | 1 | 1 | - | - | - | 1 | - |
| | 男児 1 歳 | 42 | 29 | 13 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 2 歳 | 26 | 12 | 13 | - | 1 | - | - | - | - |
| | 男児 3 歳 | 16 | 5 | 8 | 2 | - | - | - | - | 1 |
| | 男児 4 歳 | 6 | 1 | 4 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 89 | 58 | 24 | 3 | 1 | 1 | 1 | - | - |
| | 女児 0 歳 | 7 | 5 | - | 1 | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 38 | 29 | 8 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 女児 2 歳 | 20 | 14 | 5 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 13 | 6 | 5 | - | - | 1 | 1 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 5 | - | 4 | - | 1 | - | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 4 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - |
| 女児 6 歳 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | - | |

(4) 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 7_4 は、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、玄関・階段・廊下における経験者 811 人のうち、169 人であった。

事例別に見ると、「はさんだ」が最も多く 151 人となっている。

“危害経験がある”との回答は、「はさんだ」が最も多く 65 人であった。

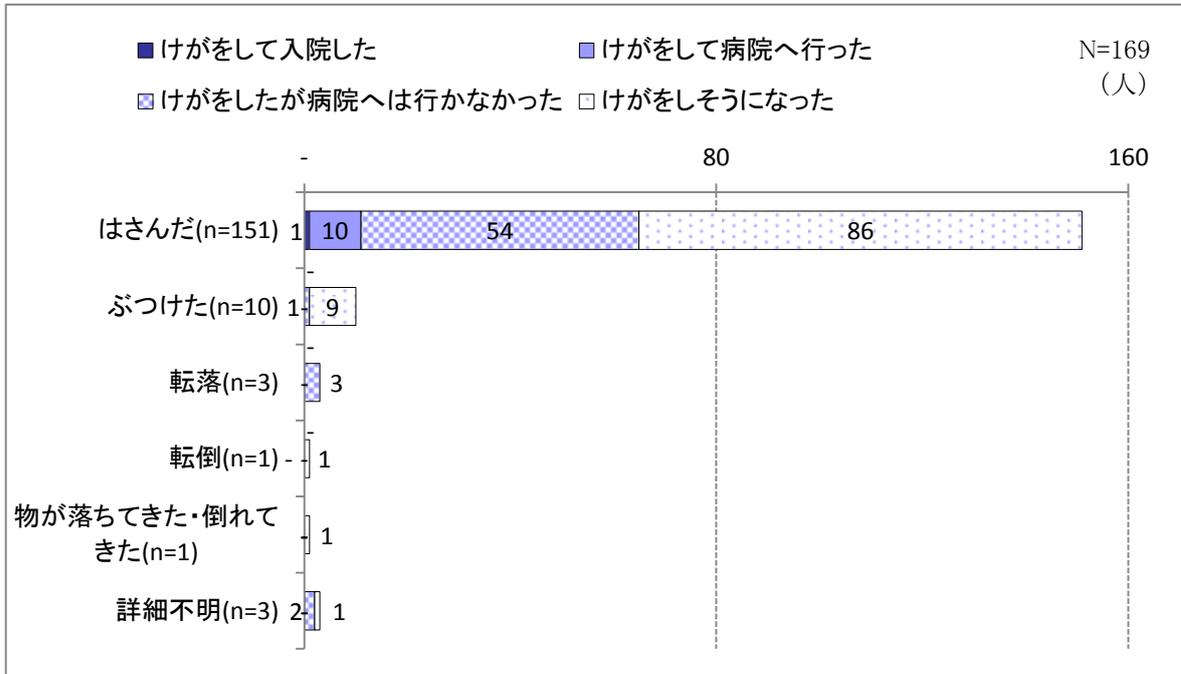


図 7_4. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 7_4 は、「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 95 人、女児は 74 人で、男児の方が多くなっている。年齢別に見ると、男児、女児ともに 1 歳～3 歳が多くなっている。

**表 7_4. 「ドア・窓類」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | 全 体 | は さん だ | ぶ つ け た | 転 落 | 転 倒 | 物 が 落 ち て き た ・ 倒 れ て き た | 詳 細 不 明 |
|--------------------------------------|--------|--------------|------------------|--------|--------|---|------------------|
| 全 体 | 169 | 151 | 10 | 3 | 1 | 1 | 3 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 95 | 85 | 5 | 2 | - | 3 |
| | 男児 0 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 24 | 21 | 2 | - | - | 1 |
| | 男児 2 歳 | 33 | 29 | 2 | 2 | - | - |
| | 男児 3 歳 | 21 | 21 | - | - | - | - |
| | 男児 4 歳 | 12 | 10 | 1 | - | - | 1 |
| | 男児 5 歳 | 2 | 1 | - | - | - | 1 |
| | 男児 6 歳 | 2 | 2 | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 74 | 66 | 5 | 1 | 1 | - |
| | 女児 0 歳 | 4 | 3 | 1 | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 15 | 14 | - | 1 | - | - |
| | 女児 2 歳 | 28 | 26 | 1 | - | 1 | - |
| | 女児 3 歳 | 18 | 16 | 1 | - | - | 1 |
| | 女児 4 歳 | 5 | 3 | 2 | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 4 | 4 | - | - | - | - |
| 女児 6 歳 | - | - | - | - | - | - | |

(5) 詳細事例

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|-------|--------------|--------|---|
| 1 | 階段 | 転落 | 女兒 0 歳 | 自宅では柵と手すりです転落防止をしているが、祖父母宅にはないので、階段から転落しそうになった。 |
| 2 | 階段 | 転落 | 女兒 1 歳 | 夜、子供が二階で寝ていたが、夜中に起きて階段から落ちた。 |
| 3 | 階段 | 転落 | 男児 2 歳 | 自宅はマンションで階段がないが、実家は一軒家で階段がある。子供が階段が好きでのぼりたがり、目を離したときに一人でのぼって数段上から落ちてしまった。 |
| 4 | 階段 | 転落 | 男児 3 歳 | 靴下を履いたまま階段を降りていったところ、滑って転落した。けがはなかった。 |
| 5 | 階段 | 転落 | 女兒 4 歳 | 傾斜が急で転げ落ちた。 |
| 6 | 階段 | 転落 | 女兒 6 歳 | トイレの横に階段があり、夜中トイレに行くとき落ちそうになった |
| 7 | 階段 | 転倒 | 女兒 1 歳 | 自宅の階段より少しだが高さがあり、足が引っかかって転びそうになった。 |
| 8 | 階段 | 転倒 | 女兒 4 歳 | 階段でつまずき転んで、眉間をぶつけけがをした。 |
| 9 | 階段 | 思わぬ所に移動・飛び出し | 女兒 0 歳 | 自宅には階段がないので、歩き始めた子供は階段に興味津々で、少し目を離すと何度も一人で階段をのぼろうとしていた。 |
| 10 | 階段 | 思わぬ所に移動・飛び出し | 男児 1 歳 | まだのぼれないと思っていたら、のぼっていた。 |
| 11 | 階段 | 思わぬ所に移動・飛び出し | 女兒 1 歳 | 自宅の階段にはゲートがあるが、祖父母宅にはゲートがなく、自宅より急な階段を一人でのぼっていたのでヒヤリとした。 |
| 12 | 階段 | 切った・擦りむいた | 女兒 3 歳 | 手すりしたの金具で足を切った。 |
| 13 | 玄関 | 転落 | 女兒 1 歳 | 上がり口に段差があり、そこから滑り落ちそうになったが、落ちる寸前で大人が子供の腕を掴んだ。 |
| 14 | 玄関 | 転落 | 女兒 2 歳 | 玄関の上がり口が自宅と違い高いので、座って靴を取ろうとしたらそのまま前のめりに転がってしまった。 |
| 15 | 玄関 | 転倒 | 女兒 2 歳 | 玄関にあるたくさんの大きな靴につまずいて転んだ。 |
| 16 | 玄関 | 転倒 | 男児 5 歳 | 祖母宅の玄関を出たところに、石が敷き詰められており、雨で石が濡れていたところを勢いよく走ったときに足を滑らせて転んだ。 |
| 17 | 玄関 | 思わぬ所に移動・飛び出し | 女兒 0 歳 | 自宅とは違い、上がり口との段差が高く、一人で足から降りようとしたようだが高くて足がつかず泣いていた。 |
| 18 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 2 歳 | 玄関の扉に指をはさんで切断した。 |
| 19 | ドア・窓類 | はさんだ | 男児 2 歳 | 自宅の玄関は引き戸だが、実家の玄関は蝶番で開閉する扉で、強風にあおられドアに手をはさまれそうになった。 |
| 20 | ドア・窓類 | はさんだ | 女兒 2 歳 | 自宅の扉と違い開まり方が急なので手をはさみそうになった。 |
| 21 | ドア・窓類 | はさんだ | 女兒 3 歳 | 夏に、暑いので廊下とリビングを仕切る扉を開け放しておいたら、風で扉が勢いよく閉まり、指をはさみそうになった。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|-------|------|--------|--|
| 22 | ドア・窓類 | はさんだ | 女兒 3 歳 | 自宅には引き戸がないので、開け閉めが楽しかったようで、遊んでいるうちに扉で指をはさんだ。 |
| 23 | ドア・窓類 | ぶつけた | 女兒 3 歳 | 扉を開けた先に子供がいるのに気づかずぶつかった。 |
| 24 | 廊下 | 転倒 | 男児 2 歳 | 靴下で滑って転倒した。 |
| 25 | 段差 | 転倒 | 男児 3 歳 | 廊下からリビングに入るところに段差があるのを忘れて踏み外して滑ってしまう。 |
| 26 | 縁側 | 転落 | 女兒 2 歳 | 縁側で、庭に背を向けて座っていたとき、何かの拍子で後頭部から転落した。 |
| 27 | 縁側 | 転落 | 女兒 3 歳 | 縁の下をのぞいていたら頭から落ちた。 |

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

(6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか

玄関・階段・廊下での危害及びヒヤリ・ハット経験がある回答者 811 人に対して、どうしたら防ぐことができたと思うかを自由記述で質問した結果、625 人から 661 件の回答が得られた。このうち、危害及びヒヤリ・ハット経験の多い事例及び製品について、回答例の一部を記す。

表 7_5. 玄関・階段・廊下で
「どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか」(事例別)

| 事 例 | 回答例 |
|-------------|---|
| 転落 | (子供が行けないように) 柵をつける。 (子供が行けないように) 扉を閉めておく。 滑り止めをつける。 手すりをつける。 子供 1 人では行かせない。 |
| はさんだ | クッション材を使用する。 ストッパーをつける。 危ないことを伝えておけばよかった。 |
| 転倒 | 滑り止めをつける。 |
| 思わぬところに飛び出し | (子供が行けないように) 柵をつける。 |
| ぶつけた | 扉の開け閉めをゆっくり行う。 |

※上記の他、「目を離さない・一人にしない」旨の回答は各事例に共通していた。

8. ベランダ・庭・駐車場での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) ベランダ・庭・駐車場での危害及びヒヤリ・ハット経験（概要）

図 8_1 はベランダ・庭・駐車場での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である（上位 16 位以降の製品は「その他」にまとめた。）。なお、ベランダ・庭・駐車場には、集合住宅の共用部を含むものとする。

危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は、3,000 人中 371 人（12.4%）であった。

製品別に見ると、「自動車」が 119 人（32.1%）で最も多く、「庭」と「ベランダ・ウッドデッキ」がそれぞれ 37 人（10.0%）となっている。

“危害経験がある”との回答は、「庭」が 12 人で最も多く、次いで「自動車」が 9 人となっている。

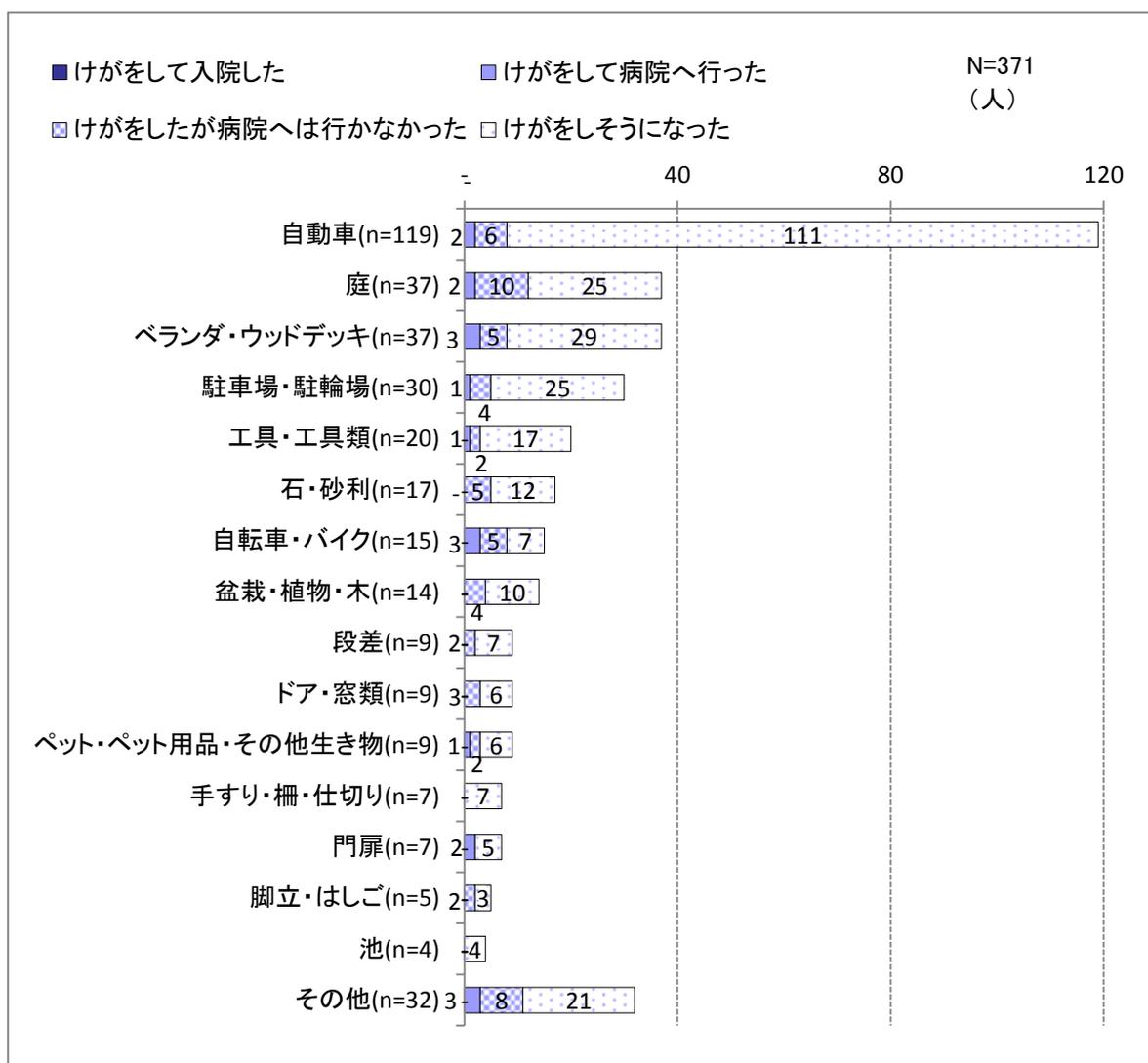


図 8_1. ベランダ・庭・駐車場での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（製品別）

表 8_1_1 はベランダ・庭・駐車場で危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び原因となった製品別に経験者数をまとめた結果である。

経験者数 371 人のうち、「車等に接触」が 92 人 (24.8%) で最も多く、次いで「転倒」が 77 人 (20.8%)、「転落」が 36 人 (9.7%) と続く。

事例別に見ると、「車等に接触」に関わる製品では、「自動車」が 90 人で最も多い。「転倒」では、「庭」が 24 人で最も多くなっている。

表 8_1_1. ベランダ・庭・駐車場で危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×製品別)

(人)

| | 全 体 | 車 等 に 接 触 | 転 倒 | 転 落 | 思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し | は さ ん だ | 危 険 な も の に 触 つ た ・ 遊 ん だ | 切 つ た ・ 擦 り む い た | 危 険 な 場 所 に 入 り こ ん だ | そ の 他 | 詳 細 不 明 |
|------------------|--------|-----------------------|--------|--------|--|------------------|---|---|---|-------------|------------------|
| 全 体 | 371 | 92 | 77 | 36 | 31 | 30 | 20 | 18 | 18 | 38 | 11 |
| 自動車 | 119 | 90 | - | 3 | - | 11 | - | - | 12 | 1 | 2 |
| 庭 | 37 | - | 24 | 3 | 4 | 1 | - | 1 | - | 2 | 2 |
| ベランダ・ウッドデッキ | 37 | - | 8 | 12 | 9 | 3 | - | 2 | - | 1 | 2 |
| 駐車場・駐輪場 | 30 | - | 8 | 1 | 14 | 3 | - | - | 3 | - | 1 |
| 工具・工具類 | 20 | - | 1 | - | - | - | 8 | 9 | - | - | 2 |
| 石・砂利 | 17 | - | 15 | 1 | - | - | 1 | - | - | - | - |
| 自転車・バイク | 15 | 2 | 3 | - | - | 2 | - | - | - | 8 | - |
| 盆栽・植物・木 | 14 | - | 3 | 1 | - | - | 3 | 3 | 1 | 3 | - |
| 段差 | 9 | - | 5 | 2 | - | 1 | - | - | - | 1 | - |
| ドア・窓類 | 9 | - | - | 3 | 3 | 2 | - | - | - | 1 | - |
| ペット・ペット用品・その他生き物 | 9 | - | - | - | - | - | 1 | 2 | - | 5 | 1 |
| 手すり・柵・仕切り | 7 | - | 1 | 1 | - | - | 1 | - | 2 | 2 | - |
| 門扉 | 7 | - | 1 | - | - | 5 | - | - | - | 1 | - |
| 脚立・はしご | 5 | - | - | 2 | - | - | 2 | - | - | 1 | - |
| 池 | 4 | - | 1 | 2 | - | - | - | - | - | 1 | - |
| その他 | 32 | - | 7 | 5 | 1 | 2 | 4 | 1 | - | 11 | 1 |

表 8_1_2 は子供の性・年齢別に危害及びヒヤリ・ハット経験をした製品を比較した結果である。全体として、男児の事例が 218 人で、女児の 153 人に比べ多くなっている。製品別に見ると、「自動車」では、男児が 74 人、女児が 45 人で最も多い。

**表 8_1_2. ベランダ・庭・駐車場で危害及びヒヤリ・ハット経験
(製品×子供の性・年齢別)**

(人)

| | 全 体 | 自 動 車 | 庭 | ベ ラ ン ダ ・ ウ ッ ド デ ッキ | 駐 車 場 ・ 駐 輪 場 | 工 具 ・ 工 具 類 | 石 ・ 砂 利 | 自 転 車 ・ バ イク | 盆 栽 ・ 植 物 ・ 木 | 段 差 | ド ア ・ 窓 類 | そ の 他 | |
|--------------------------------------|--------|-------------|----|---|---------------------------------|----------------------------|------------------|-----------------------------|---------------------------------|--------|-----------------------|-------------|----|
| 全 体 | 371 | 119 | 37 | 37 | 30 | 20 | 17 | 15 | 14 | 9 | 9 | 64 | |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 218 | 74 | 24 | 19 | 16 | 12 | 9 | 10 | 7 | 4 | 7 | 36 |
| | 男児 0 歳 | 5 | - | - | 2 | - | - | - | - | - | - | - | 3 |
| | 男児 1 歳 | 49 | 10 | 10 | 7 | 3 | 2 | 2 | 1 | 1 | 1 | 3 | 9 |
| | 男児 2 歳 | 48 | 14 | 4 | 1 | 4 | 3 | 5 | 3 | 2 | 2 | 4 | 6 |
| | 男児 3 歳 | 60 | 22 | 9 | 5 | 4 | 4 | 1 | 1 | 2 | 1 | - | 11 |
| | 男児 4 歳 | 28 | 12 | 1 | 2 | 4 | - | 1 | 1 | 2 | - | - | 5 |
| | 男児 5 歳 | 15 | 9 | - | 1 | - | 2 | - | 3 | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 13 | 7 | - | 1 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | - | 2 |
| | 女児合計 | 153 | 45 | 13 | 18 | 14 | 8 | 8 | 5 | 7 | 5 | 2 | 28 |
| | 女児 0 歳 | 6 | 2 | - | - | - | - | - | - | 1 | 1 | - | 2 |
| | 女児 1 歳 | 36 | 10 | 5 | 3 | 3 | 3 | 2 | - | 2 | 2 | - | 6 |
| | 女児 2 歳 | 34 | 13 | 3 | 3 | 3 | 1 | 1 | 1 | 2 | 1 | 1 | 5 |
| | 女児 3 歳 | 35 | 8 | 2 | 8 | 3 | 1 | 2 | - | - | 1 | 1 | 9 |
| | 女児 4 歳 | 18 | 5 | - | 1 | 3 | 3 | - | 3 | - | - | - | 3 |
| 女児 5 歳 | 17 | 5 | 2 | 2 | 1 | - | 2 | 1 | 2 | - | - | 2 | |
| 女児 6 歳 | 7 | 2 | 1 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | 1 | |

※この表における「その他」は、図 8_1 の「ペット・ペット用品・その他生き物」から「その他」までのものである。

(2) 「自動車」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 8_2 は「自動車」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「自動車」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、ベランダ・庭・駐車場における経験者 371 人のうち、119 人であった。

事例別に見ると、「車等に接触」が 90 人で最も多くなっている。

“危害経験がある”との回答は、「車等に接触」で 6 人、「はさんだ」で 2 人であった。

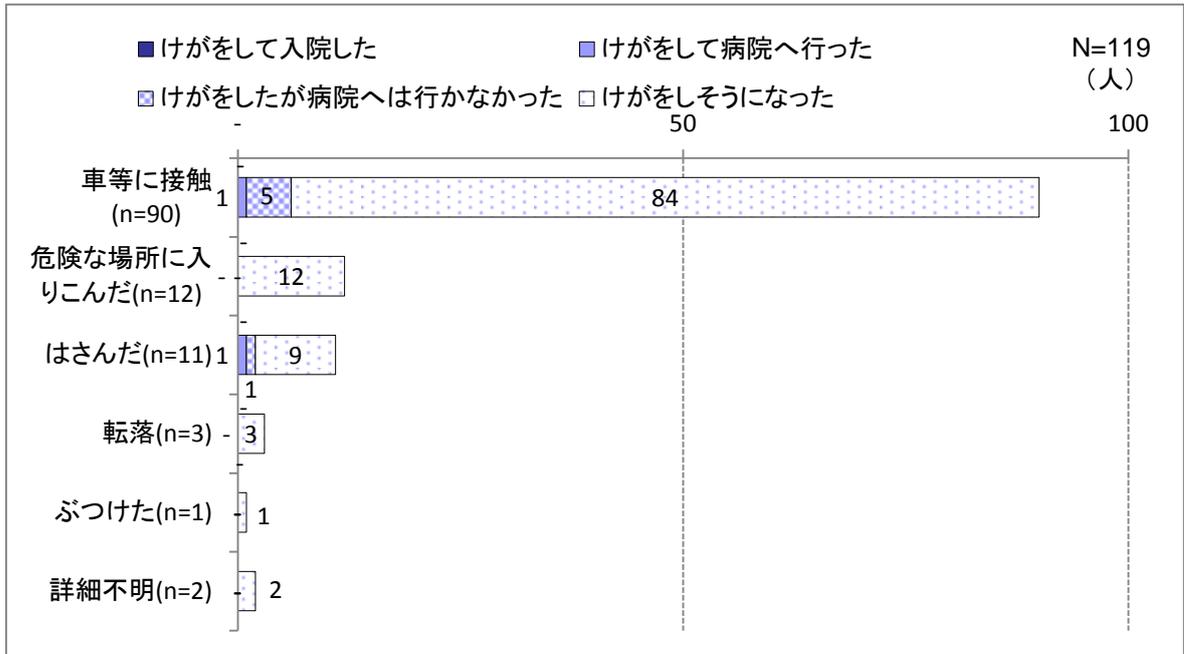


図 8_2. 「自動車」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 8_2 は、「自動車」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児が 74 人で、女児の 45 人に比べ多くなっている。事例別に見ると、男児、女児ともに「車等に接触」が多い。

**表 8.2. 「自動車」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | 車 等 に 接 触 | 危 険 な 場 所 に 入 り こ ん だ | は さ ん だ | 転 落 | ぶ つ け た | 詳 細 不 明 |
|--------------------------------------|--------|--------|-----------------------|---|------------------|--------|------------------|------------------|
| 全 体 | | 119 | 90 | 12 | 11 | 3 | 1 | 2 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 74 | 56 | 7 | 7 | 2 | - | 2 |
| | 男児 0 歳 | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 10 | 8 | 2 | - | - | - | - |
| | 男児 2 歳 | 14 | 11 | 1 | - | 1 | - | 1 |
| | 男児 3 歳 | 22 | 17 | 2 | 2 | - | - | 1 |
| | 男児 4 歳 | 12 | 10 | 2 | - | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | 9 | 4 | - | 4 | 1 | - | - |
| | 男児 6 歳 | 7 | 6 | - | 1 | - | - | - |
| | 女児合計 | 45 | 34 | 5 | 4 | 1 | 1 | - |
| | 女児 0 歳 | 2 | 2 | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 10 | 10 | - | - | - | - | - |
| | 女児 2 歳 | 13 | 10 | 2 | 1 | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 8 | 3 | 1 | 3 | 1 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 5 | 3 | 2 | - | - | - | - |
| | 女児 5 歳 | 5 | 4 | - | - | - | 1 | - |
| 女児 6 歳 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | |

(3) 「庭」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 8_3 は「庭」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「庭」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、ベランダ・庭・駐車場における経験者 371 人のうち、37 人であった。

事例別に見ると、「転倒」が 24 人で最も多い。

“危害経験がある”との回答でも、「転倒」が最も多く、9 人となっている。

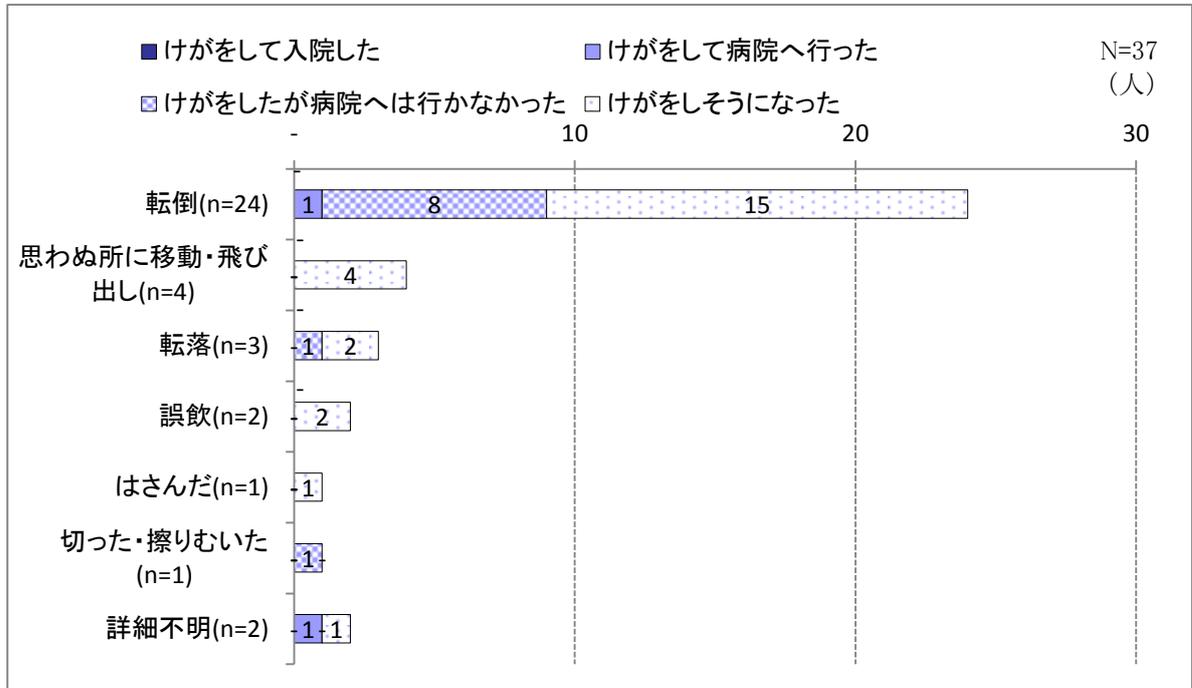


図 8_3. 「庭」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 8_3 は、「庭」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児が 24 人で、女児の 13 人に比べ多くなっている。

**表 8_3. 「庭」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | 転 倒 | 思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し | 転 落 | 誤 飲 | は さ ん だ | 切 っ た ・ 擦 り む い た | 詳 細 不 明 |
|--------------------------------------|--------|--------|--------|--|--------|--------|------------------|---|------------------|
| 全 体 | | 37 | 24 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 2 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 24 | 15 | 3 | 2 | 2 | - | - | 2 |
| | 男児 0 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 1 歳 | 10 | 5 | 2 | 1 | 2 | - | - | - |
| | 男児 2 歳 | 4 | 2 | - | - | - | - | - | 2 |
| | 男児 3 歳 | 9 | 7 | 1 | 1 | - | - | - | - |
| | 男児 4 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児合計 | 13 | 9 | 1 | 1 | - | 1 | 1 | - |
| | 女児 0 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 5 | 3 | - | 1 | - | 1 | - | - |
| | 女児 2 歳 | 3 | 2 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 2 | 1 | - | - | - | - | 1 | - |
| | 女児 4 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| 女児 5 歳 | 2 | 2 | - | - | - | - | - | - | |
| 女児 6 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | |

(4) 「ベランダ・ウッドデッキ」での危害及びヒヤリ・ハット経験

図 8_4 は「ベランダ・ウッドデッキ」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度について、事例別に経験者数をまとめた結果である。

「ベランダ・ウッドデッキ」での危害及びヒヤリ・ハット経験は、ベランダ・庭・駐車場における経験者 371 人のうち、37 人であった。

事例別に見ると、「転落」が 12 人で最も多い。

“危害経験がある”との回答は、「転倒」、「はさんだ」、「切った・擦りむいた」がそれぞれ 2 名となっている。

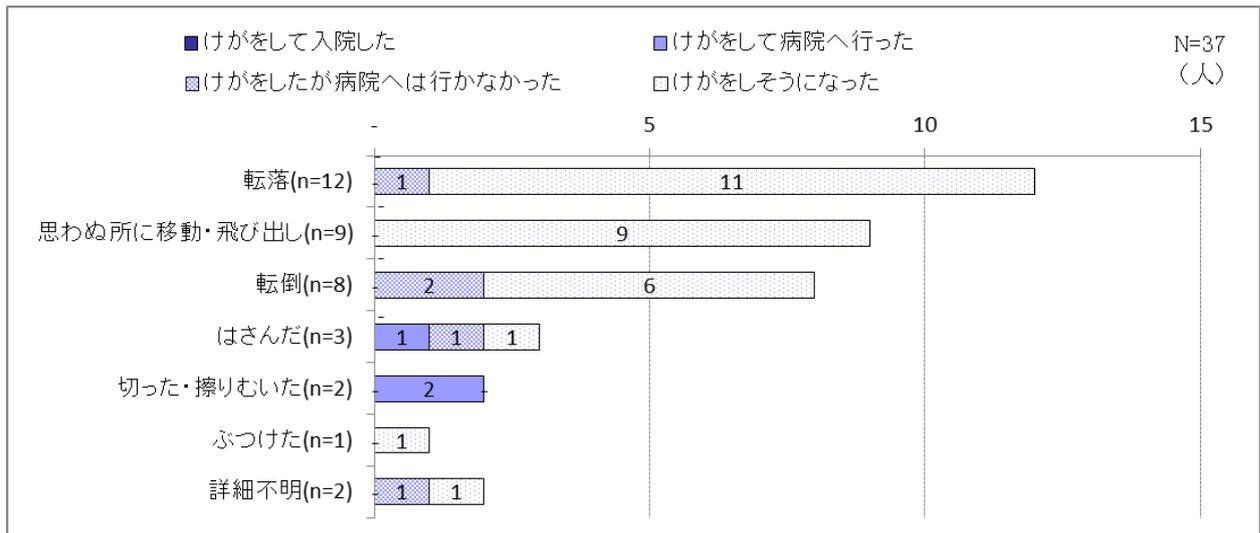


図 8_4. 「ベランダ・ウッドデッキ」での危害及びヒヤリ・ハット経験の程度（事例別）

表 8_4 は、「ベランダ・ウッドデッキ」での危害及びヒヤリ・ハット経験について、事例及び子供の性・年齢別に比較した結果である。男児は 19 人、女児は 18 人で、大きな差は見られない。

年齢別に見ると、男児は 1 歳が 7 件で最も多く、女児は 3 歳が 8 件で最も多い。

**表 8_4. 「ベランダ・ウッドデッキ」での危害及びヒヤリ・ハット経験
(事例×子供の性・年齢別)**

(人)

| | | 全 体 | 転 落 | 思 わ ぬ 所 に 移 動 ・ 飛 び 出 し | 転 倒 | は さ ん だ | 切 つ た ・ 擦 り む い た | ぶ つ け た | 詳 細 不 明 |
|--------------------------------------|--------|--------|--------|--|--------|------------------|---|------------------|------------------|
| 全 体 | | 37 | 12 | 9 | 8 | 3 | 2 | 1 | 2 |
| 子 供 の 性 別 ・ 年 齢 | 男児合計 | 19 | 7 | 5 | 3 | 1 | - | 1 | 2 |
| | 男児 0 歳 | 2 | - | - | 1 | - | - | - | 1 |
| | 男児 1 歳 | 7 | 1 | 3 | 1 | 1 | - | - | 1 |
| | 男児 2 歳 | 1 | - | 1 | - | - | - | - | - |
| | 男児 3 歳 | 5 | 4 | - | 1 | - | - | - | - |
| | 男児 4 歳 | 2 | 1 | 1 | - | - | - | - | - |
| | 男児 5 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - |
| | 男児 6 歳 | 1 | - | - | - | - | - | 1 | - |
| | 女児合計 | 18 | 5 | 4 | 5 | 2 | 2 | - | - |
| | 女児 0 歳 | - | - | - | - | - | - | - | - |
| | 女児 1 歳 | 3 | 1 | - | 2 | - | - | - | - |
| | 女児 2 歳 | 3 | 1 | 1 | - | 1 | - | - | - |
| | 女児 3 歳 | 8 | 2 | 2 | 2 | 1 | 1 | - | - |
| | 女児 4 歳 | 1 | - | - | - | - | 1 | - | - |
| | 女児 5 歳 | 2 | - | 1 | 1 | - | - | - | - |
| 女児 6 歳 | 1 | 1 | - | - | - | - | - | - | |

(5) 詳細事例

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|-------------|--------------|--------|--|
| 1 | 自動車 | 車等に接触 | 女兒 2 歳 | 子供が車から降りたと同時に知人がいることに気づき、知人のところへ走ろうと親の手を振り払い飛び出そうとしたが、車も手前で止まり、子供の服をつかみ、とめることができ事故にならずに済んだ。 |
| 2 | 自動車 | 車等に接触 | 男児 3 歳 | バックしてきた車に興味を示し、子供が飛び出して近づきひかれそうになった。 |
| 3 | 自動車 | 車等に接触 | 男児 3 歳 | バックしてきた他の車に気づかず、飛び出しそうになった。 |
| 4 | 自動車 | 車等に接触 | 男児 5 歳 | 車の後方にしゃがんでいた。 |
| 5 | 自動車 | 危険な場所に入りこんだ | 女兒 3 歳 | 家の横の駐車場にとめてある車に興味があり下にもぐった。 |
| 6 | 自動車 | はさんだ | 男児 5 歳 | 車のスライドドアが閉まる時に手をはさんでしまった。 |
| 7 | 庭 | 転倒 | 男児 3 歳 | 庭先の石につまずき足を擦りむいた。 |
| 8 | 庭 | 転倒 | 男児 3 歳 | 雪の降った後に子供を庭で遊ばせていたら、雪が凍っていたため転倒した。 |
| 9 | ベランダ・ウッドデッキ | 転落 | 男児 3 歳 | リフォームしてつけたベランダで、柵の間から落ちそうになった。 |
| 10 | ベランダ・ウッドデッキ | 転落 | 男児 3 歳 | マンションの高層部で、普段とは違う景色を見たがりベランダに出たら落ちそうになった。 |
| 11 | ベランダ・ウッドデッキ | 思わぬ所に移動・飛び出し | 男児 1 歳 | 洗濯物を干している最中、目を離したときにベランダの柵にのぼっていた。 |
| 12 | ベランダ・ウッドデッキ | 思わぬ所に移動・飛び出し | 女兒 5 歳 | ベランダの手すりにのぼろうとしていた。 |
| 13 | ベランダ・ウッドデッキ | 思わぬ所に移動・飛び出し | 男児 2 歳 | 実家はマンションでベランダがある。自宅のベランダには踏み台になるような荷物を置かないようにしているが実家のベランダには踏み台になる荷物があり、それによじのぼった。 |
| 14 | 工具・工具類 | 切った・擦りむいた | 女兒 4 歳 | 芝刈り機で指を切りそうになった。 |
| 15 | 工具・工具類 | 切った・擦りむいた | 女兒 4 歳 | 祖父母宅の庭にあった剪定ばさみを持って触っていた。自宅には無く、手の届くところにあったため持ってしまった。 |
| 16 | 石・砂利 | 転落 | 女兒 5 歳 | 庭の岩の上から落ちそうになった。 |
| 17 | 駐車場・駐輪場 | はさんだ | 男児 4 歳 | 祖父の家はマンションで、来客用の駐車場が時間貸しになっている。帰るときに料金機で支払い、車を出そうとすると、車止めが下がり始めたことに気づかず、車止めの近くにいた子供の足をはさんでしまいそうになった。 |
| 18 | 自転車・バイク | はさんだ | 女兒 5 歳 | 祖父が運転する自転車の荷台に乗っていたところ、後輪に足をはさまれた。 |

| No. | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|-----|------------------|---------------|--------|--|
| 19 | 自転車・バイク | 製品ごと転落・転倒 | 男児 6 歳 | 庭で遊んでいた際、ちょっと目を離したときに子供が大人用自転車のペダルに足をかけ遊んでおり、そのまま自転車が倒れてきて下敷きになった。幸い大きなけがはなく、打撲程度で済んだ。 |
| 20 | ペット・ペット用品・その他生き物 | 切った・擦りむいた | 男児 3 歳 | 庭の家庭菜園で、手足を毒虫に刺されて腫れてしまった。 |
| 21 | 門扉 | はさんだ | 女児 3 歳 | 自宅には門がないので、楽しかったらしく勢いよく閉めてはさまりそうになった。 |
| 22 | 脚立・はしご | 危険なものに触った・遊んだ | 男児 3 歳 | 広い庭に興奮し、立てかけてあった脚立を出して遊ぼうとしていた。 |
| 23 | エレベーター | ぶつけた | 男児 0 歳 | 祖父のマンションのエレベーターの扉は、家のマンションのエレベーターより閉まるタイミングが早く、ぶつかってしまった。 |

※内容については、明確な誤字及び特定の製品名を示すもの以外はアンケート回答のまま掲載した。

(6) どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか

ベランダ・庭・駐車場での危害及びヒヤリ・ハット経験がある回答者 371 人に対して、どうしたら防ぐことができたと思うかを自由記述で質問した結果、268 人から 276 件の回答が得られた。このうち、危害及びヒヤリ・ハット経験の多い事例及び製品について、回答例の一部を記す。

**表 9.5. ベランダ・庭・駐車場で
「どうしたらけがなどを防ぐことができたと思うか」(事例別)**

| 事 例 | 回答例 |
|-----------------------|-------------------------------------|
| 車等に接触 思わぬ所に移動・飛び出し | 門や柵を閉めて子供が飛び出さないようにする。 |
| 転落 | 脚がかりになるものを置かない。 鍵を閉めて出られないようにする。 |

※上記のほか、「目を離さない、一人にしない」旨の回答は各事例に共通していた。

9. その他の場所での危害及びヒヤリ・ハット経験

(1) その他の場所での危害及びヒヤリ・ハット経験

帰省先などの自宅とは異なる住まいにおけるその他（「リビング・居間」から「ベランダ・庭・駐車場」まで以外）の場所で、危害及びヒヤリ・ハット経験があると回答した人数は、3,000人中116人（3.9%）であった。

回答の多くが、製品や場所等がわからないものであったが、事例別では、「ぶつけた」、「はさんだ」、「やけど」、「転倒」、など、「リビング・居間」から「ベランダ・庭・駐車場」までと同様の内容が多く見られた。

(2) 詳細事例

| | 製品 | 事例 | 性別・年齢 | 内容 |
|---|------------------|---------------|-------|--|
| 1 | ペット・ペット用品・その他生き物 | 噛まれた | 男児1歳 | 慣れてないため噛みつかれそうになった。 |
| 2 | 倉庫・物置 | 危険な場所に入りこんだ | 女兒3歳 | かくれんぼで隠れて出られなくなった。 |
| 3 | 工具・工具類 | 危険なものに触った・遊んだ | 男児3歳 | 倉庫の中に置いてあった農作業用の鎌を子どもが見つけて触っていた。 |
| 4 | エレベーター | はさんだ | 女兒0歳 | ドアの収納部に指が入りそうになった。 |
| 5 | 踏み台・台 | 製品ごと転落・転倒 | 女兒2歳 | 電話を触ろうとして、足のせ台を自分で持ってきて、頭からひっくり返りそうになった。 |

10. 帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等について乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫

(1) 帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等について乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫（概要）

帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等について、乳幼児の身の回りの安全（けが、やけど、誤飲等の未然防止）のために気をつけていることや工夫を自由記述で質問した結果、2,906 件の回答を得た。

図 9_1 は、回答を 10 分類にまとめた結果である。

「目を離さない・一人にしない」が、1,307 人(43.6%)が回答している。続いて「危険なものを置かない・片づける」が 723 人(24.1%)、「安全な環境を作る・安全に配慮された製品を使う」が 189 人(6.3%)となっている。

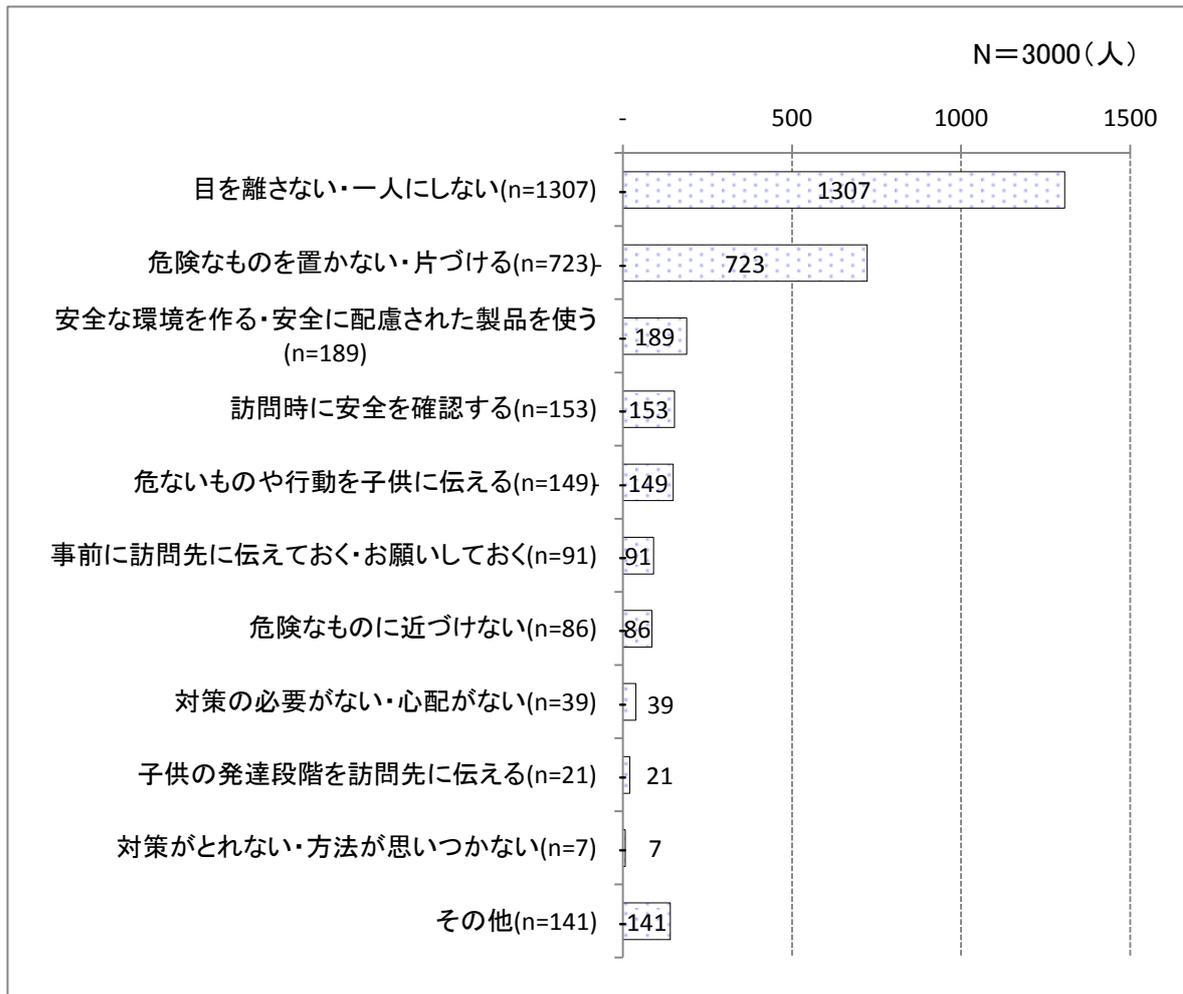


図 9_1. 帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等について乳幼児の身の回りの安全のために気をつけていることや工夫

(2) 詳細事例

| 目を離さない・一人にしない | |
|------------------------|---|
| 1 | 子供から目を離さない。 |
| 2 | 常に子供の近くにいるようにしている。 |
| 3 | 常に子供への目配りを忘れないようにしている。 |
| 4 | 大人が大勢で見守る。 |
| 5 | 責任をもって見守る人を決める。 |
| 6 | 子供が興奮してしまうので注意深く見る。 |
| 7 | いつもより大人が多くなり、親の気が緩みがちなので、子供を必ず見るようにしなくてはならないと思う。 |
| 8 | 普段とは違う場所では何があるか分からないから、できるだけ目を離さないようにしている。 |
| 9 | 祖父母だけで子供を見る機会を作らない（親が必ずそばにいるようにする。）。 |
| 10 | 帰省時は、常に誰か大人が付き添い、目を離さないようにしている。 |
| 11 | いつもと違う環境で子供が興奮して動き回るので、片時も目を離さないようにしている。 |
| 12 | 子供を目の届く距離に居させる。 |
| 13 | 帰省時は、自宅と違って危ない箇所があるかもしれないので目配りをきかせる。 |
| 14 | 大人が大勢いる状況であっても、常に子供がどこにいて何をしているか気を配るようにしている。 |
| 15 | 帰省時はわずかな時間でも一人にしないように、自宅以上に気をつけていた。 |
| 16 | 誰かが見てくれていると油断すると、お互いにそう思ってしまうことがあるので、大人同士で意志疎通しておく。 |
| 17 | 危ないと思うところには一緒についていく。 |
| 18 | 両親や親戚など、その場にいる他の大人にも、子供の様子を気にしてもらえるように声をかける。 |
| 19 | 自宅とは異なり、自分にとっても慣れない環境なので、常に子どもから目を離さないように気をつけている。 |
| 20 | 必ず複数人の大人で子供の様子を見るようにしている。 |
| 危険なものを置かない・片づける | |
| 1 | 床や手の届く場所に危険なものを置かない。 |
| 2 | 好奇心で触ってしまいそうなものは、まわりに置かないようにしてもらっている。 |
| 3 | 危ないと思うものは目につかないところに片づけてもらう。 |
| 4 | 帰省時は、手の届く高さに子供が興味を持ちそうなものがたくさんあるので、できる限り隠してもらう。 |
| 5 | 危険なものを、手の届くところ、目につくところに置かない。 |
| 6 | 手の届くところに置いてあるものを移動させた。 |
| 7 | 帰省時に危ない物は全部まとめて箱に入れた。 |
| 8 | けがの原因になりそうなものは、場所や設置向きなどを変えて対策をとる。 |
| 9 | 危険そうなものは使わないようお願いしている。 |
| 10 | 祖父母に頼んで、危険そうなものは高い所においてもらうか、もしくは自分で移動する。 |
| 安全な環境を作る・安全に配慮された製品を使う | |
| 1 | 安全な場所か部屋を一つ確保して、なるべくそこで遊ばせるようにしている。 |
| 2 | 子供が遊ぶスペースを部屋で一番安全な場所に作ってもらう。クッションマットかカーペットを敷いて、お気に入りのおもちゃを持って行き、そこで遊ばせるようにする。 |
| 3 | チャイルドロックできるものはロックをするようにしている。 |
| 4 | 危ないものはゲートで囲う。 |
| 5 | 危ないと思うところは行かないように、仕切りを作ったりする。 |
| 6 | 子供用の食器がないが、なるべく危ないものを選んでいく。 |

| | |
|--------------------|--|
| 7 | 台所では子供用の切れない包丁で手伝いさせている。 |
| 8 | ドアを全て閉めきる。 |
| 9 | 扉のストッパーや廊下の柵などを用意してもらうよう、事前に両親に頼んだ。 |
| 10 | 扉が開かないようにフック式の留め具をつけたり、危ない物がある場所（キッチン）の手前に扉をつけた。 |
| 11 | 一人でドアを開け閉めしそうなところは、鈴などをつけて大人がすぐに気がつくようにした。 |
| 12 | 遊べるスペースを限る。部屋から簡単に出られないように柵をする。 |
| 13 | キッチンへの入り口に柵をつける。二階の窓はなるべく開けず市販の鍵を二重につける。 |
| 14 | 階段からの転落防止のため、二階のポーチに鍵付きのゲートをつけている。浴室に遊びで入らないように鍵をかけている。 |
| 15 | 階段の昇り降りをしないようにガードをつけた。 |
| 16 | 訪問時には階段に行かせないように、簡易な扉を設置した。 |
| 17 | ベビーゲートをレンタルし、設置してもらう。 |
| 18 | 火の元（台所、ストーブ回り）に近づかないよう本人に注意して、柵を設置している。 |
| 19 | 石油ファンヒーターではなくエアコンで室温調整してもらう。 |
| 20 | 実家はストーブをよく使用しており、やけどの恐れがあるので、帰省時はできるだけ使わずにいた。 |
| 21 | 転ばないように、家では靴下を脱ぐ。 |
| 22 | 電源コードに引っかからないように配線する。 |
| 23 | 転んでも危なくないようマットを敷いている。 |
| 24 | 危険な場所に柵やドアロックの補助器具をつけたり、床にマットを敷いたりしている。 |
| 25 | 机の角などにはクッションがわりのテープを貼りつけており、また開閉するドアはなるべくすべて閉じておく。 |
| 26 | 祖父母の家でも、家具の突起や角など、ぶつかっても大丈夫なように保護材をつけるなど協力してもらっている。 |
| 27 | ベビードアロックやテーブルの角に貼るクッションなど、必要に応じて購入し危険を除くよう心がけている。 |
| 28 | 手作りのカバーなどをテーブルの角につけている。 |
| 29 | 家具の角にぶつけ防止のスポンジをつけている。 |
| 30 | 食器棚や台所付近には簡易な鍵をつけ、テーブルやテレビ台等の角にはクッションテープをつけて、子供がけがをしないようにしている。 |
| 31 | 子供の手の届く場所に危険なものがある場合は、できるだけロックやストッパーをつけている。 |
| 32 | 引き出しなど簡易に固定しておいてもらったり、踏み台などは片づけておいてもらう。 |
| 33 | コーナーにはガードをつける。立ち入り禁止の区域には柵をつける。つかまり立ちを始めたので軽いヘルメットをつけている。 |
| 34 | 角をなくすようにクッション材をつけている。 |
| 35 | 風呂に湯をためておかない。 |
| 36 | 二階で寝かせているときはモニターをつける。 |
| 37 | ガラス戸が多いので、小さい頃は直接当たらないようにガードをしてもらっていた。 |
| 38 | 窓は開けないように養生テープで固定している。 |
| 39 | 訪問時には、祖母が部屋の片づけをして仏壇を閉じておいたり、ライターを手の届かない場所に置いたり、暖房器具も危なくないものにしてきている。 |
| 40 | 電源は、面倒でもその都度全てコンセントから抜く。 |
| 訪問時に安全を確認する | |
| 1 | 最初に危険なものや場所をチェックして、片づけたり行けないようにしたりする。 |
| 2 | 危なそうな箇所について、ある程度把握しておく。 |

| | |
|-----------------------------|---|
| 3 | 訪問時に子供が手の届くところに危険なものがないか、室内を確認する。確認できるまでは子供を離さない。 |
| 4 | 子供の目線で見回し、危険なものは先に排除している。 |
| 5 | 帰省時に、子供に危険なものはないか室内を見て回り、環境整備をする。 |
| 危ないものや行動を子供に伝える | |
| 1 | 違う環境にいるということを自覚させる。 |
| 2 | 危険が潜んでいそうな場所は、あらかじめ子供に言い聞かせておく。 |
| 3 | あらかじめ子供にも理由も含めて危ないことを説明しておく。 |
| 4 | 危険なものや場所については何度も声をかけて子供に理解させる。 |
| 5 | 帰省時に、自宅にはないものを見つけたら、遊び始める前に子供に注意を伝えておく。 |
| 事前に訪問先に伝えておく・お願いしておく | |
| 1 | 行く前に連絡を入れ、手の届くところに危ないものを置いておかないようにしてもらう。 |
| 2 | 事前に祖父母に危ないものを詳しく例に挙げて、収納しておいてもらう。 |
| 3 | 実家への帰省の際は、事前に危ないものやいたずらそうなものは伝えて片づけてもらう。 |
| 4 | 帰省が決まったら、祖父母へ、子供の手の届く範囲に触って困るもの、危険なものを置かないように片づけて欲しい旨を、毎回事前に伝えている。 |
| 5 | 訪問前にあらかじめ注意してほしい点を伝える（祖父母側からも質問する）ようにし、情報を共有している。 |
| 危険なものに近づけない | |
| 1 | 周りをよく見て危ないものには触らせない。 |
| 2 | 訪問時に子供が興味を持ちそうな場所に行かないようにガードしたり注意深く見守ったりする。 |
| 3 | 子供を安全な場所以外に行かせない。 |
| 4 | 危険な場所から遠い位置で遊ばせる。 |
| 5 | 火を使う場所には近づかせない。 |
| 対策の必要がない・心配がない | |
| 1 | よほど危険になるもの以外は、自分たちで経験し学んでもらう。 |
| 2 | 危ないからといって全てのものから遠ざけるようなことはあまりしたくないが、刃物や炎が出るものは取り返しがつかなくなるので気をつけていきたい。 |
| 3 | なるべく何でも自由にやらせている。ただすぐ手を伸ばせば届くくらいの間をとっている。 |
| 子供の発達段階を訪問先に知らせる | |
| 1 | 前もってこういうところに興味を示すなどの情報を周りに伝えておく。 |
| 2 | 一緒にいる大人には注意喚起（子供はこんなものに興味があるから触りたがる等）しておき、目を離さないように誰かが見ているように気をつけている。 |
| 3 | ラップの芯に入るサイズの小物は誤飲する可能性があることを周囲に教える。 |
| 4 | 帰省先では、子供が今こういう事をするので、と注意点を先に話して対策をしてもらう。 |
| 5 | 子供のいない住まいだと、子供の目線で何をいわずらするか見当がつかないので、言いにくいこともあるが大人にも注意喚起するようにしている。 |
| 対策がとれない・方法が思いつかない | |
| 1 | 普段は子供だけを見ていられるが、他の人もいて子供だけを見ていられない。 |
| 2 | 対策ができてない。 |
| その他 | |
| 1 | おもちゃではないが、おもちゃにしてもかまわないような野菜・道具など、子供が手にとっても危険のないものを先にあたえる。 |
| 2 | 子供の気に入っている物を自宅から多数持参し、他のものにあまり興味がいかないようにしている。 |

Ⅲ. まとめ

東京都では、平成 21 年度から乳幼児やシニア世代を中心としたヒヤリ・ハット調査を行い、事故防止ガイド等を通じて消費者への注意喚起を行っている。

今回は乳幼児を対象に、帰省先などの自宅とは異なる住まいで、使い慣れない製品や異なる環境で使用した製品などによって起こった詳細な危害及びヒヤリ・ハット経験の事例収集を主な目的としたアンケート調査を実施した。

子供の行動は予想がつかず全てを防ぐことは不可能であるが、最小限の危害に食い止めるために、子供が居る環境においては、今回の調査結果と同様な事例が自分の周りでも起こり得るということを意識して、住宅や施設内で危険を回避するための注意・工夫を施していただきたい。

また、製品を提供する事業者等は、危害及びヒヤリ・ハット経験の事例や保護者等の要望を注視し、乳幼児の安全及び事故防止に十分留意した上で製品開発を行っていただきたい。家庭内の製品における利便性、デザイン性が高まった現在、安全性への配慮も製品の高付加価値に繋がるという意識を持って製品開発を行っていただきたい。

【今後の取組】

- (1) 危害及びヒヤリ・ハット経験の事例及び事故防止のポイントをまとめた事故防止ガイド（ヒヤリ・ハットレポート）を作成し、東京くらしWEBへ掲載するとともに、印刷物としてもイベント等で配布するなど、消費者への注意喚起に使用する。
- (2) 国及び関係事業者団体等へ調査結果を情報提供する。
- (3) 収集した危害及びヒヤリ・ハット経験等を事故の未然・拡大防止のための調査の基礎データとする。

IV. アンケート調査票

Q1. あなたの居住地を教えてください。

Q2. あなたの性別をお答えください。

- 1. 男性
- 2. 女性

Q3. あなたの年齢をお答えください。

歳

Q4. あなたと同居しているお子さんの人数を教えてください。

※同居しているお子さんが、あなたの兄弟姉妹の関係にあたる場合は、そのお子さんを除いた人数をご回答ください。

- 0人
- 1人
- 2人
- 3人
- 4人以上

■Q4で、同居しているお子さんが「1人以上」とお答えの方にお伺いします。

Q5. あなたと同居しているすべてのお子さんの性別・年齢を教えてください。 複数選択可

※Q4と同様、同居しているお子さんが、あなたの兄弟姉妹の関係にあたる場合は、そのお子さんを除いてご回答ください。

- 男児6ヶ月未満
- 男児6ヶ月以上1歳未満
- 男児1歳
- 男児2歳
- 男児3歳
- 男児4歳
- 男児5歳
- 男児小学校入学前で6歳
- 男児小学生以上

- 女児6ヶ月未満
- 女児6ヶ月以上1歳未満
- 女児1歳
- 女児2歳
- 女児3歳
- 女児4歳
- 女児5歳
- 女児小学校入学前で6歳
- 女児小学生以上

■Q5で、現在小学校入学前のお子さんと同居しているとお答えの方にお伺いします。

Q6. 過去5年以内に一年でも、お子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した祖父母宅などの親族宅がありますか。

ただし、6回以上訪問した年がある場合は「ない」を選択してください。

上記の親族宅が複数ある場合、1つでも年間6回以上訪問した親族宅がない場合は「ある」を選択してください。

※お子さんにとっての「祖父母」宅などであり、回答者ご自身及び配偶者の親族宅いずれも対象とします。

- 1. ある
- 2. ない

■Q6で、お子さんが所定の頻度で訪問した祖父母宅などの親族宅があるとお答えの方にお伺いします。

Q7. 訪問した祖父母宅などの親族宅の中で、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まいはありましたか。

※同一敷地内の別居は、居住に含みます。

- 1. はい（乳幼児が居住していない）
- 2. いいえ（乳幼児が居住している）

ここからは、帰省先などの自宅とは異なる住まいに関する製品等での乳幼児の危害及びヒヤリ・ハット経験についてうかがいます。

■帰省先などの自宅とは異なる住まい（※1）に関する製品等でのお子さんの危害及びヒヤリ・ハット経験を教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。（現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）

※1・・・本調査において「帰省先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

（住まいのある都道府県は問いません。）

1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい

2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）

Q8. お子さんが、帰省先などの自宅とは異なる住まいの次の場所で、けが（※2）をしたり、しそうな経験はありますか。

※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息等による体調不良を含みます。

■けがをしたり、しそうな経験は以下の6つの場所についてお答えください。

なお、帰省のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

1) 【リビング・居間】

（例）床、畳、ドア、敷物、こたつ、ソファ、クッション、テーブル、照明、エアコン、ストーブ、ヒーター、電気ケトル、たばこ・・・



<イメージ>

自宅では電気ケトルを子供の手の届かないキッチンに置いていたが、帰省時、居間でお茶を飲んでいたときに、子供が室内を走って遊んでいて、畳の上に置いてあった電気ケトルのコードに足をひっかけ倒れ、倒れた電気ケトルの熱湯がかかってやけどしてしまった。



<イメージ>

テーブルの上に置いてあった祖父のたばこを口に入れてしまった。自宅には無いたばこに興味を持ち、手をのばして自分で取ってしまった。祖父がすぐに気づき取り出したので大事には至らなかった。母(私)が外出していたときのことで、帰省後、祖父から聞いた。

2) 【台所・ダイニング】

(例) ガスコンロ、IH調理器、料理全般、飲み物、菜、ポット、炊飯器、シンク回り、給湯器、食器、洗剤・・・



<イメージ>

自宅には無いガスコンロの炎に興味をもち、つかまり立ちをしてガスコンロに触ろうとしていた。



<イメージ>

ストーブの上でわかしていたやかんの湯気と音に興味を持ち触りそうになった。自宅ではやかんをキッチンでのみ使用していて、危険に気がつかなかった。

3) 【お風呂・脱衣所・洗面所・トイレ】

(例) 浴槽、蛇口、お風呂の床、洗面台、洗濯機、歯磨き、カミソリ、化粧品・・・



<イメージ>

自宅では洗濯機の扉はいつも閉めているが、一人暮らしの自分の姉宅に遊びに行った際、洗濯機の内部を乾燥させるために開けていた扉に興味を持ち、中に入ろうとした。



<イメージ>

少し目を離した間に、自宅とは異なる温度調節のない熱湯の蛇口をひねろうとしていてヒヤリとした。

4) 【寝室・ベッド・寝具等】

(例) ベッド、布団、冷暖房・・・



<イメージ>

年末の節省時、実家は寒いので就寝中もヒーターをつけている。子供が寝付いたので安心していましたが、一人で起きてボタンを触っていたので慌てて消した。やけどには至らずに済んだ。



<イメージ>

掛け布団が子供用でなく厚く重かったので、覆返りを打てず泣き出した。

5) 【玄関・階段・廊下】

(例) 玄関、靴箱、床、階段、縁側、手すり・・・



<イメージ>

祖母宅の玄関の引き戸で、扉を開閉するときに指をはさんでしまった。自宅は片開き扉で、引き戸に興味を持ち開け閉めして遊んでしまった。



<イメージ>

親戚宅の玄関は、自宅と違い上がり口との段差が広く、外出時に靴を取ろうと手をのばしたときに頭から落ちてたんこぶができてしまった。

6) 【ベランダ・庭・駐車場（集合住宅の共用部を含む）】

(例) 駐車場、車、自転車・・・



<イメージ>

夫家の駐車場で車がないときに子供を庭で遊ばせていたら、戻って来た車が入ってきたので、慌てて子供を避難させた。



<イメージ>

庭にあった剪定ばさみを持って遊んでいた。自宅には無いので興味を持ったようだった。見えないところに片づけておけばよかった。

| | けが（やけど、誤飲、窒息等による体調不良を含む）をしたり、しそうなった経験がある | けが（やけど、誤飲、窒息等による体調不良を含む）をしたり、しそうなった経験はない |
|---|--|--|
| 1) リビング・居間 | ○ | ○ |
| 2) 台所・ダイニング | ○ | ○ |
| 3) お風呂・脱衣所・洗面所・トイレ | ○ | ○ |
| 4) 寝室・ベッド・寝具等 | ○ | ○ |
| 5) 玄関・階段・廊下 | ○ | ○ |
| 6) ベランダ・庭・駐車場 （集合住宅の共用部を含む） | ○ | ○ |
| 7) 帰省先などの自宅とは異なる住まいにおける上記以外の場所 （帰省のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除く） | ○ | ○ |

■帰省先などの自宅とは異なる住まい（※1）のリビング・居間で、お子さんが「けが」（※2）をした、しそうになった」経験について教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。
 （現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）
 複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合や複数の親族宅でそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。
なお、帰省のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

※1・・・本調査において「帰省先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

（住まいのある都道府県は問いません。）

1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい

2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）

※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



Q9. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうになった

Q10. その経験の詳細を、自宅とはどんな製品が（または状況が）異なっていたかなどが分かるように、記入例を参考に教えてください。

【記入例1】製品等の名称：電気ケトル

自宅では電気ケトルを子供の届かないキッチンに置いているが、帰省時、親戚が集まって居間でお茶を飲んでいたときに、子供が室内を走って遊んでいて、畳の上に置いてあった電気ケトルのコードに足をひっかけ転倒し、倒れた電気ケトルの熱湯がかかってやけどしてしまった。年末で近隣の小児科は診療しておらず、救急病院で受診した。

【記入例2】製品等の名称：たばこ

テーブルの上に置いてあった祖父のたばこを口に入れてしまった。自宅には無いたばこに興味を持ち、手をのばして自分で取ってしまった。祖父がすぐに気づき取り出したので大事には至らなかった。母(私)が外出していたことで、帰省後、祖父から聞いた。

製品等の名称
 （※入力必須）

具体的な経験の内容
 （※入力必須）

どうしたらけがなどを防ぐことができたと思いますか

Q11. そのときのお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男児0歳
- 女児0歳
- 男児1歳
- 女児1歳
- 男児2歳
- 女児2歳
- 男児3歳
- 女児3歳
- 男児4歳
- 女児4歳
- 男児5歳
- 女児5歳
- 男児6歳
- 女児6歳

■帰省先などの自宅とは異なる住まい（※1）の台所・ダイニングで、
お子さんが「けが（※2）をした、しそろうになった」経験について教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。
（現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）
複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合や複数の親族宅でそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。
なお、帰省のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

※1・・・本調査において「帰省先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

- （住まいのある都道府県は問いません。）
- 1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい
 - 2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）

※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



Q12. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそろうになった

Q13. その経験の詳細を、自宅とはどんな製品が（または状況が）異なっていたかなどが分かるように、記入例を参考に教えてください。

【記入例1】製品等の名称：ガスコンロ
自宅には無いガスコンロの炎に興味をもち、つかまり立ちをしてコンロに触ろうとしていた。

【記入例2】製品等の名称：包丁
調理器具をしまっている扉を開けて、包丁を触ろうとしていた。自宅は対面式キッチンで出入口をグートで塞いでいるが、祖父母宅は壁に面したキッチンで出入を阻むものが無く子供が出入りしていることに注意していなかった。

製品等の名称
（※入力必須）

具体的な経験の内容
（※入力必須）

どうしたらけがなどを
防ぐことができたと
思いますか

Q14. そのときのお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男児0歳
- 男児1歳
- 男児2歳
- 男児3歳
- 男児4歳
- 男児5歳
- 男児6歳
- 女児0歳
- 女児1歳
- 女児2歳
- 女児3歳
- 女児4歳
- 女児5歳
- 女児6歳

■障害先などの自宅とは異なる住まい（※1）のお風呂・脱衣所・洗面所・トイレで、お子さんが「けが（※2）をした、しそようになった」経験について教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。
 （現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）
 複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合や複数の親族宅でそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。
なお、緊急のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

※1・・・本調査において「障害先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

（住まいのある都道府県は問いません。）

1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい

2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）

※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



Q15. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそようになった

Q16. その経験の詳細を、自宅とはどんな製品が（または状況が）異なっていたかなどが分かるように、記入例を参考に教えてください。

【記入例1】製品等の名称：洗濯機

自宅では洗濯機の扉はいつも閉めているが、一人暮らしの自分の姉宅に遊びに行った際、洗濯機の内部を乾燥させるために開けていた扉に興味を持ち、中に入ろうとした。

【記入例2】製品等の名称：蛇口

少し目を離した間に、自宅とは異なる温度調節のない熱湯の蛇口をひねろうとしていてヒヤリとした。

製品等の名称

（※入力必須）

具体的な経験の内容

（※入力必須）

どうしたらけがなどを防くことができたと思えますか

Q17. そのときのお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男児0歳
- 男児1歳
- 男児2歳
- 男児3歳
- 男児4歳
- 男児5歳
- 男児6歳
- 女児0歳
- 女児1歳
- 女児2歳
- 女児3歳
- 女児4歳
- 女児5歳
- 女児6歳

■障省先などの自宅とは異なる住まい（※1）の暖房・ベッド・寝具等で、お子さんが「けが（※2）をした、しそうになった」経験について教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。
（現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）
複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合や複数の親族宅でそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。
なお、障省のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

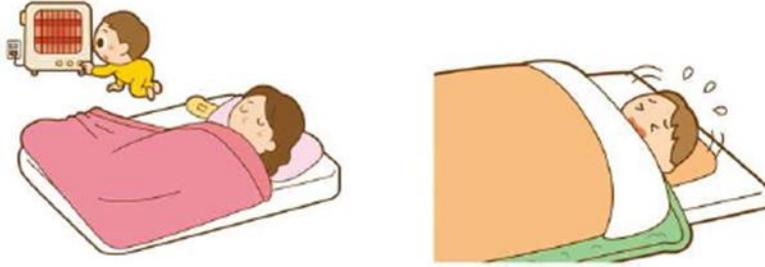
※1・・・本調査において「障省先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

（住まいのある都道府県は問いません。）

1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい

2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）

※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



Q18. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうになった

Q19. その経験の詳細を、自宅とはどんな製品が（または状況が）異なっていたかなどが分かるように、記入例を参考に教えてください。

【記入例1】製品等の名称：ヒーター
年末の障省時、実家は寒いので就寝中もヒーターをつけている。子供が覆付いたので安心していましたが、一人で起きてボタンを触っていたので勝手に消した。やけどには至らずに済んだ。

【記入例2】製品等の名称：布団
掛け布団が子供用でなく厚く重かったので、覆返りを打てず泣き出した。

製品等の名称
（※入力必須）

具体的な経験の内容
（※入力必須）

どうしたらけがなどを防ぐことができたと思えますか

Q20. そのときのお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男児0歳
- 男児1歳
- 男児2歳
- 男児3歳
- 男児4歳
- 男児5歳
- 男児6歳
- 女児0歳
- 女児1歳
- 女児2歳
- 女児3歳
- 女児4歳
- 女児5歳
- 女児6歳

■障省先などの自宅とは異なる住まい（※1）の玄関・階段・廊下で、お子さんが「けが（※2）をした、しそうになった」経験について教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。

（現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）

複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合や複数の親族宅でそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。

なお、転倒のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

※1・・・本調査において「障省先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

（住まいのある都道府県は問いません。）

1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい

2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）

※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、頭打、窒息などによる体調不良も含みます。



Q21. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうになった

Q22. その経験の詳細を、自宅とはどんな製品が（または状況が）異なっていたかなどが分かるように、記入例を参考に教えてください。

【記入例1】製品等の名称： 扉
祖父母宅の玄関の引き戸で、扉を開閉するときに指をはさんでしまった。自宅は片開き扉で、引き戸に興味を持ち開け始めて遊んでしまった。

【記入例2】製品等の名称： 玄関
親戚宅の玄関は、自宅と違い上がり口との段差が広く、外出時に靴を取ろうと手をのばしたときに頭から落ちてたんこぶができてしまった。

【記入例3】製品等の名称： 縁側
自宅には無い縁側に座って祖父母たちとお茶を飲んでいたときに、バランスを崩して落っこちてしまった。幸いけがはなかった。

製品等の名称
（※入力必須）

具体的な経験の内容
（※入力必須）

どうしたらけがなどを
防ぐことができたと思
いますか

Q23. そのときのお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男児0歳
- 男児1歳
- 男児2歳
- 男児3歳
- 男児4歳
- 男児5歳
- 男児6歳
- 女児0歳
- 女児1歳
- 女児2歳
- 女児3歳
- 女児4歳
- 女児5歳
- 女児6歳

■ 帰省先などの自宅とは異なる住まい（※1）のベランダ・庭・駐車場（集合住宅の共用部を含む）で、お子さんが「けが」（※2）をした、しそうなった」経験について教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。
 （現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）
 複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合や複数の親族宅でそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。
 なお、帰省のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

※1・・・本調査において「帰省先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

- （住まいのある都道府県は問いません。）
- 1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい
 - 2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）
- ※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。



Q24. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうになった

Q25. その経験の詳細を、自宅とはどんな製品が（または状況が）異なっていたかなどが分かるように、記入例を参考に教えてください。

【記入例1】製品等の名称：車
 実家の駐車場で車がないときに子供を庭で遊ばせていたら、戻って来た車が入ってきたので、慌てて子供を避難させた。

【記入例2】製品等の名称：剪定ばさみ
 庭にあった剪定ばさみを持って遊んでいた。自宅には無いので興味を持ったようだった。見えないところに片づけおけばよかった。

製品等の名称
 （※入力必須）

具体的な経験の内容
 （※入力必須）

どうしたらけがなどを防ぐことができたと思えますか

Q26. そのときのお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- 男児0歳 女児0歳
- 男児1歳 女児1歳
- 男児2歳 女児2歳
- 男児3歳 女児3歳
- 男児4歳 女児4歳
- 男児5歳 女児5歳
- 男児6歳 女児6歳

■帰省先などの自宅とは異なる住まい（※1）における**その他の場所**で、
お子さんが「けが（※2）をした、しそうになった」経験について教えてください。

あなたと同居しているお子さんが乳幼児（0歳から小学校入学前）のときの経験をうかがいます。
（現在、小学生以上のお子さんが乳幼児のときの経験でもかまいません。）
複数のお子さんにそれぞれ経験がある場合や複数の親族宅でそれぞれ経験がある場合は、最も印象的だった事例一つについてお答えください。
なお、帰省のための移動中や宿泊施設等で起こったことは除きます。

※1・・・本調査において「帰省先などの自宅とは異なる住まい」とは、次の1) 2) の両方を満たす住まいをいいます。

（住まいのある都道府県は問いません。）

1) あなたと同居しているお子さんの祖父母などの親族の住まいであって、小学校入学前までの乳幼児が居住していない住まい

2) 過去5年以内に一年でも、あなたと同居しているお子さんが年間1回から5回までの頻度で訪問した住まい（ただし、6回以上訪問した年がある場合は含みません）

※2・・・「けが」とは、けが、やけどのほか、誤飲、窒息などによる体調不良も含みます。

Q27. その経験でのお子さんのけがの程度はどのようなものでしたか。最もあてはまるものをお選びください。

- 1. けがをして入院した
- 2. けがをして病院へ行った
- 3. けがをしたが病院へは行かなかった
- 4. けがをしそうになった

Q28. その経験の詳細を、自宅とはどんな製品が（または状況が）異なっていたかなどが分かるように教えてください。

製品等の名称

（※入力必須）

具体的な経験の内容

（※入力必須）

どうしたらけがなどを
防ぐことができたと思
いますか

Q29. そのときのお子さんの性別・年齢を教えてください。

※選択肢が1つしか表示されない方も、選択肢にチェックを入れ、次にお進みください。

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 男児0歳 | <input type="radio"/> 女児0歳 |
| <input type="radio"/> 男児1歳 | <input type="radio"/> 女児1歳 |
| <input type="radio"/> 男児2歳 | <input type="radio"/> 女児2歳 |
| <input type="radio"/> 男児3歳 | <input type="radio"/> 女児3歳 |
| <input type="radio"/> 男児4歳 | <input type="radio"/> 女児4歳 |
| <input type="radio"/> 男児5歳 | <input type="radio"/> 女児5歳 |
| <input type="radio"/> 男児6歳 | <input type="radio"/> 女児6歳 |

Q30. 自宅とは異なる住まいに関する製品等について、あなたがお子さんの身の回りの安全（けが、やけど、誤飲等の未然防止）のために気をつけていることや工夫があったら教えてください。

【記入例1】

訪問時に、子供が興味を持ちそうな危険なものが無いか室内を見まわして、手にとらないように置く場所を変えたり、訪問中は祖父母に頼んで片づけていたりする。

【記入例2】

帰省時は他の親戚も集まる機会が多いが、大人が大勢いても、子供への目配りを常に忘れないように気をつけている。